

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

The Diary of Hisakatsu Hijikata (Ⅲ)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00000972

土方久功日記 第14冊

1929年7月27日～12月14日（昭和4年）

解説

この第14冊には、昭和4年（1929）7月27日から12月14日、までが収められている。

久功は、この年6月に、南洋庁の嘱託に採用され、7月からコロールの公学校で木彫の講習を始めていたが、7月27日、生まれて初めて、月給をもらった。引き続き、コロールで木彫の講習を行うとともに、民族調査を行っていた。

9月1日の日曜日、コロールのアイボク（ガルボーツルとも）廃村にある鰐の石へ子供を案内させた時、イケツ老人（昔の酋長）の所の婆さんが、子供に、「余計ナ事ヲ喋ルノデハナイゾ」と注意したという。帰ってから、イケツ老人に、鰐の石のことを聞いたら、簡単に「解ラナイ」と答えてただけだった。それについて、久功は、「是レハ今以テ信仰サレテ居ル証拠デアル。」と、『日記』に記している（9月6日）。この時久功は、パラオへ来て半年しか経っていなかったが、石像が過去の遺物ではなく、当ても信仰されていることを知ったのである。

9月14日、伏田パラオ支庁長が、職員二人を伴って久功の家を訪ねてきた。昼前に来て、3時まで話して帰ったが、恐らくその時、コロールでの講習を終え、ガラルドへの「転勤」の話が出たのだろう。

10月4日に、支庁長も出席して、講習終了式が行われ、7日には、久功は、杉浦佐助と共にパラオ本島の北端に近いガラルドへと発った。その間、講習生の展覧会を開くなど、実に慌ただしい日々であった。

ガラルドでは、年末まで公学校で木彫の講習を行うとともに、民族学調査を行った。一見、コロールに居た時とさして変わらない生活に見えるが、久功にとっては、大きな出来事があった。信仰の新結社（モデクゲイ）の幹部イックルケツと主導者コーデップとの出合いである。

ガラルドの北端にある村、アコールは、当時、新結社の本拠地であった。イックルケツは、ア・イムツールの家の主であったが、久功の評価は低かった。アコールの石製遺物調査に関して、次のように述べている。

「イックルケツは新結社の幅ききの一人であります。それで是等の石も、何処からか集めて来て一人で悦に入って居るものでありましょう。ですから此の辺りでは昔ながらの伝承をそのまま聞き出すことは困難なのであります。」（『パラオ石神並に石製遺物報告』〈『著作集』第2巻〉73頁）。

それに対し、主導者コーデップに対しては、極めて高い評価を与えていた。コーデップ・エラ・ギラゴムケールは、40歳にならない壮年であったが、アコール、ゴードン部落の第一長老であった。パラオのあらゆる古い伝説、神話ないし古習俗等の伝承者としては第一人者であった。久功の調査の大半は、このコーデップの案内により、助力によったものであった。人物としても優れ、結社の頭目として多くの人々を心服させていた。彼は

信仰的新結社モデクゲイを秩序立て、各種の実行的な成果をあげてきたと言われる（前掲「パラオに於ける信仰的新結社」237頁）。

コーデップに初めて会ったのは、11月7日で、トカイが久功のところへ連れてきたのであった。そのとき、翌週の土曜日にアコールにコーデップを訪ねる約束をした。久功が、ガラルドへ来てからちょうど一月経っていた。当時、南洋庁は、新結社モデクゲイを厳しく取り締まっていたので、南洋庁の囑託であった久功に対して、「神様しらべをする人間」と考えられ、島民達は警戒心をもっていたのであろう（「パラオ石神並に石製遺物報告」、〈『著作集』第2巻〉28頁）。これより先、久功がアコールへ調査に訪れたときには、コーデップに会うことはなかった。彼等は、ひと月、久功の行動を伺い、民族学の調査が目的で、新結社モデクゲイのことを調べに来たのではないことが分ったのである。

そして、約束より一週間早い9日の午後、トカイとともに、アコールのコーデップを訪ね、その日は近くの家に泊まった。恐らくは、この時、二人は意気投合したのであろう。その後、ガラスマオの調査など、各地の調査に同行している。また、多くの神話、伝説を採集することができた。

[表紙]
 [14 千九百二十九年七月二十七日ヨリ 十二月十四日迄
 昭和四年

HISAKATSU. H.]

[表紙裏]
 [夕 チ ツ テ ト
 ㄨ (ti) ㄨ (tū)
 ガ ギ グ ゲ ゴ
 ga gi gū ge go
 カ[△] キ[△] ク[△] ケ[△] コ[△]
 nga ngi ngū nge ngo

カ[○] キ[○] ク[○] ケ[○] コ[○]
 kha khi khū khe kho
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 a i ū e o

サ[△] シ[△] ス[△] セ[△] ソ[△]
 ̄tha ̄thi ̄thū ̄the ̄tho
 [夕[△] チ[△] ツ[△] テ[△] ソ[△]

サ[○] シ[○] ス[○] セ[○] ソ[○]
 ̄tha ̄thi ̄thū ̄the ̄tho
 サ シ ス セ ソ
 不
 (si)
 不
 (zi)

p.13

21

29

41

43

55

61 (鳥釣) 109

65]

〔見返し裏〕

〔蜻蛉ツリ今日ハ何処迄行タヤラ (千代)

浮草ヤ今日ハアチラノ岸ニ咲ク (乙由)〕

〔欄外に記す〕
〔1929〕

七月二十七日

今朝起キタラ、綺麗ニ晴レテ居タノサ。此ノ七月ニナツテカラ、晴日ト云フ晴日ツラアリヤシナカッタ。デ、モウ〜嘘ドコロカ、本当ニイヤニナツテ居タ後ノ美シイ朝ダッタ訳ダ。全ク久々デ、窓ノ外ノバナナノ向フノ椰子ノ木ノ葉ノ上ニ、キラ〜輝ク朝日ヲ見タノダ。ソシテ今日ハイイ日ニチガヒナイ。

朝早く役所ニ行ツタラ、第一二月給ヲクレタ。生レテカラ此ノ年ニナツテ、始メテノ月給ヲダ。ソレカラ高松氏ノ処ニ行ツタ。昨日朝早く、春日丸ガ入ツタカラ。

手紙ハ久闊カラ一通。三沢カラニ通ダッタガ、三沢カラノ一通ノ中ニハ、モ一人三沢ノ新ラシイ奥サンカラ——マダオ互ニ少シモ知ラナイツユ子サンカラノ長イ手紙ガ入ッテ居タ。明ルクツテ軽クツテ、気持ノイイオ転婆ナ手紙ガ入ッテ居タ。デ、何ウシタ訳ダロウ。私ノ心ガグット明ルクナッタ。デ、今日カラ日記帖ヲ新ラシクシテヤロウト思フ。マダ一頁程書ク処ガアルノダガ、コンナ明ルイ気持ヲ新ラシイ帖面ノ始メニ書クノハ、イイ気持ニチガヒナイ。私モ知ラナイ人カラ手紙ヲモラッタ事ハ二度ハアロウガ、コンナノハ珍ラシイ。マルデ十日モカカル様ナ遠イ処カラノ便リデハナクテ、目ノ前デ雀ノ様ニオ喋リシテ居ル様ナ明ルサダ。ダガコンナ事ハ書イタツテ仕方ガナイ。兎モ角、コレハ標本トシテココニハリツケテ置ク事ニシヨウ。ソシテ早速一ツ返事デモ書ク方ガヨサソウダ。

〔便箋2枚をノートに貼付〕

〔私は字も文もトテモ下手なの、ただお話しする様に書きたいのです。肩の張るのは、いやですわ

あなたは どうして、そんな遠くへいらしたのでせうね

夜は美しいでせうね、島の月はきつと佳い色でせうね、

寂しかありません？

雑誌でも送ってくれて仰言いますわね。

私、お兄様に送って上げてねって云ったら、ウン、後でもいいよって云ひます。いけない人。

内地からのお手紙って 嬉しいでせう？ 私も御手紙大好きだから、きつとそうだと

思ふ。でも私は交際家ぢやありません。

古くって 小ちゃくって おどろいちゃいます。でも 住みよくなりました。後でこれよりずっと立派な御家に住める様になったって、この家のすすけた柱一本だって忘れられないと思ひますの

お花は絶やしたことありません、

佳い ミドリの御庭があります。お兄様は私がここへ来る前に、サルビヤと白粉の花とボン〜ダリアを植えといて下さいましたが、大きくなってゆきます

前からあった朝顔がヒヨロ〜 つるを伸ばしました。

ウルサイ。お兄様が いつまで書いてんの——って、背をつつくので、もう止めます。サヨナラ

つゆ子]

(欄外に記す)
[手紙]

ツユ子様。

七月ニナツテカラコッチ、オ天気ラシイオ天気ツトラ、只ノ一日ダツテアリハシナカッタノデスヨ(私ハ南洋ニハ霖雨ハナイモノト一人デキメテ居タノデスガネ、今ガ風ノ変リ目ナノダソウデス)デ、黴ガ生エソウニナツテ居タノデスガ、今朝起キタラ、朝日ガキラ〜光ツテ居ルノデス。朝日ガデスヨ。永イコト見ナカッタ朝日ガ窓ノ外ノバナナノ葉ノ向フノ椰子ノ木ノ上デ、クル〜廻ツテ居ルノデス。私ハ急ニ誰レニデモ呼ビカケタイ氣持ヲ、窓ニ腰カケテ口笛ヲ吹イテ居マシタ。ソシタラ、知ラナイアナタカラノ雲雀ノ様ナオ喋リガキコエテ来タノデス。何テ明ルイ日ダ! ト思ヒマシタヨ。

処デ、プーチー マダム! (アナタハ自分デマダ奥サンデハナイラシイト大層悲観シテ? オイデダガ、肝心ノ寛チャンガ、ワイフガワイフガト承認シテ居ルノダカラ、誰ガ何ト云ツタツテ立派ナマダムデスヨ) アナタ方ノスキー ホームガ目ノ前ニ見エルヨウダ。オ台所ガケムツテ旦那様ガノコ〜出テ行ク図ハ、ドンナ雑誌ノ漫画ニダツテ出テ居ル様ニ、ソレコソハスキー ホームノ典型デスヨ。外ニ出テハ、旦那様ガ三間モ前ニ後モムカナイデ歩クノモ、新婚図譜ニハチャント出テ居マス。ソレカラオ家ニカヘルト綺麗ナ花ガアツテ、旦那様ガ綺麗ダネト云フ。スルト奥様ガ云フ、「私アノ花ガ大好き!」。

ダガ少シ南洋ノ、ト云フヨリ、私ノオ話デモシマスカナ。デスガコノコロールデハ、南洋ラシイ南洋ハ影ガウスイ。ダカラ南洋ノ事ナラ何処カモットイナカニ入ツテカラ、随時オ知セスル方ガイイデセウ。

アナタハ寛チャンニ酒ヲ飲マセナイソウデスネ。マア、大変イイ事デスト云ツテ置カウ。ダガビールハオ酒デハアリマセンヨ。アナタダツテサイダーヤシトロヲ飲ムデセ

ウ。ソレカラアイスクリームヲ。男ノ人トアナタ方トハホンノ少シハチガフノデスカラネ。譬ヘバアナタ方ガオサツヲオイシソウニ喰ベル時ニハ、男ノ人ハ塩センベイデモカヂリ度イノデス。アナタ方ガ大キナアンコロヲツカ、ドロ〜ノオシルコヲスル時、男ノ人ハ一寸ニガミバシツビールデモパイ飲ミ度イノデス。ダカラサ。ビールハ本当ニオ酒デハナイ。

ソレカラチヨシモサセナイソウデスネ。コレハ大変イイ事デス。チヨンハ相手キラハズ誰トデモヤルモノデハアリマセン。寛チャンニヨク云ツテ置キナサイ。土方サンデモ、何ウカシテ帰ツテ来タラ三日デモ四日デモ、続ケテオ引キナサイツテネ。

ドウモ、御手紙ノ御礼モロク〜云ハナイデ、オ小言ヂミテシマヒマシタナ。コレニツイテハ少シ弁解シテモイイ。私ハ内地ニ居タ時ニ、幾人カノ若い娘サン達ヲ知ツテ居マシタ。デスガ何ウデス。其ノ娘サン達ハ私ノ事ヲ、オ爺サン、オ爺サンテヨブノデスヨ。ソシテマルデオ爺サンデモ相手ニカラカッテ居ルヨウニ、気楽ニ私ライヂメタモノデス。尤モ、私ハホンノ少シバカリ頭ガ禿ゲテ居マスノデネ、寛チャンニキイテゴランナサイ。悪口屋ノ寛チャンダカラ、ナンダツテ、少シドロカ、ヒドク禿ゲテルヨ、ナンテ云フカモ知レマセンガネ。兎モ角、昔カラ何処カオ爺サンミタイナ所ガアルラシイデスネ。小サイ従弟妹達ハ私ノ事ヲ「ボンビヤンオヂサン」ト呼ンデ居マシタ。所ガオカシナモノデスネ。パラオニ来テマデデスヨ。私ヲヨク知ッテル土人達ハ、四十ノ婆サンヤ五十ノ爺サンマデ、私ノ事ヲ日本語デ「オヂサン！」ト云ヒマス。内地ノ人デ土人カラ「オヂサン」ト呼バレルノハ、恐ラク私一人デセウ。

(ココデハ昔カラ年寄ヲ大変ニ尊敬スル習慣ガアルノデ、罵民達ハ内地ノ人ヲルバクト云ヒマス。ルバクハ元来年寄りノ事デスガ、転ジテ旦那ト云フ程ノ敬称ニ用キラレルノデス。サモナケレバ誰デモカマハズ英語デ「コンパニー」ト呼ビマス。) ソンナ訳デ「オヂサン」ト呼バレルノハ、ナカ〜イイ意味デナノデス。

兎モ角、私ハ誰カラデモ爺サン扱ヒサレルモノダカラ、ヒョット自分デモ爺サンノ様ナ氣ニナツテ了フノデス。モシモ私ノ言葉ノ中ニ、オ小言ノ様ナ響ガ少シデモアツタラ、ソンナ訳ナノデスカラ。

ドウシテコンナ遠クニ来タノカッテ？ サア、多分アナタノヨウナ人が居ナカッタカラカモ知レマセンヨ。

夜ハ美シイダロウツテ？ 罵ノ月ハイイ色ダロウツテ？ 御想像ノ通りデスヨ。小サナ月デモ出テサヘ居レバ、結構明ルイデス。満月ノ夜ナドハ、本当ニ一晩中踊ツテモイイト思ヒマスヨ。月ノ明ルイ晩ニ、アルミズノ禿山ヲ歩イテ御覧ナサイ。此処ノ禿山ハユタカニウネリヲウツテ居リ、年中若々シイ緑ノ草ガ何処迄モ生ヘテ居ルダケデス。ソシテ禿山特有ノ瘦セタ蛸ノ木ガ一面ニ、併シポツポツト淋シク立ツテ居ルダケデス。月ガ光ツテ草ノ色ガ深く沈ンデ居ル処ニ、蛸ノ木ノシリユエットガ遠ク遠ク□小サクナル迄、黒ク黙リコクツテ立ツテ居ル。人ノ氣一人ナイ淋シイ程ノ静ケサデス。下ノ下ノ椰

子林カ、モクへト続ク海ノ中ノ岩山ノ無人嶋カラ、悲シイ銀鳩ノ声ガホーホーホーホーホーホホホ……ト堪エ入ル様ナ急調ニナッテ行ッテ、ヤガテパタット消エテシマッタ時ノ静ケサハ譬ヘ様モナイ、シンカラノ寂シサデス。蒼白イ月ノ光ニ何ヲ見ツケタト云フノデセウ、何ニ脅エテ居ルノデセウ、貧婪ナ喜ビノ様ニモキコエ、息ヅマル様ナ物凄サニモキコエル、鋭角的な夜□鷹ノ叫ブ様ナ鳴キ声ガ、時ヲオイテ人ヲチヂミアガラセマス。アノ声ヲシンミリト聞ク人ハ、ポーノ詩ノ無気味サニ引キ込マレズニハ居ラレナイ。

エ？ 私ガナカへ詩□□人ダッテ？ 左様、時タマネ、気持ノイイ、ホンノ時タマニハネ。ソウ、月ナラバマダへ思ヒ出ス事ガ沢山アリマスガ、長クナリマスカラ、又明日か明後日デモ続ヲ書ク事ニシマセウ。

二十八日 日曜日

昨日ノ今日ダ。天気ハ^{乗上ト}□□□上々トキメテ居タノデアアルミズニ行ッテ、アヨブクトエットロント皆デ魚ヲトリニ行ク約束ヲシテ居タノニ、朝早く起キルトヂョボへ雨ガ降_[ママ]ッテ居ル。八時ニハザンへ云フ大雨ニナル。何テ間ガ悪イノダ。スッカリ気ヲクジカレテボンヤリ外ヲ見テ居タガ、何処迄意地ガ悪イノダ、十時半ニナッテ、カラット晴レテキラへ日ガ照ル。私ハ大分迷ッタガ、折角ノ日曜ダ。ドウシテモ出カケヨウト思フ。ソレニ魚トリハ兎モ角、今日ハ二人ニ岩山ノ檳榔樹ヲ切ラセテヤロウト思ッテ居タノダ。デ、十一時前ニ、酒ヲ一本買ッテ、醤油ト塩トヲ持ッテアルミズニ出カケル。

アヨブクモエットロンモ居タ。ソレカラアリヨムドモ。皆デ十二時過ギニカヌーヲ出ス。曇ッテハ来タガ雨モ来ズ、時々薄日ガサシタ、カヌーハ大分出タ。エットロントアヨブクトガ水眼鏡ヲカケテ、ピスカンヲモッテ海ニトビコンダ。二人ハカッパノ様ニ潜ッたり浮イタリシタガ、ピスカンニ魚ガササルトハカヌーニ帰ッテ来タ。長イ事魚ヲ取ッタ。七寸位ヒカラ一尺位ヒノ魚ガ十四五尾トレタ。三尺モアル蛸ガ一ツトレタ。ウルブザール（大フグ）ノ一尺七八寸モアル奴ガトレタ。

私モハダカニナッテ海ニ入ッタ。水ガ綺麗デ気持ガヨクッタ。私達ハ魚トリヲ止メテカヌーヲススメタ。私達ハ岩山ノ鍾乳洞ニカヌーヲツケ、洞デアヨブクトエットロントガ火ヲクツタ。今トツタ魚ガマル焼ニサレタ。八寸モアル大キナ鱸^{カキ}ノ殻ニ酒ヲ注イデ火ニカザシテ、ソレハウマイ具合ニカンガ出来タ。私ガ一杯ノンデカラアヨブクトエットロンガウマソウニ飲ンダ。アヨブクガ箸ヲ作り出シタガ、私ハ手デ真黒ナ魚ノ塩焼ヲムシッテ食ベタ。刺身ガ別ニ作ラレタ。□醤油ニツケテハ手デツマンデ食ベタ。

タツプリ食ベテ私達ハ舟ヲ帰シタ。潮ガ引キカケタノデ、檳榔樹ハ止メテ、真直グアタオニ帰ッテ来ル。

オミヤゲニ魚四五尾サゲテ、四時過ギ帰ッテ来ル。魚ハ直グニ平^[雄一郎]寫サンニモッテ行ッテアゲル。暮方驟雨。

二十九日

曇，晴。午後四時驟雨。

夕方，杉浦君ガモドロント一緒ニ来タ。杉浦君ハ蝙蝠ヲ一匹シャツニトマラセテ来タ。五十錢デ買ッタノダト云フ。小サイウチカラ^買□飼ッタモノデ，スッカリ慣レテ居ル。ソシテパイヤノ木ニトマラセテイ気ニナツテ話シテ居タガ，夜ニナツテ気がツイタラ居ナイ。イクラ探シテモ居ナイ。杉浦君ノガッカリシタツタラ。モドロンガイルトノ立派ナノヲ作ッテ来テクレタ。イルトハアイラオトヲ作ル時ニ使フ大杓子ダガ，紅紫檀ノ柄ニ男女ノ立像ヲ彫ッテアル。

〔欄外に記す〕
〔chirs〕

三十日

ドウヤラ晴。午過ぎ小雨。

夕方，外デ「先生」ト呼ブ。出テ見タラアラカマイノエツトロンガ居タガ，「先生居ルノデスカ，一寸安達サンガ見テ来イト云ヒマシタ」ト云ツテ行ッテシマツタガ，ヂキニ安達サンノ手紙ニ添ヘテ一皿ノ大根ノ漬物ヲモツテ来ル。手紙ニ曰ク，
「^球□琉球ノ知人農夫□ヨリ本日大根ヲ貰ヒ□，大坂漬ニイタシマシタ，只今試食致シマシタ処，加減ヨク漬リマシタカラ少々差上申上ゲマス，醤油ヲオ掛ケナサレテ御召上リ下サイ，右失礼ナガラ

安達

土方様]
〔欄外に記す〕
〔歌〕

家□庭モナク独り南洋ニアツテ新ラシイ野菜ノ漬物ヲ食フ。

ウマキ事カギリナシ。聊カ歌ヲ詠ンデ御礼トスル。

✓琉球ノ人ノオコシシ大根ヲ大阪漬ニシテタバリケル

✓ウマラニヲ食セトコソコノ大根ノ大阪漬ヲ君ガ贈ラス

✓ウマラニヲ食セトゾ君ガ贈ラシシ大阪漬ヲウマラニ食フモ

✓南洋ノパラオノ寫ニ大根ノ大阪漬ヲ今ゾ食フナル

✓南洋ニケ長クナリシ君ニシテ大阪漬ノ味ノウマサハ

○コノ大根ノ大阪漬ノ味モサルモノ，イソシクモ贈リコシ□^君人ノ心カモウマキ

夜，杉浦君ガ小包ヲトツテ来テクレル。久頭ヨリ美術全集九冊，江波ヨリ，土人芸術三冊送リ来シ。

三十一日

朝ノ中晴。午後，降ツタリ止ンダリ。

今日ハ朝，支庁ニ一寸行ッテ来ル。

夕方、平寫サンノ処デバス。平寫サント一緒ニ九鬼サンノ処ニ行ク。彩影会ノ集リデ、松田氏、金井氏、松尾氏、山口氏ガ集ル。十時過ぎ帰ル。

八月

一日

曇、晴、夜ニ入ッテ雨。

杉浦君来、宿。

二日

朝起キタラ雨。八時豪雨。後雨止ミシガ曇。

豚ノ頭ヲ一ツ買フ処ダツタガ、駄目ニナリ。杉浦君夕方、安達サンヲ誘ッテ酒ヲモツテ来。カニノ罐詰ト鱈ノナマリデ酒。十一時迄。安達サン帰り、杉浦サン寝テシマフ。(朝、役所ヘ行ク。)

三日

晴、小雨時々。

四日 日曜日

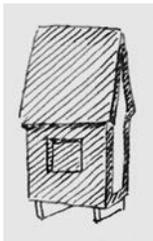
晴。朝早く一寸雨。八時半ニ杉浦君ガ弁当持チデ来ル。チキニ出カケル。アルミツヘ。アヨブクトエットロントガカヌーヲ出シテ待ッテ居ル。十時ニハ出カケル。此ノ前ノ様ニ、魚ヲトリナガラ。潮ガ引イテシマッタノデ、時々アヨブクトエットロントハカヌーヲオリテ押シテハ深い処ニ出ナケレバナラナカッタ。大分大キナ魚ガトレタガ、ナカヘ岩ニハツケナイノデ、杉浦君ガ刺身ヲツクッテクレ、刺身ヲ食ヒナガラ、ムスビヲカヂル。私達モ海ニ入ル。其ノウチニ、アヨブクガサツキカラ拵ヘテ居タダイナマイトラ投ゲル。杉浦君トエットロントガ飛ビコム。エットロンガ何か云フ。アヨブクガ、「ア、ア、」ト云フ。場所ガチガッタ。小サナ魚ハ沢山浮イタガ、大キイノハ三尾シカトレナカッタ。

岩山ニカヌーヲツケタ。洞デハナクテ唯ノ低イエグレデ火ヲオコシテ、大キナ魚ヲ十尾モ焼イタ。持ッテ行ツタ鳩モヤイタ。ピルームモ出タ。パンノ実ノ焼イタノモ出タ。アリウスモ。腹イッパイ食ツタ。飽盛モ少シノンデアヨブク達ニヤッタ。低イ岩間ニ蹲ッテ黒焼キノ魚ヲ両手デカヂッテ居ルアヨボク達ハ、全クゴリラカ何カノ様ダ。皆腹イッパイニナッテ又カヌーヲ出シタ。岩山ノ間ヲグルヘト廻ッテ歩イタ。彫物ノ為ニト、鉄木ノイイヲ見ツケテ切ツタ。銀バトノ銀鳩ノ巢ヲミツケテ卵ヲトツタ。洞穴ニ入ッテハ、蝙蝠ヲミツケタ。沢山居ルノダケレドモ、トレナカッタ。壁ノ様ナ岩ヲ上ッテハ、

^{〔ママ〕}
アヨボコトエットロンガマッチラスッテハ見ツケタガ、皆ニゲラレテシマッタ。一つノ穴ノ入口デエットロンガ大蟹ヲミツケテピスカンデツイタ。鋏ガ七寸ノ上モアル。洞穴ハ□暗クテ天井ガ高クテ、入口ノ辺ニハ神秘ニ近い不思議ナ光ガ光ツタ。皆ノ声ガガヤヘトコダマシタ。エットロン達ハ中デ子供ノ様ニ歌ヲ歌ツタ。オーラックリエーノ鐘乳壁³⁴⁾デハ、アヨブクガアプリー・ラ・カリズヲツ見ツケテクレタ。是レハ意外デ有難カッタ。コレハ八寸程ノブラキョスデ造ツタ家ノ模型ダガ、奥行ハ浅ク一寸五分位シカナイ。

^{〔欄外に記す〕}

[Örakkriē, 岩 Chalsbon (十五日記参照)]



スッカリ色ガハゲテ古ビテ居ルガ図ノ様ニ、斜線ヲ入レタ所ハ黒、他ハ赤クヌッテアツタモノデアル事ガワカル。別ニ一つ石灰石ヲキザンデ造ツタ同ジ様ナ型ノ二尺程ノモノガ□アツタガ、下ノ方ガ腐蝕サレテボロヘニナッテ居ルノデ取り出ス事ガ出来ナイ。一寸残念ダッタガ置イテクル。夕方、大蟹ト大キナ魚ヲ一尾ト椀型ノリーフト「神ノ家」トヲモッテ帰ツテクル。魚ハ隣ニヤリ、大蟹ヲ煮テモラフ。他ニ^{ルバツク}□□□□□ルバクガ私ニトッテオイタトテ、体ダケ一尺二寸モアル大キナ蝦ノ丸煮ヲクレル。コレハ、肉色ニ赤茶ノ縞ノ入ツタ、実ニ綺麗ナエビダッタ。蟹ノ煮エル間ニ、平寫サンニ行ッテ風呂ヲ浴ビテクル。帰ッタラ大キナ皿ニ大蟹ガ緋ノ様ニ真赤ニナッテアフレテ居タ。他ニタピオカノヒイタノガー皿来テ居タ。三浦君モ呼ンデ、三人デ皆食ベテシマッタ。腹ガ一ツパイニナルト、タッターパイノビールガ、ヤケテホテッタ体ニキイテ急ニダルクナツタ。杉浦君モ私モ、九時半頃ニハ寝入ッテシマッタ。二時半ニ杉浦君ガ便所ニ起キタ。私モ一緒ニ目ガサメタ。口カズモ少ナク、其ノママ又朝迄ネテシマフ。

五日

晴。昼通雨。夕方ヨリ雨。

六日

晴。今日ハ石井氏ガ講習ヲ見ニ来ル。

夜、一寸高松氏ノ処ニ行キ、カイバツクル³⁵⁾ ラメナードカラ取寄セテ貰フ様ニ話シテ来ル。杉浦君来。

七日

晴。内地ヨリ視察団ノ連中、十七八名来観。

夜、モドロン来。隣リノルバクガモ一人、彫物ヲスル爺サンヲツレテ来ル。

今日ハ杉浦君ガアラバケツニ用ガアッテ行ツタ序ニ、アラバケツデ彫物ノ上手ナモノ

達ニ何かカニカタノンデ来テクレル。ヒブクリハ蓋ニ彫刻ノアルオルホサカルヲ造ル由。
エラマスブドハ鉄木デ、ブックエンドニナル様ナ人形ヲニツト「神様ノ家」ヲ造ッテク
レル由。

〔欄外に記す〕
〔Chorchosakal (Chorsachal ノ大ナルモノ) Hibkri Eramathbd.〕

八日

晴。昼驟雨。夜、杉浦君来。

九日

快晴。永イ不順ノ後ニ来タスバラシイ晴ダ。空ノ蒼イコト、深イコト。薄イ白雲ガギ
ラヘト光ルコト。風ノ滑ラカナコト。

オ蔭デ彫物〔課〕ノ科外授業ニ、小供達ガチットモ出テコヤシナイ。三時近クナッテ、ゾロ
ット現ハレ出タ小供達ヲ、出席ヲトラナイデ追ヒカヘシテヤル。

杉浦君来ラズ。ソノカハリ小林ノ子供ガ来テ、ヤッパリ消燈過ギニナッテシマフ。寝
ガ足りナイ。ドウカスルト昼間ブッ倒レルカト思フ様ニネムイ。但シ、体ノ具合ハ至極
イイ。

十日

快晴。暑シ。

土曜日ダッタノヲ忘レテ、二時ニ学校ニ行ッたら、子供達ハ半分ノ上、帰ッテシマッ
テ居タ。

朝、アリヨムドガタガデッキヲ石デトッテ来タ。籠ニ入レテ飼フ。生餌ノイイノガナ
イノデ、食ハナイノデ、一々ツカマヘテハ、乾魚ノ水ニヒタシタノト、田螺トヲ喉ノ奥
マデ突込ンデヤル。

夜、杉浦君来。

〔十一〕
十二日 日曜日

曇。午後雨。夕方ヤム。

何ニモシナイ。全ク何ニモシナイ。

午後二時頃ダツカシラ、松尾サンガスケッチノ途中、降ラレタトテ寄ラレル。四時
過ギ、雨モ止ンダノデ私モ一緒ニ出、金井サンノ処ニ行ク。七時頃帰ル。

十二日

晴。

十三日

晴日
□□快晴。

夕方、平瀨サンニバス。帰ッたら杉浦君ガムキナッテ何か図ヲヒイテ居ル。□金井サンニタノマレタ本箱ヲ切りソコナッタノデ、何トカ工風スルノダト。ズルイ智恵ヲカシテ、簡単ニカタヅケル。此頃ハ、出ルニモ入ルニモ、ダガデッキニ餌ヲヤルノデー一面倒ダ。

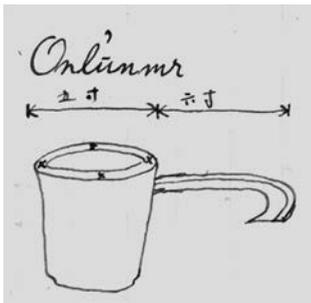
十四日

晴。午前、驟雨。

月ガヨクナッテ来タ。

十五日

[Onfūnmr]



晩、エラマスブドガスバラシイオンルンムルヲモツテ来テクレル。エラマスブドガオヤ□チカラ貫ッタノダソウダカラ、相当古イモノダロウ。(エラマスブドハモドロノヨリモ大分年上ダ。)手ハコンデ居ル訳デハナイガ、スッキリシテ居テ、ズッシリシテ居テ、イイ塩梅ニ古ビテ居テ、何トモ云ヘズ懐シイモノダ。一木造リデアル所モ、昔ノ「暇」ナ姿ガ見エテウレシイ。アバイ等ニ集ッタルバク達ニ、イラオトヤ何かトイタノ

ヲ出ス大器ダソウデ、コレカラ更ニコップ様ノモノニ注イデ飲ムソウナ。

(欄外に記す)
[神ノ家]

ソレカラ、先達岩山カラ拾ッテ来タ□「神ノ家」ハモリケ△ットダソウデ、モ少シ幅広デ三ツ窓ノガ本式ダソウダ。(四日ノ記参照)先達ノヤツハ、ウスベツクテドウモ安定ガ悪イト思ッタガ、アレハ吊ルスモノダソウデ、云ハレテ見ルト屋根ノ両上端ニツツ小サナ穴ガアイテ居ル。是レニ繩ヲ通シテサゲテ持ッテ行ッテ、岩山ノ神場ニサゲテクルノダソウダ。ソレカラ此ノ家ノ腰ノマワリニ、小サイ腰蓑ヲツクッテ結ヘテ持ッテ行クモノダソウダ。今度モット立派ナヲエラマスブトガ造ッテクレル由。モドロニ云ハセルト、エラマスブトハコロールノ「家ノ神」造リ□ダツタソウダカラ、キツト典型的ナモノガ出来ルニチガヒナイ。

コロールノ南ニウワーラップシェーカルト云フ、コロールヨリ更ニ少シ大キイ様ナ岩山ガアル。此ノ岩山ノ東端ヲガサクサオト云ッテ、此ノ辺ノモノガ神様ニ踊ヲササゲル場所デアッタソウダ。——踊ハモト神様ニササゲラレタモノダ——而テ其ノ踊ノ前何日カハ魚類ヲ一切食セズ、豚ヤ鶏等ヲ食シ、当日其処デ盛大ナ踊ガ神様ニササゲラレト、

直後其場デ魚類ヲ飽ク程食フタモノダト云ツテ居タ。□忌ミ物が魚類一切デアッタ処ヲ見ルト、此ノ神ハ海或ハ漁リノ神デデモアツテ、漁獲ノ豊カナ事ヲ祈ル儀式トシテ、踊ヲササゲタモノカモ知レナイガ、ウツカリシテ居テ——ト云フヨリ、話ガ出来ナイ為ニ深クキカナカッタ。今度ノ日曜日ハ、エラムスブトト一緒ニワーラップシェーカルラー週スル筈ダカラ、機会ガアツタラヨクキイテ見ヨウ。

〔欄外に記す〕
[踊 踊ハコロール (ガルミツ) 嶋デ踊リ、踊リニ用キター一切ノ器物ヲココニオサメタノダ。(十八日ノ記参照)]

〔欄外に記す〕
[洞穴葬]
ソレカラ昔ハ□□□□^{人ガ死ス}死ンダ人ヲ岩山ノ洞穴ニ捨テ葬ッタモノダソウデ、ガロンコルニハ人ヲ捨テタ洞穴ガアツテ、今デモ骨ガ沢山アル由ダカラ、コレモ日曜日ニ見テ来タイモノダ。

十六日

〔欄外に記す〕
[発信 久頭 三澤寛 三澤ツユ子]

十七日

杉浦君来ズ。小林ノ息子来ル。

十八日 日曜日

天氣ガ上々ナノニ、杉浦君ガ来ナイノデ、八時ニ近藤サンニ行ツテキクト、昨日朝出タキリダト云フ。ガツカリシテ帰り、尾曲サンデキイタラ、昨日ガラルドノ杉野クンガ出テ来タノヲ、今朝四時迄モ飲ンデ皆デ安達サンニ引上ゲタトノ事。安達サンニ行ツタラ、皆グウへ寝入ツテ居ル。九時過ぎ又行ツテ、杉浦君ヲオコシ、一緒ニ出カケル。尾曲サンニ寄ツテ杉浦クンハ飯ヲクヒ、十時半ニナツテ、アラバケツニ行ク。汐ガ干テシマヒハシナイカト案ジタガ、マダ出ラレル。エラムスブトガ待ツテ居テクレタノデ、ヂキニカヌーヲ出ス事ガ出来タ。

岩山ノ間ヲ左ニカヌーヲ進メ、カラカンカ△エルヲ右手ニ行キ、何カ魚ガナイカトカ△ビングルヲゾイタラ、タッター一匹一尺五寸モアル大キナ魚ガ隅ノ方ニ縮コマツテ居ル。タッター一匹ダガ、コレナラ三人ヤ四人デ食ツテモ、結構食ヒデガアル。コイツヲカヌーニツンデ出カケル。湖水ノ様ナ海、三四尺ノ底ハ一面ノリーフト海藻デ、小サイ青イ魚ガキラへト光ツテ泳グ中ヲ、カヌーダケガ滑ル様ニ進ム。エラムスブトハ黙々トシテカヌーヲアヤツリ、魚ガ居ルト黙々ノ内ニスバヤクピスカンヲトツテハナゲル。或時ハ変ナ岩山ノ凹ミニカヌーヲ進メル。

何カ居ルノカ？

〔欄外に記す〕 北ノ端ヲ廻ラウト 稻〔欄外に記す〕
 [Ulupsahel] ノ□□□□□□□□ □□斜ニ北ニ向イテイル東海岸] スル処ガカ[△]サク
 オダ。小サナ白イ砂浜ガアッテ、一軒ノ小屋ガアル。私達ハ此処ニカヌーヲツケテ上ル。
 此ノ小屋ハアルゲケルト云フ土人が、ナマコヲ乾シテ居ル処ダ。子供ガ一人トヤップノ
 モノガ二人居タ。

〔欄外に記す〕
 [カ[△]サクサオ Ngasaksao]

ソース（醤油）ガアルカ？

忘レテ来タ。

デア、パラオ式デヤロウヂャナイカ、

ナマコ小屋カラ一尺二三寸アル大キナ魚ノ燻製ガ出サレタ。エラマスブトガクカウラ
 ムイテ切ツテクレタ。私達ハモツテ来タビールヲ飲ミナガラ魚ヲカヂリ、クカウヲ食ッ
 タ。

一寸端ヲマハッタ処ニ一昨日書イタ神ノ区ガアルノダ。ガ、潮ガナイカラ、歩イテ行
 ケルト云フ。エラマスブトハビールヲノンダカラ少シネタイト云フノデ、アルゲケルニ
 案内シテ貰フ事ニスル。端ヲマハルト白浜ガアル。男ヤ女ガ二人居テ何かカニカ、併
 シノンキソウニヤッテ居ル。椰子ノ実ガ十程モ浜ニコロガッテ居ル。娘ガ何か小サナ火
 ヲ焚キナガラ側デクカウラムイテハ食ッテ居ル。向フノ椰子ノ樹ノ下デハ、ムゲールヲ
 ウマソウニ飲ンデ居ル若イカミサンガ居ル。何処カノンビリシテ居ナガラ何処カ悲シイ。
 寫人ト云フ、土人ト云フ感^{〔感カ〕}ジガ強ク匂ッテ居ル。此ノ砂浜ノ尽キル処ニ小サナ岩ノ洞ガ
 アル。此処ニ踊ノ後デ踊ニ用ヒタブソスヤ其他ノ飾物ナドヲ^取□納メタモノダソウダガ、
 浪ガサラッテ□行ツタノダロウ、ソソナモノハ別ニナカッタ。只ブソスノヒドク朽チタ
 ノガニツ□アッタ。人工ヲ加ヘテ造ツタモノデアル事ハ明カデアルガ、全体ノ形モコレ
 カラハ推測シガタイシ、朽チハテテボロ〜ニナッテ居ルノデ、持ツテクル事ハアキラ
 メタ。其ノ岩ヲ廻ルト、又小サナ白浜ガアル。三ツ目ノ□□小サナ白浜ガ尽キル処ニ、
 一寸引込ンダ処ニ大キナ岩洞ガアル。此ノ洞ハ行キヌケニナッテ居ルガ、天井モ高く、
 広クテ明ルクテ、一寸シタ仕度場ニハモツテ来イダガ、此処コソハ其ノ踊用具ヲ奉納シ
 タ後ニ、魚類ヲ食ヒ御馳走ヲ作ル仕度場ダッタノダソウデ、成ル程、大キナ土鍋ノカケ
 ラガ沢山チラカッテ居ル。相当大キナカケラガアルノニ、一ツモ完全ナノガナイシ、不
 完全ナガラモ、一体ニマトマル様ナ破片モソロハナイノハ、□如何ニモ残念ダ。モトハ
 皆完全ダッタノヲ、若イモノガ来テ、ワザ〜面白半分ニコワシタモノダソウダ。如何
 ニモ残念ダガ、致方モナイ、カケラヲ五六枚ヒロツテクル。前ノ砂浜デ一寸休ンダガ、
 其処ニ居タ女ノ話デハ、マダ完全ナノガーツアルソウダガ、蔓草ガハビコッテ居テ切り
 □開イテ行カナケレバナラナイトノ事。又今一ツハ同ジ様ナ処ニ真ニツニワレタノガアル
 由。デア行キタカッタガ、先ガアルノデ止め、取ツテ置イテ貰フ様ニタノンデ帰ツテク
 ル。

〔欄外に記す〕
 [ガロンコル Ngaromchol]

タガデッキノ仔ハアルゲケルノ子供ニ一羽ヤツテ、此処デ育テテ貰フ事ニシ、再ビカ
ヌーヲ出シテ、ガサクサオノ端ヲ廻ッテワーラップシエーカル^{〔欄外に記す〕} [Ulëpsahal] ノ裏ニ出
ル³⁶⁾。ト暫ラク行クト又砂浜ガアル。ココガカ[△]ロンコルダ。五月三日ノ記ニ書イタ、ア
ラバケツノ故郷ハココダッタノダ。今デモ此処ハアラバケツノモノガ自分達ノモノトシ
テ居ル。女ガ三人居タ。オバサントオバアサント、モットオバアサント。私達ハ此処ニ
上ツタ。砂浜ノ後ハスグニ藪ダ。草ダノ木ダノ蔓ダノガ一面ニ茂ツテ、一寸踏ミ入ル事
モ出来ナイ。家ナドハ一軒モ見エナイ。ガ人が居ルカラニハ、奥ノ方ニデモ一軒ヤ二軒
ノ家ハアルノダロウ。オバサンハ着物ヲ着テ、鉢巻キラシテ居タ。オバアサンハ前ノ処
ニ、アミヤカノ大キナ葉ヲ五六枚紐デ結ヘツ□ケテ居ルダケダッタ。モットオバアサン
ハ、腰蓑ヲツケテ居タ。本当ニ土人ラシイ人達デ、可愛ゲガアツタ。エラマスブトハ草
ヲワケテ下ヲ見セタ。此ノ辺何処ニデモ、石畳ノアトガ散レテ居ル。ズット前ニハ、此
処モ立派ナ一村ダッタ事ガウナヅカレル。其ノウチニエラマスブトハ、大キナ椰子ノ葉
ヲクツテ、大キナ炬火ヲ三ツ造ツタ。

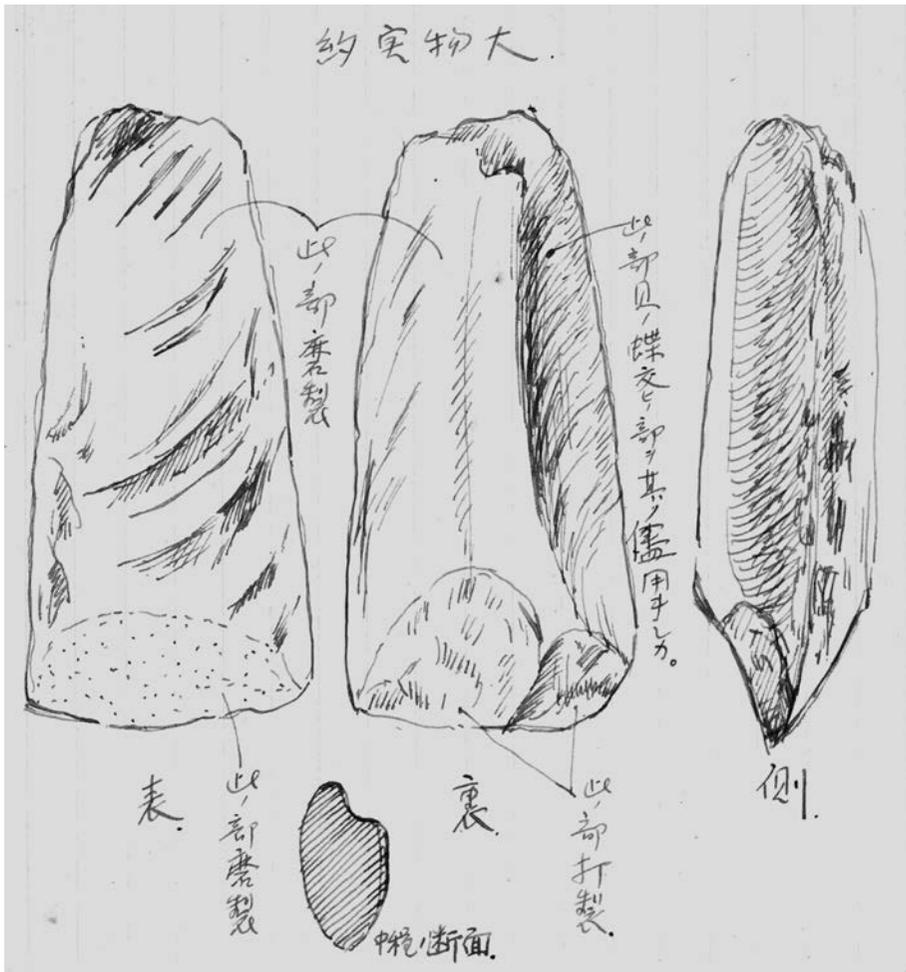
^{〔欄外に記す〕}
[洞穴葬跡。]

私ハヒドク珍ラシイモノニデモツカル様ナ氣ガシテ、落□着カナイ程ダッタ。浜ノ
向ッテ右手カラ、小サナ道デナイ様ナ道ヲ一寸入ルト、右手ノ涯^{〔崖〕}ニ一間半バカリ上ニ一
ツ穴ガアル。此ノ穴ハ風穴ダト云フ。而テ浜ノ方カラ入レルノダト云フノデ、皆シテ浜
ノ方ニ出ル。ソレラシイ穴——ト云ツテモ、四ツン這ヒニナツテヤット入ル様ナ穴ガア
ツタ。エラマスブトガ、炬火ニ火ヲトモシテ這入ツタ。私達モ四ツン這ヒニナツテ続イ
タ。ダガ、直グニ——ソレハ、失敗ダッタ。エラマスブトハ中ノ方デ、「狭クテトモ入
レナイ」ト云フ。私達モ仕方ガナイノデモグリ出ダ。オバサンガ少シ先マデ穴ヲ見ツケ
ニ行ツタガ、ソレラシイモノガナカッタ。思ヒキツテ先ノ風穴カラデモ入ラウト云フノ
デ引返シタ。今度ハ杉浦君ガ半分入ッテ炬火ヲカザシテ中ヲ見タガ、深クテ足場ガ一ツ
モナクテ入レナカッタ。カヌーノロープハ腐リカケテ居ルカラアブナイト云フ。モウ、
ドウニモ仕方ガナイ。今度ハ、懐中電灯ニシッカリシタロープヲ持ッテ出直サウトアキ
ラメルヨリ外仕方ガナカッタ。一番大キナ目的ガ、斯ンナ風ニシテ駄目ニナツテシマッ
タ。オバアサン達ハ、前ニ確ニ子供ガ入ッテ向フマデスケタ事ガアルト云フノダケレド。
今度ハ、エラマスブトガ、浜ノ向ッテ左ノ方ニ案内スル。

何ガアル？

昔ノ人ノスマッタ穴ガ.....。

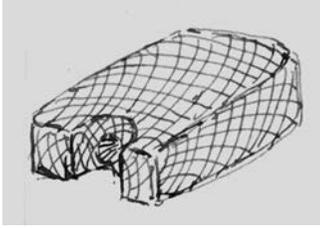
私達ハ、蔓草ヲワケテ入ラナケレバナラナカッタ。私達ハ、朽木ヲ踏ミ超エテ行カナ
ケレバナラナカッタ。斯ンナ処ニモ石畳ハ□^散乱レテ居リ、瘦セタパバイヤノ木ニ、マバ
ラニ実ガアカランデ居ル。私達ハソレヲトツテ、奥ニ入ッテ行ク。アツタ。例ノ鍾乳洞
式ノ洞穴ガ。カナリ広イガ、少シモ手ヲ入レタ様子モナク、自然ノママノモノダッタ。
何ニモナカッタ。焼ケボックイガ一隅ニ□無数ニアリ、高瀬貝、蜘蛛貝等ノ貝殻ガ無数



ニ散ラケテ居リ，土器ノカケラガ無数ニ乱レテ居ル外ニハ何モノカッタ。此处デモ，土器ノカケラヲ五ツ六ツ拾ツタ。帰り，藪ノ中ノ石畳ノ辺ヲ注意シテ歩イタガ，磚礫貝製ノ磨製ノカイバツクルノ先ヲ一ツ見ツケタ。明日ハ，アラバケツノ者ガ多勢来テ，蔓草ヲカタヅケルソウダ。ソシタラキツト，何かカニカアルニチガヒナイ。務メガナケレバ，コンナ所ニ一晩宿ツテ見度カッタガ仕方ガナイ。当モノイガ，又来ルツモリデ帰ツテクル。貝斧ハ内地ノ石斧トホボ似タ形ダガ，イクラカ細長イ。

ソレカラ..... 又，カヌーヲ出ス。少シユクト又砂浜ガアル。是レモカ[△]ロンコロノ由。椰子ノ木ナド相当ニアル。更ニドンヘ行クト，カビブクニ行ク。カビブクハ浜デハナクテ洞穴ダガ，漁ナドノ時寄ル位ラシク，別段何ノ跡ラシイモノモナイ。大キナ竹デアンダ筈ガ—五六尺ハアル—三ツバカリ置イテアッタダケダ。

ソレカラ杉浦君ガ，ア・キムヲ取ルトテ海ニトビコム。私モ一寸トビコム。岩山ニハ



大キナ蝙蝠が飛ンデ居ル。アヴウウガ、真白ナ長イ尾ヲ夕日ニ光ラセテ、軽々ト舞ッテキル。私達ハユックリト漕ギ、ユックリト帰路ニツク。六時頃アラバケツニ帰ッテクル。杉浦君ト東屋デ晩飯ヲ食ッテ帰ル。杉浦君宿ル。イイ日曜日ダッタ。

十九日

夕方カラ雨。夕方、平寫サンニ行ッたら、平寫サンハ大変ナ腹痛デ、今医者が帰ル所。ヒマシ油ガアルトイイノダガト云フ話。家ニ帰ッテ二壘トドケル。風□呂ヲアビテ帰り、雨ノ中ヲアバイニ踊ノ稽古ヲ見ニ行ク。

二十日

夕方ヨリ雨。

二十一日

雨降ッたり止ンダリ。

今日カラ公学校休トナル。午後三時半頃、役所ニ行ク。

夜、杉浦君来、宿、

今日カラ電気が来タノデ、夜仕事ガ出来ル。

「ア・リユー」ニテマスクーツ作ル。

二十二日

雨。午後、昼寝シテシマフ。

夜、杉浦君来、宿。

「ア・リユー」ニテマスクーツ作ル。

二十三日

朝雨、後ダン〜晴。

一般講習生四名ヨリ来ズ。十時止メ、皆ニテマダライニ海軍ノ運動会ヲ見ニ行ク。最後ノフットボールノ半ダッタノデ直キ済ミ、寫民ノ踊ニ移ル。始メバラオノ女ノ踊。ソレカラヤップノ棒踊、ヤップノ手踊、最後ニパラウノ男ノ踊。中バラオノ男ノ踊ハ、始メテ見タモノダ。

東屋デ中食、役所ニ行き、ケント、ミノ紙、ヤスリ紙等ヲ貰ッテクル。夕方、平寫サンニ行□ク。夜、杉浦君来。

二十四日

午後、エラオコバイトイリラオトヲツレテ、アバイノ模様ヲ摺リニ行ク。夕方、平寫サンニバスニ行ク。

夜遅ク、杉浦君来、宿。

二十五日 日曜日

天気ハヨクッタ。八時ニハ杉浦君トアラバケツニ出テ行ツタ。モドロノ家ニヨッタガ、モドロノハ今日バク達ノ集ガアルノデ、エラマランノ処ニ案内シテクレタ。エラマランハ風邪ヲ引イテ居タノデ、結局エラマスブドノ処ニ行ツタ。エラマスブドガ又一人デカヌーヲ漕イデクレタ。先日ト全ジ道ヲ全ジ様ニ出テ□行ツタ。途中、ガラカンガエルニ舟ヲツケテ、一寸上ツテ見ル。

ソレカラガビングルデ、大キナ一尺五寸モアルウルプーヴルヲトツテ行ク。マッスガサクサオヘ³⁷⁾。

少シ早カッタガ、アルゲケルノ処デ十時半頃昼食、タピオカト煮魚ト、ビールト。ムグールト。

前ニ置イテ行ツタタガデッキハ、二羽共元気デ大キクナツテ慣レテ居ル。ナカへ小憎クナツテ居ル。

ソレカラ汐ガーバイナノデ、エラマスブトアルゲケルトデ舟ヲ出シテ、マッスガサクサオノ一番ハジノ浜、四ツ目ノ浜ニ舟ヲツケル。アルゲケルガオレスヲ、草デモ木デモブツタキ乍ラ道ヲ進メルノデ、後ヲツイテ行ク。貝類ノ殻、□土器ノ破片ハ一面ニアル。杉浦君ガ第一ニ、□磨製ノ貝^(鮑)丁ヲ拾ツテクレル。私ハチキニ、貝製ノカイバツクルノ先ヲ二ツ見ツケル。ソレカラ曰クツキラシイ貝片、石片等ヲモ拾ツテオク。草ノ奥□深クデアルゲケルガ呼ブ。ドウシテモ行カレナイ。アルゲケルガ洞穴ノ方ニ途ヲアケテクレタノデ、其処カラ入ッテ行クト、草群ノ中ニ藪ノ□茂ミノ下ニ、大キナ土鍋ガ六ツモアツタ。一ツハ、ヒビ入りナガラ完全ニシテ居タ。外ノハ皆^(罎)週圍ダケ残ツテ、底ガヌケテ居タ。六ツハモチキレナイ。形ノ変ツタノバカリ、一人デーツツツモツテ帰ツテクル。アトニマダ二ツアルガ、後々誰カガ拾フダロウカ、コンナ処マデ入ッテ来テ。ソレトモ、草木ノ根ニアレラモ亦、遠カラズワラレテシマフダロウカ。海デソツ洗ツテ、大事ニカヌーニ積□ンデ、今度ハガロンコルニ向フ。

浜ニ^(着)就カウトスル少シ手前デ、アルゲケルガカヌーヲグツト止メル。ダガ、穴ハナクテ、カヌーカラ届ク位ノ所ニ一本ノ大キナ木ガ、グツト横ニ幹ヲツキ出シテ居ル。コレカラ登ルノダト、アルゲケルガ云フ。デ、杉浦君ガ先ニ枝ニ足ヲカケテ登リハジメル。私モツヅイテ登ルト、アルゲケルガ後カラ来ル。エラマスブドハ後ニ□残ツテ、カヌーヲ浜ニマハス。

アツタ。木ヲ伝ツテ岩山ニツクト、ソコ□ニ洞ノ入口ガ開ケテ居ル。私達ハアサツタ。

が、人骨ハ沢山アツタケレドモ、皆湿氣ノ為ニボロへニ崩レテ居テ形ヲナサナイ。頭骨モ、トウへ一ツモ□大キイカケラハナカッタ。アンマリ情ナイ。デ菌ノ四本ツイタ^眞□上顎ノカケラガアツタノヲ、只一ツモツテ来ル。ソレカラ洞ハ、奥へへトウネツテ行ク。私達ハ尚モ何物カニブツカルツモリデ、懐中電燈ヲ灯シテ下ヲ見、上ヲ見ナガラ入ッテ行ク。ダガ上ハ、蛇ノ様ナヒダカラ鍾乳石ガ垂レテ居テ、其ノ先カラ落チル水ノ滴ガポタへト下ノ土ニ吸ハレテ行クダケダ。下ハ岩ガ崩ケタ様ナ狐色ノ石灰質ノ砂デ湿ッテハ居ルガ、踏ム人モナイノデ、ボクへト柔カク積モツテ居ル。少シ行クト向フニ光ガアリ、私達ハスグニ、先日外カラ入口トシタ風穴ニ来タ。風穴ノ下ニハ、誰カラ^{ママ}投ゲコンダモノダロウ、貝殻ヤ土器ノ□破片ガ幾ツカアツタガ、是ト云ツテ持ッテクル様ナモノハ、トウへ何モナカッタ。

私達ハヤツトノ事デ、此ノ小サナ風穴カラ外ニ這ヒ出シタ。浜ニ出ルト、アルゲケルガ先ニ来テハ蔭ニ、椰子ノ葉ヲ何枚モヒイテ待ツテ居タ。カイト来タ鍾乳石ノ幾ツカラナゲダス様ニ、其□処ニ置イテ腰ヲ下スト、海カラ吹イテクル風ガ氣持ヨカッタ。エラマスブトガ、一ツツツムグールヲケヅツテクレタ。水ハ砂糖ノ様ニ甘カッタ。私達ハ少シバカリ話シテ居タガ、ヂキニ皆青□イ椰子ノ葉ノ上ニ横ニナツテ、イツノ間ニカ寝テシマッタ。

アルゲケルニ起□コサレタノハ、三時過ギテ居タロウ。

「汝ガ引カナイウチニカヘリマセウ」

私達ハ又、カヌーデガサクサオニ引上ゲタ。皆ガ一寸休ム間ニ、私ト杉浦君ハ海ニ入り、貝ヲ拾ツテ居タ。

暫クシテ帰途ニツク。汝ガスツカリ□干テ居ルノデ、途中ヲエラマスブドハナマコヲトツタリ、海茸ノ様ナモノヲトツタリ、晩ノ御馳走ヲシコタマ取りナガラユックリト、夕方六時過ギテアラバケツニ入ッタ。

モ□ドロンガ居タ。「何か御馳走ガアルカ？」

「何ニモナイ！」ト云フ。ソコデコレカラ行クカラ。エラマスブドカラサッキノウルブーヴルヲ貰ツテ来キ□^{ママ}煮テ貰フ様ニタノンデ、大キナオ土産、土鍋ヲ四ツト鍾乳石ト、石ツコロト、木ノ苗トヲ□道バタニ置イテ、ガスパンガル爺サンノ処ニ行ツテ、何か一ツ刻ンデ貰フ様ニタノンデ来ル。人形ヲ一ツ彫ツテクレル由。

モ□ドロンノ家ニ行ツタ時ハ、モウスツカリ暗クナッ□テ居タ。雨ガザンへ降ッテ来タ。モドロンハアパイニ出テ行ツタ。ウルブーヴルトシ[△]オカ[△]ンデ晩飯、雨ハ小止ミニナリ、モドロンハ帰ラナイノデ、立チカケタラ、モドロンノ上サンガデルームヤパイヤノ煮タノヲ出ス。オ腹ガパイダツタガ少シツマンデ、九時半頃、杉浦君トオ土産ヲカツイデ帰ツテクル。

土鍋トアキム器ニ就イテハ、又書ク事ニシテ。

二十六日

(欄外に記す)

[発信] 土方愛子様 大江安之介様 中澤佑様 中井良三郎様]

二十八日

(欄外に記す)

[受信] 金子九平次 久顕]

三十日

学校ニペリリュウ公学校長来。夕方、金井氏が東京カラ来タ考古学ノ助手³⁸⁾ヲ案内シテ来ル。六時半頃、家ニ来ラレ、私ノ集メタモノヲ種々見テ、九時半頃帰ル。夜ニ入ッテ雷雨。

ゲルール、デッサン

三十一日

午後遅ク、役所ニ行ク。道具未ダ上ラズ。

雨。

九月

一日 日曜日

アラカベサンニ行ク事ニナッテ居タノデ、朝早ク杉浦君ト出カケタガ、テマロンガカヌーガナイカラ教会ニ行ッテ、誰カノヲカリテ来ヨウト云フ。デ、ウイリヤンムノ処ニ行ッテ待ッテ居タガ、ヤガテヤッテ来テ駄目ダト云フ。デ、仕方ナク引カヘシタガ、此ノ儘止メモ気がキカナイノデ、アルボーヴルノ廢村ニ行ク³⁹⁾事ニスル。ウイリヤンムノ話デハ、アルボーヴルハ昔ハナカ〜大キクテ、コロールヨリモ勢力ノアッタ事ガアルトノ事、又アルボーヴルニハ、□ウニヲ刻ンダ石ガアルトノ事ダッタ。試験場ノ向フノ、山カラ墓地ノ処ヲ左ニ折レテ、何処マデモ下ッテ行クト、直キニ石畳ノ道ガアル。道ノツキアタリニアバイノ跡ノ石畳ガアリ、其処カラ道ハ右手ニ入ッテ行ク。道デナイ様ナ草道ヲ、併シボツ〜ト石畳ガノゾイテ居ル道ヲ少シ行クト、タッター軒イケツノ家ガ残ッテ居ル。

イケツニワニノ石ノ話ヲシタラ、オコンレイニ案内サセテクレル。先ニ通ッタアバイノ跡ノ直グ側デ、アラマルノ古イ木ガコンモリト茂ッタ蔭ニ、カラマルノ赤イ花ガミッシリツイタ生垣ニカコマレテ、湿ッポク苔デ青クナッタ胸程ノ高サノ石□ダッタ。石ノ周リニハ幾ラカ不規則ナ石畳ガアリ、石ノ正面ニハ図ノ様ナモノガ浮彫ニサレテ居ル。石ハ極ヤハラカデ、爪ノ先デボロ〜カケル。✓

二日

朝ノ講習ニ海軍ノ将校二名来観。

三日

朝、ガスパンガルガ、鉄木デ作ッタ人形ヲモッテ来ル。一円五十銭。

朝ノ講習道具ヲ渡シ、焼印ヲ押サセル。小供達ノ方モ道具ヲ渡シ、番号ヲ彫ラセル。

四日

ドウモマルデ天気ガヨクナラナイ。午後、驟雨。

五日

曇、晴。

朝ノ講習四人シカ来ズ。尤モアヨブクハ朝早く家ニ来、アイライニ葬式ニ行ク由、エ
ットロンモ共ニ行ク由申出アル。

夜、何^{〔ママ〕}を思ヒ出シタカ、ア・イバヴルカラ二尺モアル大キナ鯖ヲモタシテ来ル。刺
身ニシテビールヲヌイテ皆食ベテシマフ。

六日

雲多イガヨク晴レタ。

晩、杉浦君ガ来テ、暫クスルト岸川君ガ来、暫ラクスル
トア・イバヴルガ来ル。

~~~~~

↓

イケツノ伝承<sup>40)</sup>ニヨレバ、此ノ石ハモトカ<sup>△</sup>ラルドニア  
ッタモノダソウダ。「昔々アルコロントカ<sup>△</sup>ラルドト戦争ヲ  
シタガ、アルコロンニハコソコルイブ (ベッコーニ重ナレ  
ル意) ト云フベッコーノ□甲ガ体ヲ被ウテ居テ、ドンナピ  
スカンモ通ラナイ強イ者ガ居タ為ニ、カ<sup>△</sup>ラルドハ何ウシ  
テモ勝ツ事ガ出来ナカツタ。カ<sup>△</sup>ラルドノアマズハアルボ  
ーヴルニブケオ・アルポーヴル (アルポーヴルノ強ノ者ノ  
意) ト云フ勇者ノアル事ヲ聞イテ、アルポーヴルニ助ヲ乞  
フタ。ソコデブケオハアラルドニ行ッタノデアアルガ、アマ  
ズノ命デアマサ<sup>△</sup>ル・カリツス<sup>△</sup> (ガラルドニ於テ、ア・マ  
ズニ次グ□位<sup>家</sup>デ、家ノ名ハア・キント云ッタ) ノ娘ヲ、ブ  
ケオニ与ヘテ一軒ノ家ニ宿ラセタ。処ガソノ晩、□一晚中



雨が盛に降りツツケタガ、ブケオハ新居ノ家根ヲコワシテ了ッテ一<sup>酔</sup>□睡モセズニ家ノ中  
ヲアッチヘ飛ビ、コッチニ飛ビシテ休マナカッタ。雨ノ中ヲ飛ビ跳ネテ居テ少シモ<sup>濡</sup>□濡  
レナカッタソウデアル。夜ガ明ケルト、嫁ハ全身スレソボッテ父ノ家ニ帰ッタノデ、家  
人ガ驚イテ故ヲ尋ネルト、前記ノ次第デアッタノデ、父ハ喜ンデ、ソレ程ノブケオナラ  
バ今度ノ戦コソ大丈夫ダ、今ハ戦フベキ時ダ、ト云フノデ、ブケオヲ戦場ニヤッタノデ  
アル。

〔欄外に記す〕

[Chosocholuib. Bcheo-Arbōdr. Amaïhar a-Chalith.]

アルコロカラハ例ノ如クコソコルイブガ一人出テ来ル、ガラルドカラハブケオヲ出  
シテ雌雄ヲ決シタガ、コソコルイブガ大音声ニヨバハッテ出テ来タ処ヲ、ブケオハ只一  
ツノ強イビスカンデコソコルイブノ口ノ中ヲ突キ貫イテシマッタ。ガラルドノアマズハ  
喜ンデ賞与トシテ女ヲヤラウカ、金ヲヤラウカ、望ニ任セル由ヲ伝ヘタ。ブケオハ女モ  
金モ貰ハナイデ、此ノ石ヲ乞ヒ受ケテアルボーヴルニ持チカヘッタ。……………

ブケオ・アルボーヴルハパラウノ勇者デアル。

ブケオノ生レハ低カッタガ、ブケオノ顔ハ非常ニ美シカッタ。デ若イ女達ハ皆ブケオ  
ニ思ヲ寄セタノデアルガ、是ガ為ニブケオハ常ニ人々ノ□敵意ヲ受ケナケレバナラオカ  
ッタ。皆ハブケオガ賤シイ身分デアルノヲタノンデ、人ノ前テ足ヲ洗ハセタリ、尻ヲフ  
カセタリシテ、ブケオヲ罵ッタ。

ブケオハ死ヲ決シテ□□アルボーヴルヲ出奔シ（当時ハ単身他地ニ行ク如キハ、敵ノ  
中ニ入ッテ□行クヨウナモノダッタノデアル）、アルモノグイニ行ッタ。当時アルモノグ  
イニ戦術ビスカンノ達人ノ爺サンガ居タノデ、ブケオハ其ノ爺サンニビスカンヲ習ヒニ  
行ッタノデアル。始メ爺サンハ、ブケオガ若クテ弱々シクテ美男子デアルノヲ見テ相手  
ニシナカッタ。

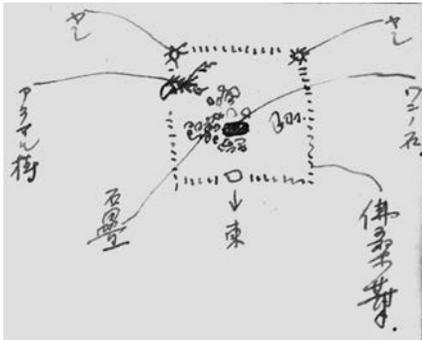
「オ前ハビスカンナドヲナラフヨリ、若女トデモ遊ンデ居タガイイ」。ダガ、ブケオガ  
タッテ頼ムノデ、爺サハブケオニ□云ッタ。

「本当ニ習ヒ度イノナラ、アノ岩山ノテッペンニアル□□檳榔樹ニ登ッテ実ヲトッテ来  
ナサイ」

ブケオハモトヨリ死ヲ決シテモト思ッテ居ルノデ、云ハレル通り岩山（カルバカブ）  
ニ行ッテ、高イ檳榔樹ノ木ニ登ッテ実ヲトッテ帰ッタ。

ソコデ爺サンモ今度ハ本氣ニナッテ、夜トナク昼トナク、ブケオニビスカンヲ教ヘコ  
ンダ。ブケオハアルボーヴルニ帰ッタガ、自ラ馬鹿ノ様ニナッテ居タ。

ダガ其後戦争ガアル度ニ、ブケオノビスカンハ何人カノ人ヲ美事ニ射トメ、ブケオノ  
名ハ漸次現ハレテ、遂ニ第一人者トシテユルサレル様ニナッタノデアッタ。斯クシテブ  
ケオハ、ガラルドカラノ要請ニヨッテアルボーヴル□□カラ撰バレテ、アルコロノコ  
ソコルイブヲ伐チニ行ッタノデアル。……………



楮テ□此ノ鰐ノ石ハ、当時女ヨリモ金ヨリモ値ウチノアツタモノデアル。石ニハ必ズヤ信仰的ナ由緒ガアツタモノニチガヒナイ。先日子供ニ案内サセル時ニ、イケツノ処ノ婆サンガ、子供ニ「余計ナ事ヲ喋ルノデハナイゾ」ト注意シタソーデアル。帰ッテカライケツニ聞イタガ简单ニ、「解ラナイ」ト答ヘタダケダッタ。是レハ今以テ信仰サレテ居ル証拠デアル。

イバヴァールモ石ノ謂レハ知ラナカッタガ、今ダニ□□<sup>昔ガ</sup>信仰スルモノガナカナカ多イ由デアル。カママルノ神籬モ近々誰カガヤツタモノデアルガ、神籬ノ隅ニハ一本ツツ椰子ノ木ガ植エラレテ居ルカラ、アノ小サナ四角ナ塚ハ以□<sup>然</sup>前カラ定ツタモノデアル。イバヴァールノ話デハ、昔ハ此ノ神境内ニハ誰モ入ラナカッタモノダソーデ、尚日ノ出、日ノ入ノ時刻ニハ誰モ行カナカッタモノダソウダ。光ガ逆ニ照リ輝クカラ……………

石ハ正シク東ニ向ッテ立ッテ居ル。

ア・イバヴァールノ話デハ、ブケオガコソコルイルノ口中ニピスカンヲ打込ンダノハ、此ノ「石ノ神」ノ導ニヨツタノダソーデアル。サスレバ昔ハ此ノ石ハ、戦ノ神デアツタカモ知レナイ。ガ、今モ尚信仰サレテ居ルトスレバ、ブケオガ美男子デアツタト云フ伝承カラ推シテ、男女関係のナ信仰ヲ生ミ出シタノデハアルマイカ。尚シラベテ見タイ。

〔欄外に記す〕

[A-Ikets. Tiwang Arabachets-sao Bailiyan ngas]

今ノアルボーヴル廢村ハ、昔ハナカ〜大キカッタモノデ、コロールト並ンデ勢力ガアツタモノダソーデアル。此処ノ酋長ハ代々「ア・イケツ」ヲ名ノッタ。此ノ村ノ東南ニ隣ッテ、此ノ村ノ兄弟村ガアツタ。アラバケツサオト云ヒ、酋長ハ代々「テイワン」ヲ名ノッタ。□今、アルボーヴル□カラ東南ニ秃山ノ麓ニ台ノ様ナ  形ノ丘ガ見エルガ、此処ニハモトバイリヤンカ△ストヨバレタルバクノア・バイガニツタッテ居タソウデ、今ノイケツノ若イ時マデアツタソーデアル。

◎尚アルボーヴルノア・バイニハ、以前ブケオノ投ゲタピスカント云フノガ残ッテ居タ□ソーデ、コソコルイブノ□口ノ中ヲ突イタノデ、齒ノ跡ガ残ッテ居タト云ハレル。ア・イバヴァールノ話デハ、此ノピスカンハスペイン人ガ持ッテ行ツタソウデアル。イケツハ丸太ノ様ニ太カッタト云ヒ、ア・イバヴァールハ檳榔樹ノ様ニ太カッタト云フ。若シ本当ニソナンニ太カッタトスレバ、此ノピスカン（武器）ガ即、武神デアツタモノデハアルマイカ、銅銚ノ様ニ。或ハ魔除□ノ類カ。

〔欄外に記す〕

〔(十二月七日ノ記参照) 176頁〕

○今ノア・イバヴァール二年ヲ聞イタラ、七十代ダト云ツタ。以前ニ英国人ガ、此処ノ女

ト関係シタ事件カラ殺サレタ事ガアルソウダガ、イバヴールガ小サイ時ダッタサウデア  
ル。スペイン人ガ盛ニ入ッタ頃ハ、既ニルバックニナッテ居タソウデ、何処トカノ小酋  
長ニナッテ居タシ、ドイツ人ガ盛ニ入ッタ時分ニハ、アラカベサンノ総督ダッタソウダ。  
年代ノ参考トナルカト思ッテ、一寸。

## 七日

午後二時カラ先日ノ考古学氏（ヤハタ氏）ノ講演ガク<sup>ラ</sup>ブデアアッタノデ聞キニ行ク。  
後、暗クナル頃マデ金井氏<sup>（新吉）</sup>、ヤハタ氏ト話シテ居タガ、結局明日ハ私ガヤハタ氏ノ案内  
スル事ニナル。カヌーノ都合ガ好カッタラバ、ガサクサオ、ガロンコルへ。駄目ダッタ  
ラ、アルボーヴル、アラバケツサオ、カ<sup>△</sup>リエルブノ廢村方面へ。杉浦君来宿。平寫サ  
ン入院手術。

## 八日 日曜日

晴。朝七時ニ金井氏カラ電話デカヌーガアッタ由。杉浦君ト一緒ニ家ヲ出、杉浦君ニ  
ハアラバケツニ廻ッテ貰ヒ、アラバケツノルバク達ニ更ニ話ヲ聞イテ、アタオデ待ッテ  
貰フ様ニシテ、私ハマダライニ行ク。八時過ギマダライノ波止場ニ出タガカヌー来ズ。  
八時半頃、ヤップノ若イモノガ二人集ッテカヌーガ来ル。直チニアラバケツニ廻ッタガ、  
杉浦君居ズ。ヤハタ氏ニ待ッテ貰ッテ、エラマスブトヲ訪ネタラ、杉浦君ハマダライニ  
行ッタ由。話ガ六カシイノデ、何故ダカワカラナイ。仕方ガナイノデ九時二十分頃、杉  
浦君ヲ待タズニカヌーヲ出ス。ヤップガ少シモ地理ニ不案内ナノデ、指図シナガラガサ  
クサオニ行ク。アルゲケルノ家ノモノ誰モ居ラズ、真直グ一番向フノ浜ニツケ、□□ヤ  
ハタ氏ト上陸、例ノ古鍋ノ所ニ行キ、更ニ其処ラ一<sup>（密）</sup>体ヲ暫ラク古器ヲサガシ歩キ、鍋ヲ  
モッテカヌーニ帰ル。十二時ニ間モナカッタノデ、ガロンコル迄行ッテ弁当デモ食ベル  
心算デ舟ヲ出サセタガ、風ガヒドイノデカヌーガ進メナイ。其ノウチニ波ヲクッテ、ヤ  
ップハ二人トモ竿ヲモッタ儘海ノ中ニ抛ゲダササレテシマフ、カヌーニハ水ガパイ入  
ッテシマフ。アルゲケルノ所マデ帰ロウトシタガ、ドウシテモ帰レナイノデ、スグ其後  
ノ白浜ニ舟ヲツケ、潮ノヒクノヲ暫ラク待ツ事ニスル。ヤップニ椰子ノ実ヲ取ラセ、ヤ  
ハタ氏ノビスケ<sup>△</sup>ットヲカヂル。

ソレカラ、モウ面倒臭イ。汐ノヒクノヲ待ッテ舟ノア<sup>△</sup>カヲカヘサセテ帰ル。帰りハカ<sup>△</sup>  
リエルブノアタオニ舟ヲツケサセテ上陸シ、カヌーヲカヘシテシマッテ歩イテ来ル。ア  
リエルブハアルボードルト全ジク、旧酋長家が只一人フミ止マッテ居ル全クノ廢村ダ。  
ソレカラアルミヅノ山ヲ越エテ、アルボーヴルニ入り、ウ<sup>△</sup>ニ石ニ行ク。イケツノカミ  
サンガ通りカカッテ、煙草ヲクレト云フ。

「タピオカガアルカ？」

「沢山アルカラ食ベニ来ナサイ」

ソコデ、イケツノ家ニ行キ、上リコ<sup>△</sup>ンデ<sup>△</sup>パンノ実ノ煮タノト大蟹ノ焼イタノト、ムク<sup>△</sup>ールト<sup>△</sup>ラ腹イッパイ御馳走ニナル。私ガ昔ノモノヲ探シテ居ルノダト云ツタラ、ヤタラト色シナモノヲ見セ□テクレタ。オカ<sup>△</sup>ルダノ、オンパ<sup>△</sup>ルダノ、オルホサカルダノ、クワ<sup>△</sup>ルダノ、石ノ<sup>△</sup>アイ、シヤ<sup>△</sup>コ貝ノアイ、オケ<sup>△</sup>ス、オルピー<sup>△</sup>ヴル等。

オ世辞ニオルピー<sup>△</sup>ヴルヲ売ッテクレト云ツタラ、モッテ行ッテ□モイイト云フ。二十銭オイテクル。

暗クナル頃、家ニ帰ル。

#### 九日

朝早く、カ<sup>△</sup>スパンカ<sup>△</sup>ルガ鉄木ノ彫物ヲモッテクル。二円五十銭。

#### 十日

雷ガゴロへ鳴ッタガ、雨ガフラナイデシマフ。

夕方、病院ニ平寫サンヲ見舞ニ行ク。

#### 十一日

朝早く役所ニ行ク。

夕方、カ<sup>△</sup>スパンカ<sup>△</sup>ルガ鉄木ノ蹲ッタ彫刻ヲコシラヘテクル。一円五十銭。

〔欄外に記す〕 〔柴山〕 〔柴山〕  
[受信 百合子 綾子]

#### 十二日

スバラシイ晴。朝、役所ニ行ク。

夜、エラマスブトガアブク・ラカリスヲ造ッテクル。

林サンノ所ニ風呂ヲ貰ヒニ行ク。

#### 十三日

今日モ亦、スバラシイ晴。明日、支庁長ニ来テ貰フ筈ニナッテ居ルノデ、夕方杉浦君ガ来ルノヲ待ッテ部屋ヲ片付ケル。片付ケ終ッテカラ、安達サンニ来テ貰ッテ一寸一パイツツ。

#### 十四日

金井氏カラ電話デ、支庁長昼来ル由、アハテテ待チウケル。十二時一寸前、支庁長、石井係長、金井氏来、三時前マデ話シテ帰ラレル。午後ノ講習休ミ。

夜、安達サンニ来テ貰ッテ鳩汁デ酒。夜、雨。

## 十五日 日曜日

朝、アバイニ行ッテ.....

昼寝..... 午後三時半頃、病院ニ平寫サンヲ見舞ニ..... ソレカラ夕方金井サンニ..... 留守、支庁ニ..... ソレカラ松尾サンニ行き、雨ニ降ラレ、十時頃迄モ.....

## 十六日

朝雨。夕方、驟雨。

## 十七日

月ガ雲ガ、大変ニ美シイ

今度、日曜ト祭日ト続クノデ、ア・イバヴルヲ呼ンデ、アウロン行ヲ計ッタガ、<sup>[生]</sup>相憎ク日曜日ハアラバケツノアバイノ金ヲ払フ事ニナッテ居ルノデ、イバヴルハ勿論、ルバク達ハ全部駄目ノ由、仕方ガナイ、ア・イミリキニデモ行カウトキメル。

## 十八日

晴。午ヨリ豪雨。

講習生ノ作品整理、

## 十九日

晴 午ヨリ雨烈シ。

午後三時過ぎ、役所ヨリ石井係長、齊藤氏、金井氏、荻野氏学校ニ来リ、講習生ノ作品ノ値段ノ相談。

杉浦君、昨日ヨリ役所<sup>[辞]</sup>止メ、家ニ来ル。

## 二十日

晴、驟雨二三回、

## 二十一日

子供達、アラカベサンニ遠足ノ為、午後ノ講習休ミ。

サカムスノアバイニ行ッテ色ヲ見□テクル。

夕方カラ病院ニ平寫サンヲ見舞ヒ、後、金井氏ノ処ニ行ク。松田サンガ来テ居ラレ、暫ラク話シテ居ルウチニ雨ニ降ラレ、十時過ぎ帰ル。

二十二日 日曜日

朝六時、天気ヨシ、六時半、イリラオ来ル。雨烈シク来ル、止ム気ハヒ無シ。七時半、雨ノ中ヲ出発、八時前アルミヅ着、エツウロンノ家ニ行ク。九時過ギアタオニ行ク。アバイニ一行ノモノ用意、大ゲサナリ。雨小止ミニ止ム。十時前ボートニテ出船、女子供等共二十六七名、再ビ雨。船中歌、十一時半、アイライ着、雨一時止ム。弁当。一時間程アバイニテ休ミ、十二時半アイライ発。汐干テボート行カズ、アバイニ引カヘス。アヨブク等三人ツレ、カヌーニテ前ノ岩山ニ行ク。

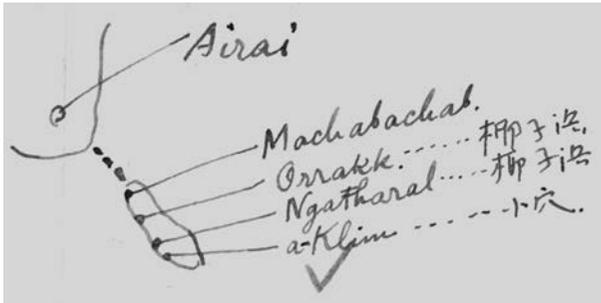
岩山ノ西南岩<sup>(岸カ)</sup><sub>(船)</sub>ニ添ウテ

マカバカブ (Macha bachab)

オルラック (Orrakk) [椰子浜]

カ<sup>△</sup>サ<sup>△</sup>ラル (Ngatharal) [椰子浜]

カ<sup>△</sup>サ<sup>△</sup>ラルニテカヌーヨリ下リ、ア・クリム (a-Klim)<sup>41)</sup>ニ行ク。



浜ヨリ竹竿ヲ拳ゲテ、  
神祠跡ト云フ小穴ニ上  
ル。

サシカケノ屋根、床棚、  
朽チ落チタリ、

図ノ如キ木製ノ奉物(?)アリ、拾ヒ来ル。

ウロカ<sup>△</sup>ンハ今、アラバケツノエラマラウノ家ノ傍ニアル神様ノ家(宮)ノ称ナリ。昔  
アイライノモノハ鮫、アジ魚ヲ食<sup>(ママ)</sup>バザリシ由、二時半頃アバイニ帰ル、雨、三度烈シ。  
暫ク休ミ。四時雨止ミ、夕焼、寫民等ナマコ、シャコ貝ノ類ヲトリ来ル。又弁当、ナマ  
コ、シャコ貝等皆生ノママナリ。六時出発、アヨブク、アリヨムドハカヌーニテ行ク。  
四度雨。船中歌、

マングロープノ水道、白光、闇、呼ビ声、<sup>底</sup>座礁、呼ビ声、女達沈黙、座礁

七時四十分、コイグルノアタオニ着、ビショ<sup>漏</sup>濡、

アヨブク、アバイヨリ炬火、

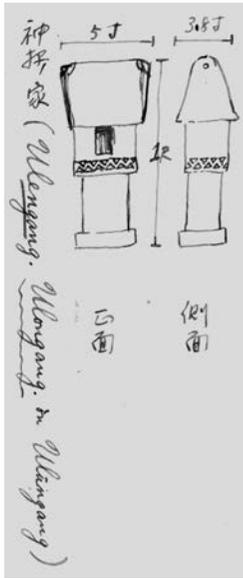
アバイニ入ル。爐ニ火、大鍋、

歌、歌、

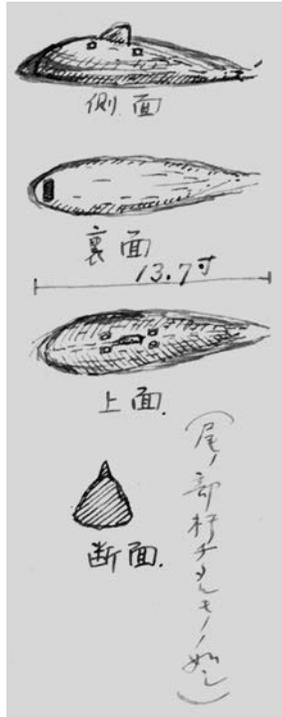
馳走、山羊ノ煮物。鶏トバパイヤノ煮物。タピオカノヒイタノ。

十一時半就寝、村長カラノアンペラ、大枕、掛布団。

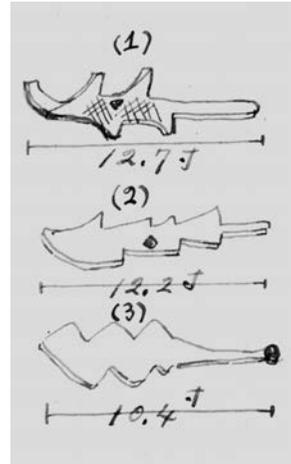
神様ノ家  
(Ulangang.Ulongang  
óu Ulūngang)



鮫 (Matkoil óu Matchoil)



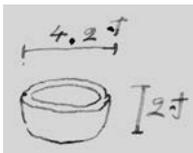
アヂ (Orūider)



[49 頁参照] [16, 52 参照]

二十三日 <sup>(欄外に記す)</sup> [秋季皇靈祭]

晴

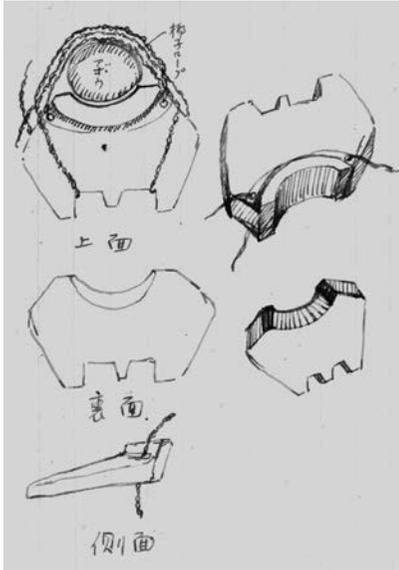


六時起床。

村ニ行き, 一軒一軒寫民ノ家ヲノゾク。

一軒デハ, オロカンノ小サイノヲ貫フ

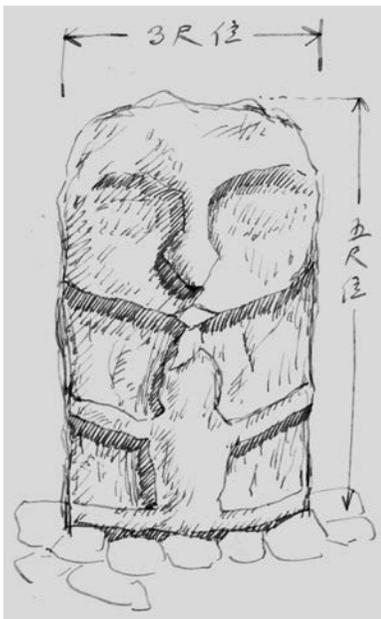
小サキ割合ニ厚手ナリ, 厚サ2分強,



一軒デハ、オレマエル (Oremael) [檳榔樹ニククリツケテ腰カケニスル□木製器具ナリ] ヲ見、

裏土手ニテ焼物ニ使フ粘土ヲトル。

一軒デハ、ココカラ続ク岩山ノ裏手ニ神様ノ処アリテ、三十四五ノ女ガ子供ノ時マデ、其処ニハラ□女ヤビスカンヲ投ゲル人ヤラ等々ノ木像ガアッタ由、時間ガナイノデ行カレナカッタ。



九時 □□バイニテ朝食、バラスニ鯛ノ罐詰ニ、タピオカニ煮魚。

九時四十分 □□□コイゲル発。 マングロープノ水道二十分、十一時、アイライ着、一休、十二時前、アイライ発、船中弁当、キリヌキ水道ニテアヨブクノカヌーニノリウツル。競漕、

二時半、アルミツニ帰ル。

石ヲ見ニ行ク<sup>42)</sup>。

旧ノア・バイ跡ヨリ東北ヨリ少シ離レシ草叢ノ中、

是ニツイテハ話アル由ナレド知レズ、後ニタダスベキナリ。引返シテ、旧ウレカ△ンノ跡ニ到ル。

〔欄外に記す〕  
〔 濟 〕



石畳ニウレカ<sup>△</sup>ンノ土台，朽チ乍ラ左右ニ二本残り居リ，中央ニ石アリ。

前記ノハ石質アルボーヴルノ鰐ノ石ニ全ク全ジク，モロクシテ青苔一面ニ生ヒ判別シガタキ迄朽チ損ジタリ。上部母ノ顔ニシテ，其ノ□□下ニアルガ，四肢ヲ開キタル嬰兒ノ背面ニシテ乳ヲノメルナリト云。後記ノモノハ，石質稍硬キガ如クナレド，イツレカト云ヘバ軟質ナリ。コハ細工比較的細カク巧ミナル上ニ磨滅ノ度少シ。今土台ノミ残レルウレカ<sup>△</sup>ンノ中ニデモ取メラレシモノナランカ。□□□□大イニタダスベキナリ。✓

四時前，土産物カツギテ帰宅。

夜，林サンニ風呂。

二十四日

二十五日

二十六日

小雨時々。

晩，モドロントエラマスブトトヲ呼ビ，オガル等ニ色ヅケヲサセル。

↘後，色々話ヲ聞イテミル。

◎アルミス<sup>△</sup>ノ母子石彫<sup>43)</sup>。

〔欄外に記す〕

〔アバイ名？ 神名？ 濟〕

昔アルミツ<sup>△</sup>ニ非常ニ□嚴正潔癖ノ神ガアッタ。生グサイモノガ嫌ヒデアッタノデ，踊ヲ捧ゲル者モ見ルモノモ，海ニ行ツタモノハ綺麗ニ体ヲ清メ，ア・レンヲ身ニヌツテ行クノダッタ。海岸ヲ通ツテ来ル者ラハ，途中海ヲ見ナイ様ニト手ヲカザシテ，視線ヲ遮ツテ来タモノダッタ。

処ガ一人ノ<sup>母</sup>□女ガ体モ清メズニ，赤子ヲ抱イテ踊ヲ見ニ来タ。皆ノモノハ神ノ怒ヲオソレテ彼女ヲ追ヒカヘ□□<sup>女</sup>ソウトシタ。処ガ女ハ子供ヲ抱イタママ固マツテ此ノ石ニナツテシマッタ。(此ノ伝承ガ間違ツテ□居ル事ハ明カダ。是レハ確ニズツト以前ニハ，アルボーヴルノ鰐ノ石ト同ジク，垣デモ結ハレテ此ノ石其物ガ信仰サレタモノニ違ヒナイ。

而シテ彼ノ鰐ノ石ガイケツ一族ノエツ△ル (Ethiül) デアルラシイ如ク、昔ノアラバケツノ有力ナ一族ノエツ△ルデアッタモノト思ハレル。

◎ソレカラウロガン (Ulongang) ノ廢跡ニアル四面ニ人面像ノアル石<sup>44)</sup> ハ、モドロノ□小サイ時分ニハ、ウロカ△ノ前ニ立ッテ居タモノデ、「教ヘ」ノ石トサレテ居タモノノ由、モドロノ□小サイ時分ニハ、<sup>ヨク</sup>□□悪イ事 (神様ニ対シテ) ヲスルト、アノ石ノ様ニナルゾト云ッテサトサレタモノダソダ。

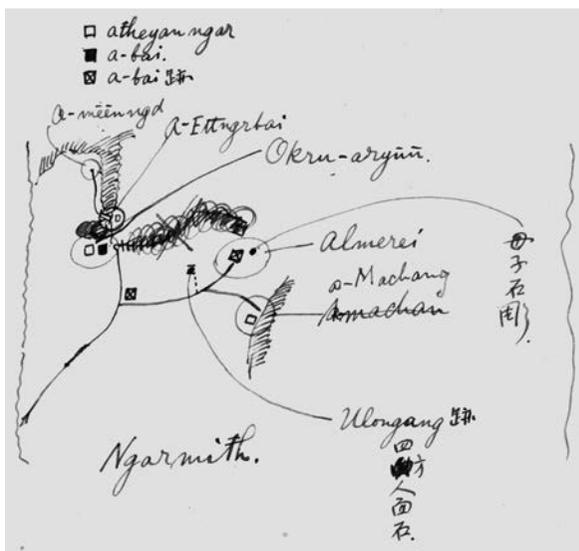


◎□□□□□マウコイル (Matkoil) ハ図ノ如キ形ナソウデ、タカ°デッキト共ニアイライノ神ノ乗物ナソウダ。タカ°デッキハ陸ノ乗物、マウコイルハ海ノ船デアアルガ、マウコイルノウチ、上ヒレノ黒イ方ガソレデ、此ノ黒イ方ノ鮫ハ決シテ食ハナカッタ。上ビレノ白イノハカマハナイ。タカ°デッキノ模型モアッタモノデ、カヌーニツイテ居ルノトハ異ッテ、羽ヲ開イタ型ダッタ由。

オルイーデル。

此ノオルキーデルハ、前出ノ図(1), (2), (3)ニ共通スル様デアッテ、魚ノアデヲ意味スルモノデハナク、踊ノ時ニ用キタ此ノ種ノ持物ノ名ナソダ。而シテ、

- (1) ハ、オカック (Ochak) ト云フ鳥ノ型デ、嘴ノ部ハ折レタモノダロトノ事。
- (2) ハ、バン (Bang) ト云フ魚ノ型、
- (3) ハ、無意味ナオルキーデルノ由。



オラカル (Orachal) [神名, 岩山ノ絵ヲ方々ニ描キ残シテ去ツタ]

オビンデップ (Obindep) [神名, 樹ノ葉ヲ白クシタ..... ×]

二十七日

午, ガスパンガル来。□鉄木ノ人形ヲツ造ツテ来ル。午後, 暫ラク雨。

後, モドロン, エラマスブド来。オカ△ルニラオクヲ塗ツテクレル。

晩食後, 九時頃マデ話シテ行ク。

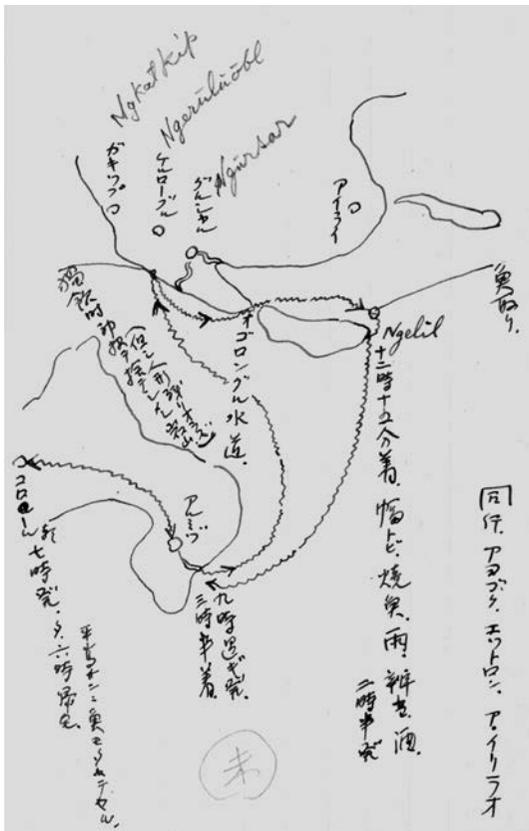
二人ガ帰ルトデキ, イリラオガ来ル。トツツカマヘテデッサンヲヤル。

二十八日

子供達ノ講習, 道具ヲ手入サセテ取上ゲル。

晩, 支庁長ノ処ヲ訪ネタガ, 船ガ入ッタノデ留守。平寫サンヲ見舞ツテ, 十時頃帰ッテクル。

二十九日 日曜日



同行, アヨブク, エットロン,  
ア・イリラオ

## 三十日

今日デ講習終。

午カラヒドイ雨，夕方迄。アヨブク，スケッチ。

晩，伏田氏訪問，帰り今見氏ノ処ニ行き，十時半過ぎ帰宅。

## 十月

### 一日

雨降ッたり霽レたり。夜，金井氏訪問，

梅子叔母様カラ小包，メリー・ミルク沢山ト小サイ色々ナ罐詰ト。

三沢カラ頼ンデヤッタ木灰紙<sup>(炭)</sup>，絵具等送ッテクル。

(欄外に記す)

[受信 久頭，英子，三沢寛，上原寿造，田辺保男，田辺保男]

### 二日

驟雨二三度。

夕方，ア・イバヴァールガ来ル。ビールヲヤリ飯ヲ一緒ニ食ッテ，色ンナ話ヲキク。色ンナ話ハアトデ書ク事ニスル。

### 三日

曇，晴，夜，少雨。

講習生ノ作品ヲ昌南倶楽部ニ運バセ，大体ナラベテクル。

昨日，ア・イバヴァールガイラオトヲ見ツケテ，パラオノ料理ヲ拵ヘテヤルト云フノデ，イラオトヲヤッテ置イタラ，夕方ニナッテボックスニーパイ御馳走ヲモッテ来ル。デルールニディオカニクカウニトルク二種，芋ノ葉茎二，安達サンヲ呼ンダラ，安達サンハ刺身ヲモッテクル。十時半マデ酒。

### 四日

午前，学校ニテ，支庁長，石井氏，金井氏来ラレ，青年，少年，講習修了式。

午後，倶楽部ニ行き売品整理，夕方迄カカル。

帰ッたらエラマスプトトモドロントガ来テ居タ。早寝トスル。

### 五日

曇，時々小雨。風。

展覧会（講習生作品）。午後ヨリ午後四時半迄。

明日，舟ノ都合ガヨカッタラアルモノグイ迄入ッテ了フツモリナノデ，高松サン，佐

久間サン、<sup>〔慕〕</sup>松尾サン、<sup>〔広〕</sup>永田サンニヨツテクル。晩、荷造。  
<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
 [受信 中澤佑]

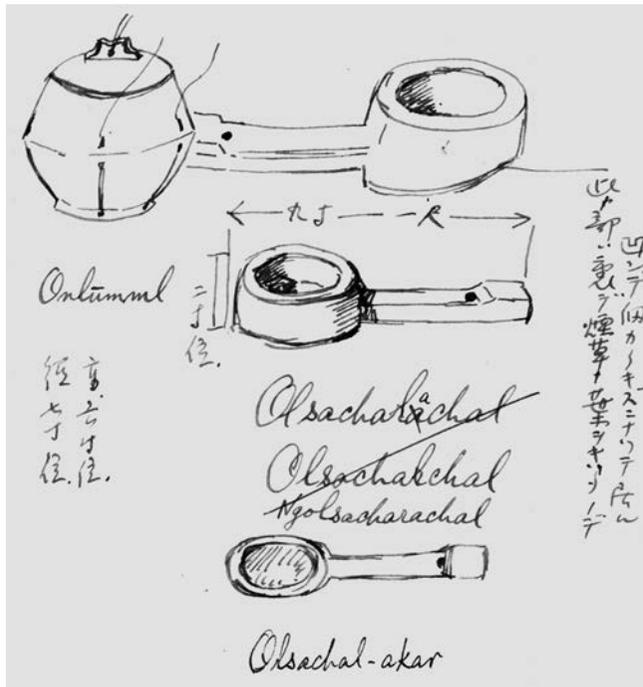
六日 日曜日 <sup>〔欄外に記す〕</sup> [発信 中澤佑, 柴山梅子, 三沢寛]

雨降ッタリ止ンダリ。

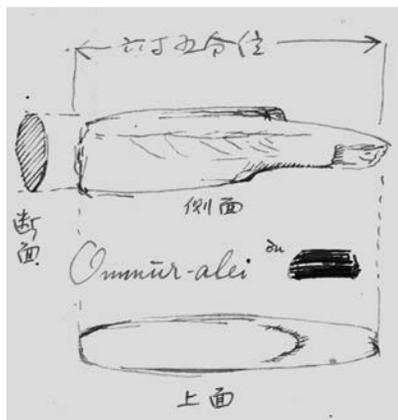
朝一寸、役所ニ行ク。途中、今見サンノ処ニヨツテ、彩影会ニ出ス絵ヲ置イテクル。

役所ニ行キ、九鬼サンニ一寸ヨリ、石井氏ヲ訪問、明日ノガクラオ行ニテ出発ノ由ヲ報シ、<sup>〔食カ〕</sup>昼食ヲ御馳走ニナツテ、<sup>〔辞〕</sup>帰り、支庁長ノ処ニ挨拶シテクル。四時前、学校ニ行キ、夕方後平寫サンノ処ニ行ク、平寫サンハ止メテ、此ノ近江デ内地ニ帰ル由、夜雨烈シ。

夕方モドロンガ来タ。暫クシテ一緒ニ、モドロンノモトノ家ニ行ツテ見ル。ムリマランノ家ノ裏デ静カデイイ処ダ、棲ム人モナイ家ガガラッポニナツテ荒レテ居ル。何年カ焚イタ事モナイ爐ノ石ニハ□埃ノ様ナ灰ガ白クカカッテ居ル。室ニハカホールガ三ツカサネテアリ、<sup>〔屋〕</sup>棚ノ上ニハバスケヤ其他ノモノガ少シバカリ乗ツテ居ル。向フノ家根裏ニハ、蝙蝠傘ノコワレタ柄ガツツサシテアル。実ニ何トモ云ヘナイ氣持ダ。人が棲ツテ居タ時ヲ思ハセル様ナ、□一寸シタモノガ其処此処ニ見ツカル。... 埃ダラケニナツテハ居ルガ。其処デモドロンガ、アッチコッチカラ色々ノモノヲサガシ出シテクレタ。五尺モアル立派ナオンパルガアッタ。オガルノ二尺五寸モスル大キナノヤ、径二尺モアツテ



深サノ五寸モアル，スバラシイ出来ノブークモアツタ。先ノトレタオゲスヤ何ヤカヤ珍  
 ラシイモノヤ，イイモノガアツタ。何年ノ間，誰ニモヌスマレモセズニ。何モカモ惜シ  
 イ様ナ欲シイ様ナモノダツタガ，其内デモ小サクテ珍ラシソウナモノ，蓋ツキノオンル  
ンムルヤオンムールアレイト云フ，ア・キム製ノ椰子ヲ割ツタ打器ヤ，オルサカルカル  
 (Olsacharachal)ト云フ薬ヲ作ル時ニ用キタ木器ヤラ，ア・カイ(アイ)ヤラヲ貫ツテクル。



アイハ普通□ノモノ。此ノア・カイ (a-Chai)  
 ト云フモノハ，多クアルコロンノ方面デ作ラ  
 レタモノダソウデ，昔ハナカへ高イモノダ  
 ツタ由。

### ○七日

曇，西風強シ，

エットロン，アヨブク手伝ヒニ来ル。

ビナス九時半過ぎ発。

汐ナクテアイライノ崎ノ岩山ヲ大廻リ，カイシャルノ沖頃ヨリ豪雨，

マルキョク，オギワルニ寄り，

四時過ぎ，ガクラオニ着，

カヌー来ズ，裸ニナリテ海ヲ渡リテ上陸

杉野氏ノ処ニ一泊，

### 八日

五時半頃起キ，皆デ村ヲ二時間程モ歩イテ見ル。九時半，潮ガ来タノデ大キナカヌー  
 ヲ出シテ，杉野君ニ棹ヲサシテモラツテ，船着場ニ行ツテ荷物ヲツンデガラルドニ来ル，

野元氏宅ニテ昼食，三時過ぎエラムクティノ空家ヲ借りテ荷物ヲウツシテオチツク。

夕方，野元氏ノ処ニ行キテ入浴，夕食ヲ御馳走ニナツテ，八時前ニ帰ル。

杉野氏及子供達三人宿ル。

## 九日

八時、学校ニ行ク。九時、子供達ニ紹介。

帰ルト雨ニナル。

朝起キタラ、杉野君居ラズ、学校カラ帰<sup>[ママ]</sup>ツタカ飯ヲ食ベテ居タ。鯛ヲトリニ行ツタ由、百尾余モ煮テ置イテクレル。十二時前、杉野君帰ッテ行ク。

<sup>タ方</sup>□□晩、野元氏ノ処ニバスニ行ク。十時半頃ニハ寝テシマフ。

## 十日

曇、

九時、学校、講習生、小供バカリ十二三名集リシガ、面白カラズ、助役、ルバク、巡警、青年団、支部長等集メテ、今少シク年上ノモノヲ勧誘セシム。

午後、野元氏、竹野氏来。

夜、竹野氏宅へ晚餐ノ招待、野元氏、南賀ノ村石氏モ来、十時帰宅。

## 十一日

九時学校、アバイ。子供達ニハ一時間程話シテ後、アペヨックルニテマルティリヨンヲ作ラシム。

ルバク達十名程集ル。杉浦君ニ話シテ貰ッテ村々カラ一人宛、一ヶ月交代デ出席シテ貰フ事ニスル。青年団ノ連中、運動練習ニ集ツタガ、講習生キマラズ。

ドウモ天氣ガハッキリシナイガ、晩迄ハドウニカ晴レテ居タ。夕食後、川ニ水浴ビニ行ク。ランタルヲモッテ。青イ半月ガ高イ檳榔樹ノ上ニカカッテ居ルノガ、岩岸ニオイタランタルノ光ガ水ニ落チテ、冷タイ水ヲ一層氣持ヨクスル。晩ニナッテ雨ニナル。

## 十二日

雨。

子供達マルティリヨン続キ、砥石スラセ、

午後、ブラ〜遊ンデシマフ。

夕方、マルキヨク駐在巡查大島君ガ出テ来タノデ、一寸村役場マデ行き、竹野氏ノ処ニ行ク、杉浦君ト二人デ夕食ヲ御馳走ニナリ、九時半迄モ話シコンデ了フ。

今日カラ隣リノビッコルバクガ留守番ニ来テクレル。

## 十三日 日曜日

晴。驟雨。

子供達ヲ□ツレテ木ヲ切りニ行ク筈ダッタガ、驟雨が来タノデ、子供達ダケヤル。パラオガ魚ヲモッテ来テクレタノデ十時半頃帰ッタラ、杉野君ガ来テ居タ。

午後、昼寝シテシマフ。鼻ノ先ノオデキガ氣持ガ悪クテ。三時半頃カラアバイノ絵ヲウツシニ行ク。チョット。

夕方、竹野サンノ処ニ行ッテ帰ッテ来タラ、又御飯ノ用意ヲシタカラ来ル様ニト子供ヲ使ニヨコサレ、続イテ竹野サンガ迎ヒニ来ラレタノデ、杉浦君ト二人デ行ッテバスト御飯ヲ御馳走ニナッテクル。

#### 十四日

晴、驟雨。

午前、子供達ニ<sup>アベヨックル</sup>□□□□□カラマルヲ取り来ラシメテ丸刀、間透ノ柄ヲ入レシム。午後、子供達ニ道具ノ話、道具ヲ渡シ、各番号ヲ刻マシメ、後一同ヲツレテ<sup>ウル</sup>ヲ切りニ行ク。

暮方、野元氏、竹野氏一寸ミエル。水浴。

#### 十五日

晴、夜雨、

午前、子供達ヲツレテ山ニカッパウイヲ切りニ行ク。道サガシク山深シ。□爪先登リ石道、草カヤ、<sup>シタ</sup>、泥道、谷川、登リ。

丸刀、間透ノ柄、研ギ物。

午後、子供達ニ<sup>ウル</sup>ニテ筆立ヲ作りニカカラシム。

朝、ウリマンノ村長ト、アルコロシノルバク、アマサ<sup>ライツ</sup>来ル。村長ニハアマス<sup>〇</sup>及エラシャオノ処ニ使ニ行ッテモラヒ、アマサ<sup>ライス</sup>ニハアバイニ来テ、ハツリ物ヲシテモラフ。午後マデカカッテ、アリウニテエルスボン<sup>ラーツ</sup>ハツル。

夕方、野元氏ノ処ニテバス、夕食。

〔欄外に記す〕

〔鳶釣り伝説〕

〔欄外に記す〕

〔ウリマンノアバイノ梁 (612) ニアル絵ハ此ノ物語デアル〕

バラオノ昔噺。

昔ガクラオニ一人ノ女ガアッタ<sup>45)</sup>。ソノ女ハ、アカラップノアバイニ行テアカラップノ人ヲオ婚サンニ貰ッテ、ロイサンノ山ニ家ヲ作ッテ棲ンダ。ソレカラ間モナク子供ガ一人、又、一人生レタ。

其ノ子供達ハ大キクナッテ、山デー軒ノ家ヲ立テテ棲ンダ。ソシテ石ノ鍋デ毎日イラオトヲツクッテ暮シタ。

夫婦ノ中ニハ又、子供ガ生レタ、此ノ子ガ大キクナッタノデ、父ハ先ノ子供達ノ処ニ毎日食物ヲ運バセタ。父ハ此ノ弟ニ、「オ前ハ毎日山ノ兄サンノ処ニ行ク時ニハ、必ズ歌ヲ唄ッテ行クノダヨ」ト云ッタノデ、其ノ通りニシテ居タガ、父ガアマリ何時モ同じ事

ヲクリカヘシテ云フノデ、子供ハ不思議ニ思ッテ、或ル時歌ヲ唄ハズニ行クト、兄達ハ大キナ月ヲランプノ換リニ使ッテ居ルノデ、ビックリシテ食物ヲ置カズニ帰ッタ。其レカラ何クハヌ顔デ又、イツモノ通りニ歌ヲウタッテ行クト、兄達ハ歌ヲキイテ、アワテテソノ月ノ燈ヲア・キムノ中ニカクシテシマッタ。弟ハ自分モーツ欲シクナッタノデ、家ニ帰ルトワット泣キ出シタ。

父ガ何ウシタノカト聞イテモ、何モ答ヘナイノデ、父ハ若シヤト思ッテ、「オ前ハ兄サ<sup>ノ家デ</sup>ン□□□達ノランプヲ見タノデハナイカ」ト尋ネルト、「ソウデス、アレガホシイノデス」ト泣キ乍ラ云ヒマシタ、父モ致<sup>(仕)</sup>方ガナイノデ山エ行テ、兄達ノモノヲ少シカイテトッテ来テヤッタ。

ソレハ三ヶ月ノヨウナ形ダッタカラ、釣針ニシテヤッタ。弟ハ喜ンテ早速海岸デ釣ヲスルト何デモツレタ、バナナデモ魚デモ何デモツレタ。

弟ハ大喜ビデ友達ヲ集メテハワケテヤッタ、其レカラ二三日スルト、今度ハスバラシイモノガヒッカカッテキタ。大変重イノヲガマンシテ引上ゲルト、驚イタ事ニハ立派ナ罵ダッタ。

弟ハ母ヤ友達ヲ呼ンデキテ、其ノ罵ニ家ヲ立テテ長ク棲ヒラシタト云フ。

此ノ話ハ今デモウリマン村ノアバイ□ノ梁ニ<sup>(ママ)</sup>絵ナッテ居ル

ソノ釣上ゲタ罵□ハ、今□アカラップノ村ノウチノ、テレデツプト云フ処ダ。

又、イラオレヲ作ルニ使ッタ石ノ鍋ハ、今アラップノ洗身場ノ傍ニ置イテアル。(是レハアカラップノエライトパンノ伝承ヲ、其ノ子ノシロウガ綴ッタモノデアル)

109 [十一月十三日ノ記参照]

181 (十二月八日ノ記参照) [N1.107]

十六日

晴、夜雨。

朝、子供達、カブウイニテ灰落シ。

午後、筆立ツヅキ、

ルバク、アマサ<sup>△</sup>ライツ<sup>△</sup>ル、 Gumレウヲ作ル。

夜、野元氏、竹野氏来。

<sup>(欄外に記す)</sup>  
[日輪模様]

(アイバヴルノ話)

日輪ナル人ハ..... (人モ魚モ鳥モ) 毎日、日ガ暮レルトマングローブノ中ニ入ッタ。下ニハ鮫ガ居タガ、アセ<sup>△</sup>ンケ<sup>△</sup>ス (マングローブ中ノ一種) ノ実ヲ落シテヤルノデ鮫ニ食ハレナイデ、又翌日ハ東カラ出テクル.....

日輪人。ペリリユーノカ<sup>△</sup>ルキヨクルノモノ等ガ、太陽ヲ探シニ行ッタ処、太陽ハ人

デアッタ。而テ彼等ニ竹ヲ呉レタ。.....

彼等ハ帰りニ、アラカベサンニ流レツイテ其ノ竹ヲ植エタ。ソレ故ニアラカベサンニハ竹ガ沢山ニアルガ、カ<sup>△</sup>ルキヨックルニハ竹ガ生エナイ、

而テカ<sup>△</sup>ルキヨックルノモノニ<sup>□</sup>限ッテハ、アラカベサンノ竹ヲ自由ニキッテ持ち帰ル事ガ出来ル.....

〔欄外に記す〕  
[ベボロック 済]

(アイバヴルノ話)

昔、大キナ鼠ガ<sup>46)</sup> アウロンカラ始メテ各所ノ岩山ヲ食ヒアラシ——今各所ニアルイイ(洞穴)ハソノ跡デアル——各寫中ヲマハッテ糞ヲ残シテ行ッタ。ベボロックハ此ノ大鼠ノ糞デアル——。因ニ、ベブロックノ石ハパラオニハ何処ニモナイトノ由——鼠ハ糞ヲ残ストキニ、「トッテオケバ今ニ訳ガワカル」ト云ッタ。

鼠ハ神様ダッタ。ベボロックハア・バイノナンバニナッタ。



私ハ二ツノベボロック<sup>47)</sup>ヲ見タ。一ツハムクッティノアバイニアル。黒緑ノ硬質ノ石デ、本當ニパラオニハ見ナイ様ナ石ダ。図ノ様ナ形デ長サガ二尺モアルダロウ、太サハ径五寸カ五寸五分モアラウ。磨製デ立派ナモノダ。

今一ツハコイグルニ行ッタトキ、一軒ノ家デ見タガ、此レハ黄褐色ノ、全ジク極メテ硬イ質ノ石デ、長一尺余、太径三寸五分乃至四寸位ヒノモノデ、是レモ磨製デ立派ナモノダッタ。家人ハ天カラ降ッタ石ダト云ッテ居タガ.....。

モドロンニキクト、アラバケツノア・バイニモ、モト一ツアッタ由ダガ、独乙人ガ持ッテ行ッタトカ。

兎モ角、昔ハ各所ニ相当アッタラシク、何処ノルバクニキイテモ、何処其処ニモアッタガ、今ハナイトカ何トカ云ッテ居ルガ、誰デモ知ッテハ居ル。是レニツイテハ尚シラベタイ事ガ沢山アルガ、各所ノ石神、若シクハアケツノ遺跡等ト関係ガアルモノデハアルマイカ。アイバヴル系統ノモノデハナイラシ<sup>□</sup>ク、現ニ、アイバヴルノ話ニヨレバ、ムクッティノモ何処トカニアッタモノヲ拾ッテ来タノダトノ由ダシ、コイグルノモノモア・バイニハナクテ<sup>(前)</sup>固人ノ有デアル。

〔欄外に記す〕  
[アマサ<sup>△</sup>ラカリツツ<sup>△</sup>ノ家ニモ一個ベブロックアリ。]

十七日 新嘗祭

晴。

アカラップニ行ク筈ダッタガ、使ガ来テ、野元氏、竹野氏ガアコールニ行クカラ一緒ニ行カウトノ事ダッタノデ、アカラップノ方ハ杉浦君ニ行ッテ貰ッテ、アコールニ行ク。汐ガナイノテ海岸ヲ歩イテアコールニ入り、区長ノ家デ昼食、四時頃、子供達ガボートデ迎ヒニ来タノデ帰ル。

別段ノ何事モナカッタガ、帰りノボートダケハ実ニ気持ガヨカッタ。東ノ空ニ明イ月ガ出テ。

野元氏ノ家デバス、夕食。驟雨。

十八日

晴、驟雨。

朝、子供達、灰皿続キ。

午後、アバイニ行テパタへ。ソレカラ□ルバク達ガ多勢集タノデ話ヲキキ、夕方、村長ト一緒ニアバイ・ラ・ウリマンニ昔ノ人面石ヲ見ニ行ク。

晩、野元氏ノ処ニテ昨日ノ鶏ノ御馳走。

〔欄外に記す〕  
[マガラン 巨石列柱 伝説 (コンレイノルバク アマサ<sup>△</sup>ラ イツ<sup>△</sup>ル 伝承) Bath a ūlchāū]

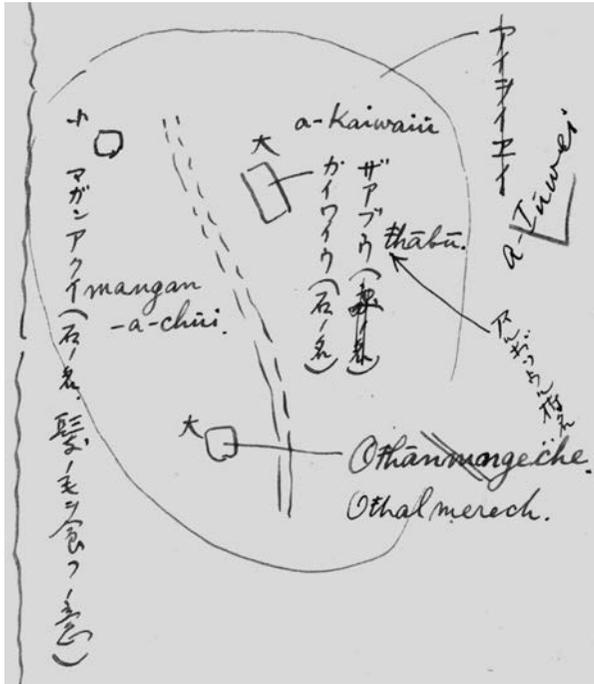
アノ列柱ヲ建テタ神様ハ、ペリリウトアングウルノ間ノ海カラ出テ来テ、北進シ、本〔取〕寫ヲ東西ニ分レテ登ッテ来タ。東ノ海ヲ来タモノノウチ三人ハ、疲レテ寝クナッテマルキヨクニ上ツタガ、其ノママ石ニナッテシマッタ。□一行ハ更ニ北進シタガ、中二人ハ〔取〕疲レテ寝クナッテコンレイデ石ニナッタ。今コンレイノルバクノアバイ [〔欄外に記す〕Baidrbei]ノ傍ニアル。

東西ノモノハ遂ニマガランニ入ッテアノ列柱ヲ拵ヘタガ、鶏ガナイテ夜ガ明ケタノデ中止シテ去ッタ……。

因ニ、オギワルノ前ノ寫 ( )ニ、列柱ノ桁ニスル筈ダッタ、十数間モアル石ガ円柱ニ拵ヘラレタ儘置イテアル由。

アングリール (ガリール)ノ海ノ中ニハ、屋根ニスル筈ダッタ大石ガアル由。

マルキョクノ石の位置 Machayäp



マガラン巨柱ノ中、  
一ツハ神様ノ命ニヨッテ  
ガベイノ者達ガ全部デガ  
ベイマデ持ッテ来タ、今  
ガベイニ在リ。

十九日

晴，風烈シ。

朝ノ子供，灰落ツヅキ，

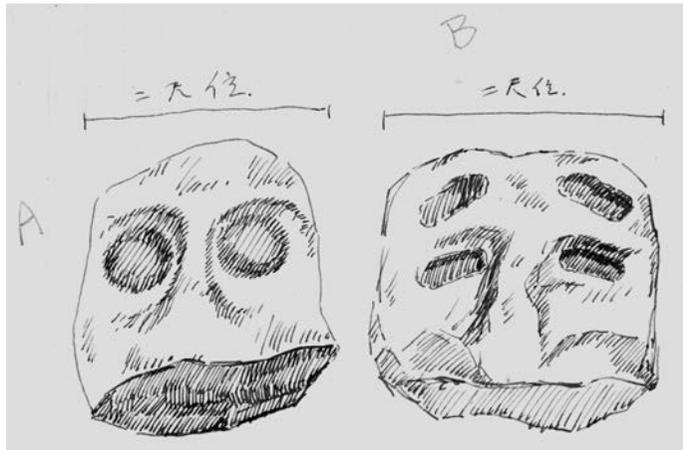
午後，寝テシマフ，残念，

二十日 日曜日

晴，風烈シ，杉野君来ル。

カボクト<sup>48)</sup>ヨリ，アカラップ<sup>49)</sup>ニマハリ，ゲサンニオリテクル。





アルポーヴルニ持チ行キシ

アユースノ石ノ跡ニ残レル人面石, 左ナルガ親ニテ, 右ナルガ子ト云フ。

二十一日

晴,

朝, 子供達, 一齊ニカルスボン

午後, 子供達, 筆立続キ,

二十二日

晴,

朝, 子供達, カルスボン続キ, 灰落シニカヘルモノ, 家ニウツルモノ。

午後, 子供達, 灰落シニウツルモノ, 筆立ヲ□今一度作ルモノ。

杉野君カヘル。

夕方, 小□川サン来ル。夕方, 野元氏宅ニ集ル。

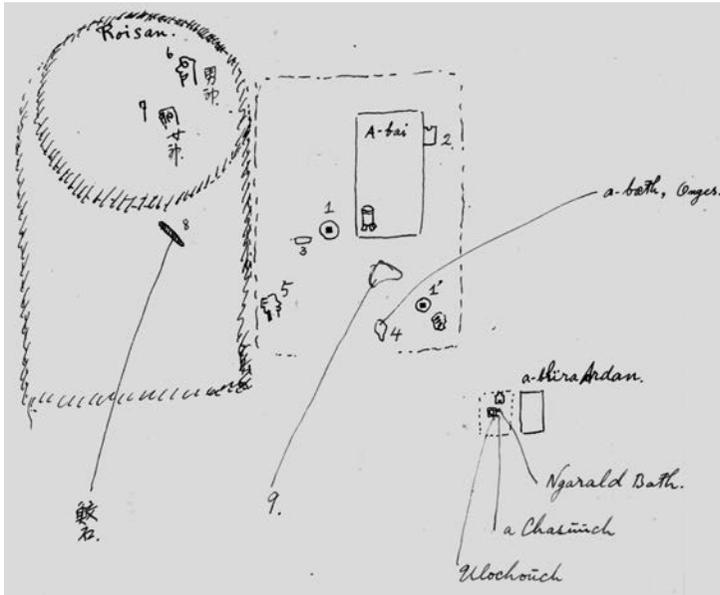
二十三日

晴,

朝, 子供達, 「家」

午後, 子供達, 灰落シ, 筆立。

〔欄外に記す〕  
 〔二十日〕 a-chalap 濟



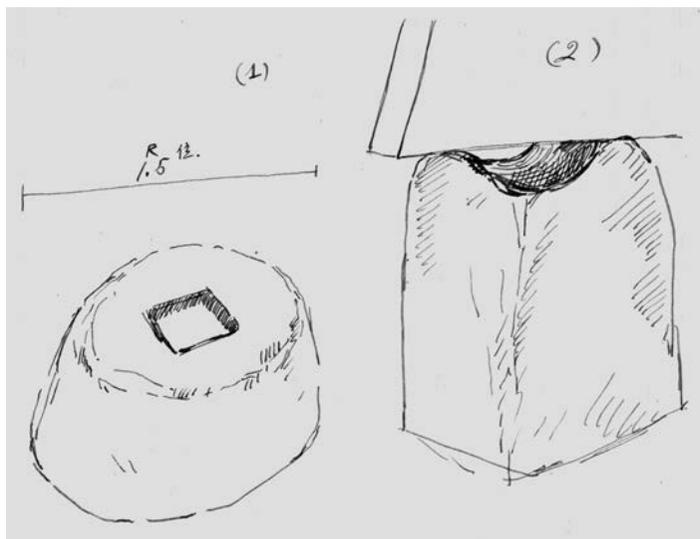
二十四日

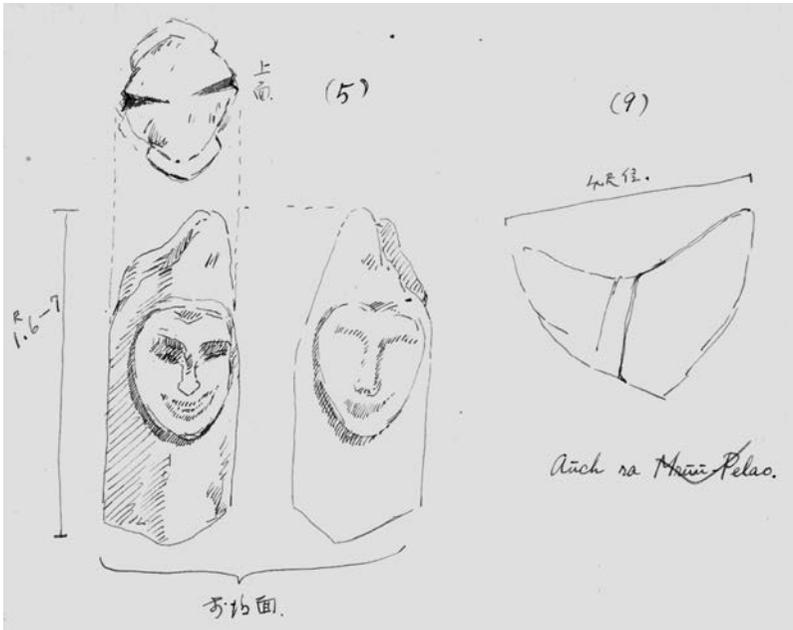
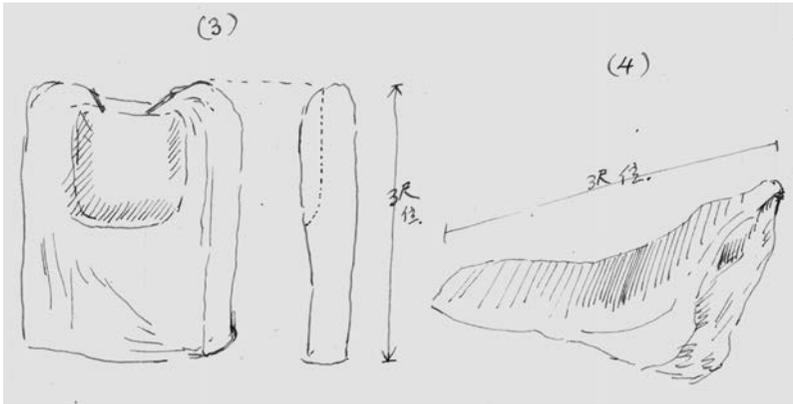
晴,

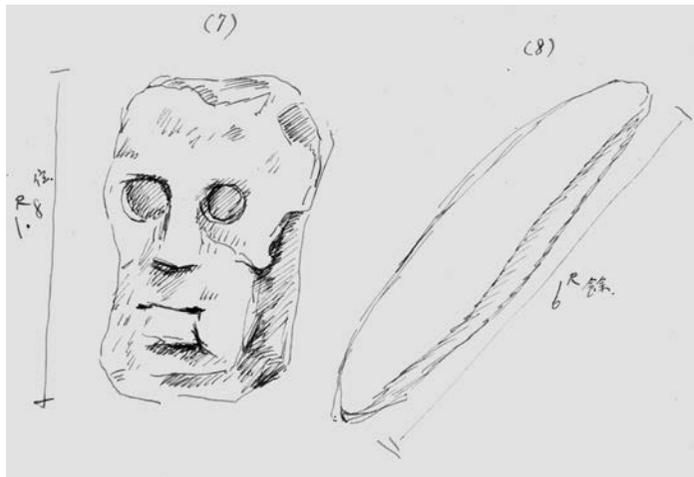
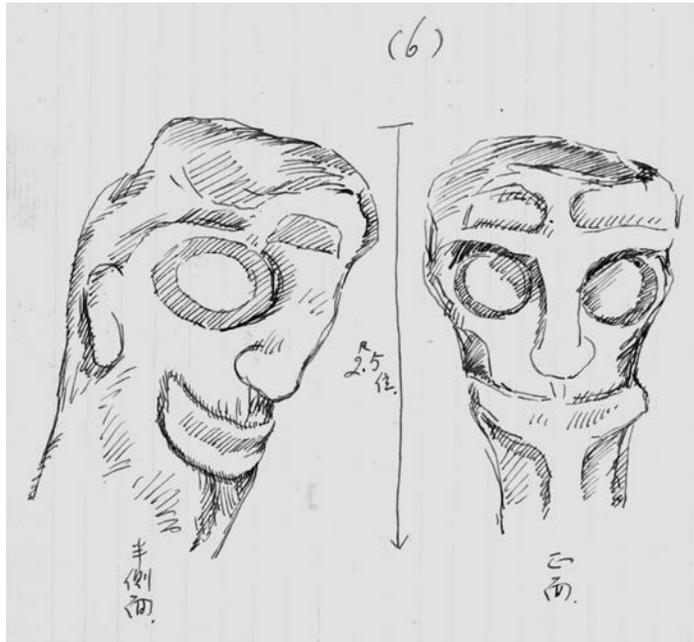
朝, 子供達「家」, 朝, 小川サン帰ル。

午後, ア・バイノ絵, ウツシ。

〔欄外に記す〕  
 〔前頁図番号〕







二十五日

雨三四回。

朝, 子供達, 板平彫ニウツルモノアリ,

二十六日

雨少シ。夜雨。

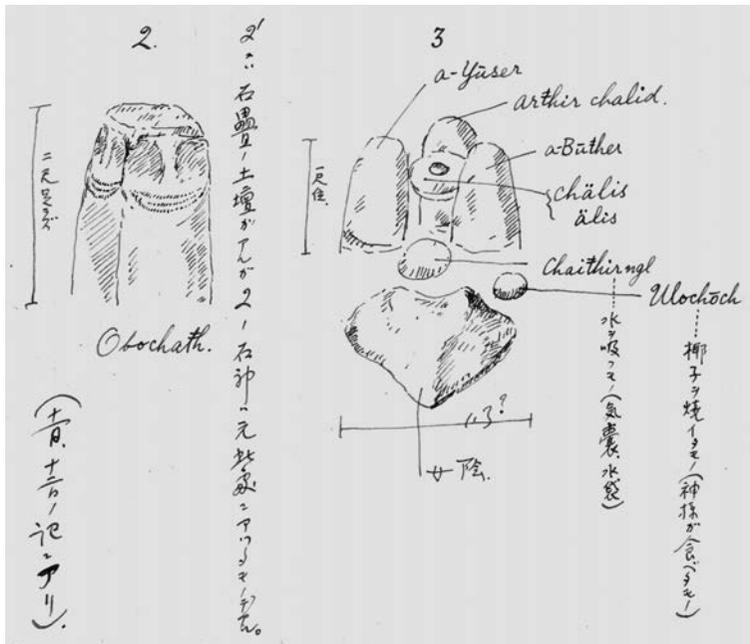
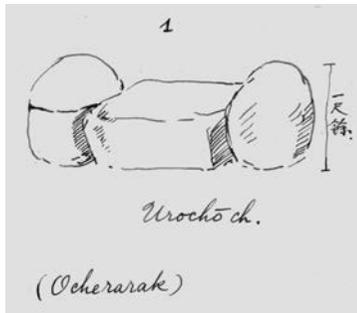
朝, 子供達, 板平彫, 終ルモノ二三。

二十七日 日曜日

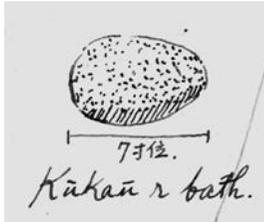
朝迄雨ダツタガ出カケル。エラガヤンノ家ニ行ツタガ、ア□サ△ライツ△ルハ天气ガ悪イカラ行カナイト云フ。

トカイノ家ニ行ツテ話シテ居ルウチニ雨が止ンダノデ、皆デ浜ヲ歩イテアコール<sup>50)</sup>ニ行ク。ア・イムツ△ールノ家<sup>51)</sup>ニ。

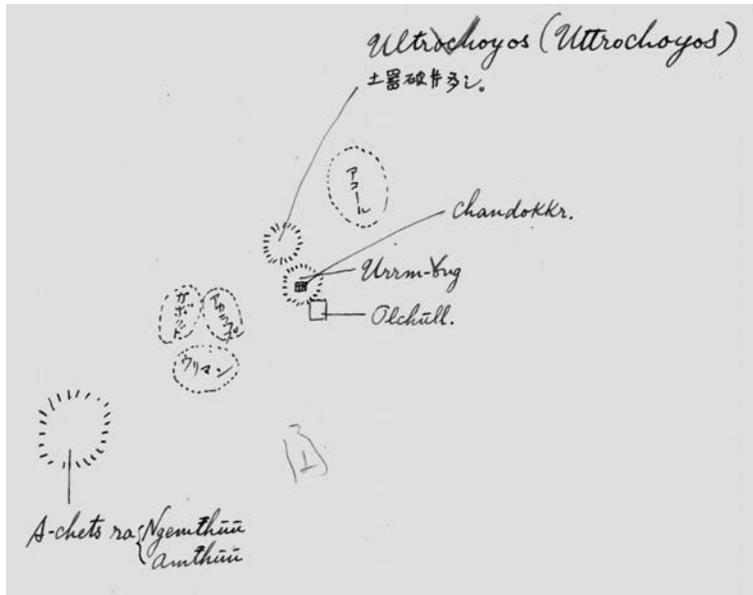
[欄外に記す]  
[A chōr]



4



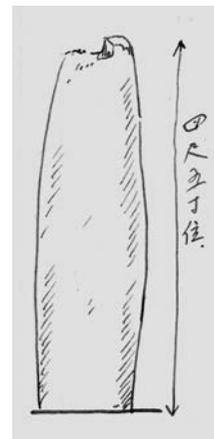
ア・イムツ<sup>△</sup>ールノ家ニアリ。オルワンカ<sup>△</sup>ルヨリ持ち来ルト伝フ。(花崗岩)



アコールトガボクドトノ間ノアケヅノ頂上デ、オロカンノ破片ヲ沢山ヒロッタ。  
 ウルムオンニハ一本ノ椰子ノ木ガアッテ、下ガ二間四方位ヒニカンドックルニナッテ居ル。

其ノ傍ガ今少シ小高クナッテ居ルガ、此処ニハ元「石」ガアッタソウダ。スグ下ノ墓地ニハ..... パラオノ墓地ガコナ風ニナッタノハ最近ノ事ダ—古イ—昔ノ巨石時代ノ石ガ沢山ニ利用サレテ居ル。多分ウルムオン<sup>×</sup>カラ持ッテ来タモノダロウ (アカラップカラモッテ行ッタト云フ)

中ノ一本ハ、明カニ<sup>×</sup>図ノ様ニ頭ニ溝ガウガタレテ居リ。マガンランノモノ、又ガルワオノモノト同一形式、同一質ノモノデアル。



二十八日

雨，四五回。

朝，子供達，ゲルカイニ移ルモノ四五。

午後，子供達，続キ，

夜，竹野サンニバス。

二十九日

晴。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，灰皿中止，アドコ板平彫，線彫，

晩，野元サンニバス。

三十日

晴，昼驟雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，全部村ニ出テ休講。

アバイノ絵一枚仕上ゲル。

三十一日

晴

朝，子供達新ラシイニツ目ノゲルカイニ移ルモノ四五。

午後，アマサ<sup>△</sup>ラカリツツ<sup>△</sup>来ル。昔ノカ<sup>△</sup>ボクドノカンドベケルニ就イテ一寸聞キ，後二時過ギヨリメセリセイトスマントヲツレテ，カ<sup>△</sup>ラカベツタン<sup>52)</sup>マデ行ッテ見ル。往復二時間程，四時半頃帰ル。

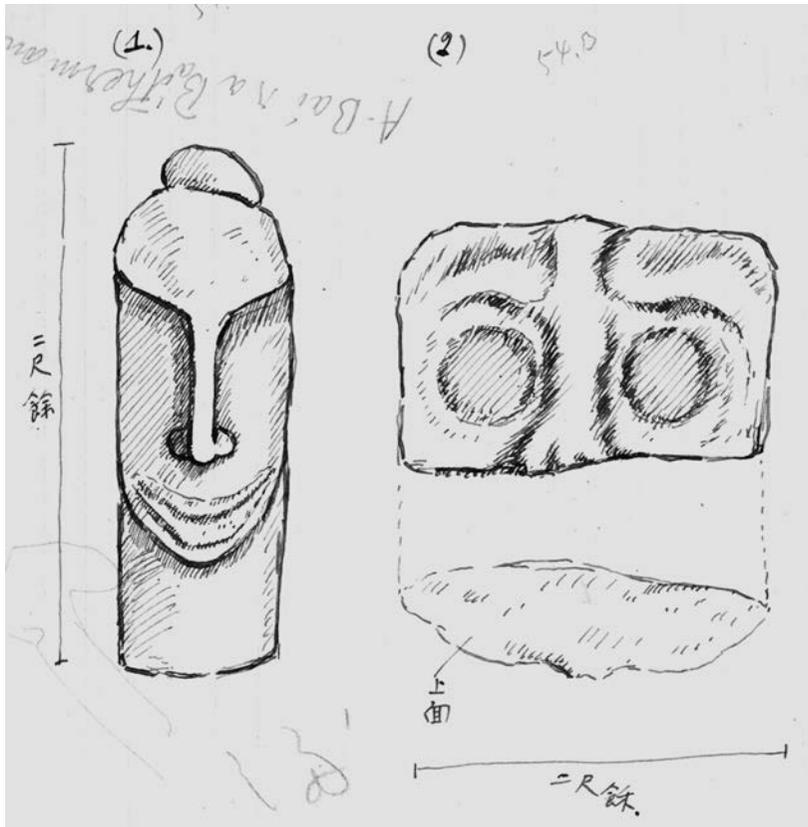
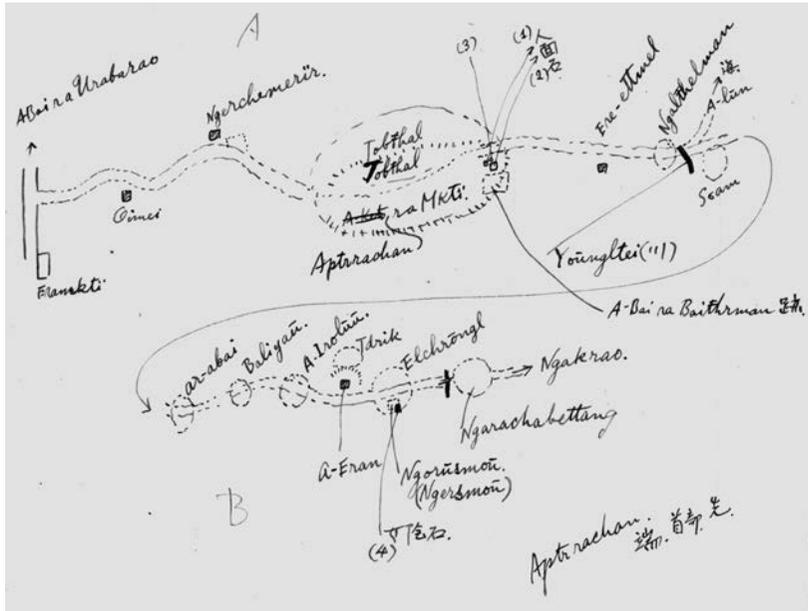
アケツ・ル・ムティヲ越エテ，トブサ<sup>△</sup>ルヲハツレ様トスル所，右側ノヒドイ木ト葛ノ茂リノ中ヲ，這フ様ニシテ行クト，(1)(2)ノ人面石ガアッタ。(1)ハビルメヤイ女石像ノ系統デアルガ，実ニハッキリシテ居ル。彫ガ深クテ単純デ。

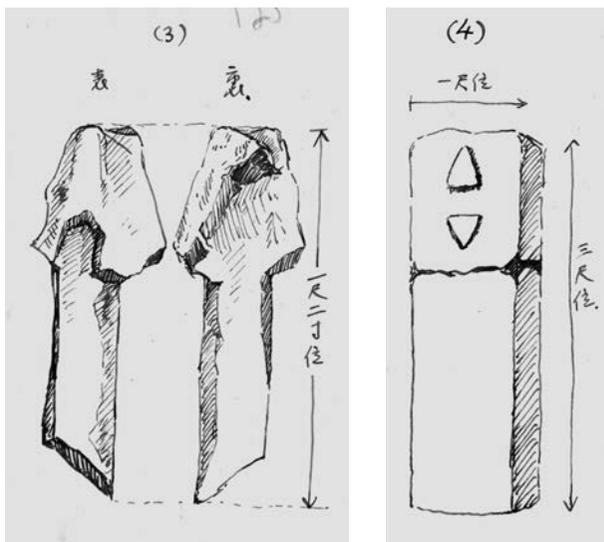
是レニヨルト，今迄——ビルメヤイニシテモソウダッタガ——目ノ表現ヲ一途ニ推測シタノハ間違ヒデ，此ノ石ニハ目ハ全然ナイノデアル。

(2)ノ方ハ明カニ，アルボーヴル石（アユノス）ノ石跡ノ親子石ノ系統デアルガ，丁度全ク全ジ部分デ割ラレテ居ル事ハ，奇トスベキデアル。

(1)ノ人面像ノ根元ニ，(3)ノ様ノ殆ド全部打製ノ石ガアッタ。是レハ大キサガ手頃ナノデ，持ッテ帰ッテクル。私ハ是レヲ男根石ダト思フ。

ソレカラ，エルクローク<sup>○</sup>ルト云フ廢村ニ，コ<sup>△</sup>ルスモウト云フ家ノ跡ガアル。其ノ家跡ニ(4)ノ様ナ女陰石ガアル。——倒三角ハパラオノ女陰形デアル。





此ノ石ハ、ア・エランニ依レバ、村ノモノデハナクテ、コ<sup>△</sup>ルスモウ家ノモノダッタサウダガ、子持石ノ一種デ、子供ノホシイ女ハ椰子ノ実ヲシ<sup>△</sup>イスニカイテ此処ニ捧ゲ、祈リヲアゲルナラバ□子ガ出来ルト信ゼラレタモノデアアル。元ハ此ノ場ニ立ッテ居タモノダソウダガ、今ハ倒レテ上三分ノ一ノ辺デ割レテ居ル。

(3)ト共ニ、パラオニ於ケル生殖器崇拜ヲ物語ルモノト思ハレル。ア<sup>コ</sup>ールニアル、(3)中ノ女陰石モ亦、此ノ種ノモノデアロウ。(二十七日ノ処)

アマサ<sup>△</sup>ラカリツツ<sup>△</sup>ニ聞イタ昔ノカ<sup>△</sup>ボクドノカンドベケル

[17, 117]

A-ma<sup>h</sup> 男

|                                           |                                                        |                  |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------|
| Alma <sup>h</sup> hara Chali <sup>h</sup> | { Ngara-okmi (老)<br>Ngara-ūwaū (壮)<br>Ngara-terber (若) |                  |
| Erachois <sup>an</sup>                    |                                                        | Ngara-reūreū (老) |
| Eltūron                                   |                                                        | Ngara-asisb (壮)  |
| Arekisi <sup>h</sup>                      | Ngara-baliroi (若)                                      |                  |

女

|                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| { Ngara-bithakar <sup>s</sup> a <sup>h</sup> (老)<br>Ngara-me <sup>h</sup> hirakayai (壮)<br>Ngara-ban <sup>h</sup> tharan (若) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|   |                |     |
|---|----------------|-----|
| { | Ngara-ayam     | (老) |
|   | Ngara-ṭhiṭhūya | (壮) |
|   | Ngara-Ngaū     | (若) |

〔機外に記す〕  
〔◎エラテムウノ話 済〕

[ガラスマオノ話 (アマラエル伝承)]

昔、カ<sup>△</sup>ラスマオノアケツニ、エラテムウト云フ悪魔<sup>53)</sup>(a-□□□□□ deleb ra Eratemūū)ガ居テ、大キナ翼デ空カラ舞ヒ降りテハ人ヲ食ツタ。カ<sup>△</sup>ラスマオノ者達ハ恐レテコンレイニ逃ゲテ行ツタガ、一人ノ婆サンガ舟ニノセテクレトタノムト、「後ノニ乗ツテクレ、一パイダカラ」ト云ツテコトワラレタ。ソシテトウ〜乗リオクレテ、一人残サレテシマッタ。婆サンハイイ(i)ニ居テ芋ヲ食ツテ居タガ、其内ニ胎ンデ二人ノ子供——神ノ申シ子ヲ産ンダ。二人ハドン〜育ツテ大変丈夫ダッタ。デ二人ハ家ヲツクツタガ、トベケル(マングローブノ一種)デ、アバラカ(ハネギ)ニシテ<sup>家</sup>屋根ニ千木ヲ拵ヘテ置イタ。

テ家ガ出来テ中デ火ヲ焚クト、デレップラ エラテムウガ二人ヲ食ベヨウトシテ舞ヒ下リテ来タガ、アバラカニ引ッカカッタノデ、二人ハ遂ニ其ノ悪魔ヲ捕ヘテ殺シテシマッタ。二人ハ悪魔ノ風袋(thürbchl)ヲトツテ、ソレニ云ヒフク□メタ。

「コンレイニ行ツテ事ノ始終ヲ□告ゲヨ」

ソシテ海ニ流シテヤッタ。

コンレイノモノガ或日漁ニ出テ居ルト、ツ<sup>△</sup>ルブクルガ流レテ来タノデ拾ヒアゲテ、聞イテミタ。

「オ前ハ魚ノヅルブクルカ、獣ノヅルブクルカ？」

ケレドモ返事ヲシナカッタ。

「ソレデハ悪魔ノツ<sup>△</sup>ルブクルカ？」

スルト、其ノ風袋ガ沈ンデ石ニナツテシマッタ。

(今モ此ノ石ハアルト云フ)

カ<sup>△</sup>ラスマオノモノ等ハ、エラテムウガ死ンダ事ヲ悟ツテ、皆村ニ帰ツテ来タ。ソシテ二人ガ退治シタ次第ヲ知ツテ、二人ヲルバクニ立テテ□再ビガラスマオニ住ム様ニナツタ……

其ノ一人ノ名ハ、アカラエル

今一人ノ名ハ

杉浦君ノ話ニヨルト、ペリリュエノカ<sup>△</sup>シヤスニモ是レト全ク全ジ話ガアルソウダ。

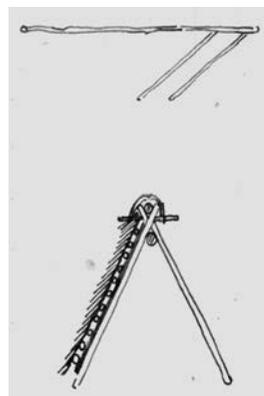
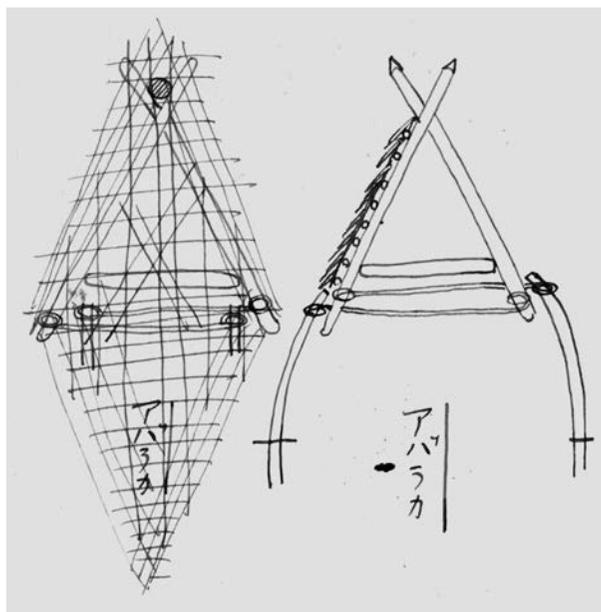
只、悪魔ノ名ガムロワツ<sup>△</sup>ルクール (Mrowa thürchūūr) ト云ッテ、翼モ何モ□□モ  
タナイ事ト、

神ノ申子ガ、一人ハ甲ノ様ニ体ガカタク、一人ハ体中ニ角ガハエテ居テ、二人ガ漁ニ  
出テ居ル時ニムロワツ<sup>△</sup>ルクールガ出テ来、戦ノ後ニ悪魔ガ退治ラレル事ニナッテ居ル  
ダケダソウダ。

勿論、村人ノ逃ゲテ行ッタ地名ト、神子ノ名トハ、当然違ハナケレバナラナイガ。

是レトハ直接関係ガアルカ無イカワカラナイガ、アバラカニハ大オリツキ (悪魔)  
ガ退治ラレル時、同ジクアバラカニヒッカカッタトサレテ居ルソウダ。

是等ノ話ハ、表南洋系ノアバラカ式建□築者ガ入ッテ来テ勢力ヲ得タ事ヲ伝ヘルモノ  
カモシレナイ。



パラオノ屋根

勿論、此処ノ建築モ、アバラカ式デハアルガ、千木ヲ高く出シテナイ。

## 十一月

一日

晴、

朝、子供達、ゼルセイ 1, 2, 続キ、

午後、歯グキが腫レテ、グヅへ寝テ了フ。夜雨。

〔欄外に記す〕  
[忌ミ物 (食)]

(アマラエル伝承)

○アイライノカ<sup>△</sup>シャカンデハ蟹ヲ食ハナイ。ソレハカ<sup>△</sup>ルドコール (Ngardochol) ト云フルバクニ神ガ憑イテ、蟹ヲ食ヘバ病氣ニナルト告ゲタニ依ル。

〔欄外に記す〕  
[rūkūng]

○ガラスマオノモノモ蟹 (arachūng) ヲ食ベナイガ、ソレハセ<sup>△</sup>ラクミム (īherachmim) ト云フ悪神ノ飼物ダカラデアル。

〔欄外に記す〕  
[Dirakemim]

○カヤンガルニ於テハカ<sup>△</sup>ラサオル (a-ngarasaor) ト云フ魚ヲ食ハナイ。食ヘバ<sup>△</sup>ムシニナル。

○アコールニ於テハバナナ (a-tūū) ヲ食ベナイ、ゲラカムクール (Ngerachamūchūr) ト云フ美神ノモノダカラデ、食ヘバ海ニ出テ流サレルト信ゼラレル。

○アカラップノモノハ椰子蟹 (A-katat) ヲ食ハナイ。オクビールト云フ神ダカラデア

ル。  
〔欄外に記す〕  
[Hūm acharm]

○ウリマンニ於テハ<sup>ヤドカリ</sup>蟹 (アクム) ヲ食ハナイ、ゼラ・クミム悪神ノ飼物デ (A-charmich a īheracbmim), 食ヘバ体ガハレルト信ゼラレル。

○アイライ, カ<sup>△</sup>スパン, ガラスマオ, アルコロニ於テハ, ア・カイ (A-chai) ト云フ魚ヲ食ハナイ, ア・カルミム・ラ・ムゼキーペラオ (Mīhekī pelao) 〔欄外に記す〕 [Harmel a MedehiBelaū] ダカラデ、取レタ時ハ神ニ捧ゲルノデアル。

〔欄外に記す〕  
[初度月経祭 ? 「入社式」(女子)]

初度月経ガアルト□□□□初度月経祭? ガアル。勿論ソソナ娘達二人デモ三人デモ一緒ニヤルコトモアルノダガ、其時ニハ年寄ガ男女ノ人形ヲハツル。ソレト「タカ<sup>△</sup>デッキ」ヲツ。是レニハ謂レガアル事ト思ハレルガワカラナイ。

ハツタ年寄ハソレヲ椰子ノ葉□□デ被ウテカクレテ持ッテ居ル。

ソコデ踊ノ群ガヒトシキリ踊ル。

ソレカラ, アウロンニモッテ行ッテ——娘ガ頭ノ上ニノセテ行クノダ——寝カセテ置イテクル。

ソレカラ群衆ハ一晩寝ナイデ遊ブ。ソシテ<sup>翼</sup>□□翌日, 木ノ□□下ニ, 木ノ皮ニ顔ヲムケテ置イテクル。

〔欄外に記す〕  
[カルスボン。]

カルスボンハ, セ<sup>△</sup>ラクミム悪神ニ捧ゲラレタ…… アカヤブ (大カヌー) ヲ家ノ前

ニ持ッテ来テ、大勢ノモノガ夜明マデ踊リ、翌日ニナッテ女ガカルスボンヲ頭ニノセテ、定ッタ場所——岩ナド——ニ持ッテ行ク。

大勢ノモノハ、漁ニ出、トレタ魚ヲカルスボンノ周圍ニ捧ゲ——カルスボンハゼラクミムノ社トナルノダ——魚ハ木ノ葉ニモッテ捧ルノダ——ソシテ誰ソレノ病氣ナラ病氣ヲ直シテ下サイト祈ッテ帰ル。

〔欄外に記す〕  
[カシボクー]

カシボクーハ、ク△ムレウ悪神ノア・カル□ムナノダ。食ヘバ死ヌト信ゼラレル。因ニク△ムレウハ各人ノ体ノ中ニ居ルト信ゼラレタ。

---

コレラハ、アマラエルノ伝承ダガ、ドウモフニ落ちナイフシガ多イ。初度月経祭ナドハ、カンドベケル入社式ト関係ガアルモノデハアルマイカ。

二日

晴。

朝、子供達、十時半迄ヤッテ後、山ニカブウイヲ切りニ行ク。

午後、シゲバルトヲツレテ、ア・バイ・ラ・アラップニバタバタ。

三日 明治節

晴、

九時ヨリ学校ニテ式。

式後、運動会。十二時終リ、祝盃、

三時前ニ切上げ、ソレヨリ、トカイニ案内シテ貫ッテ、裏ノアケツヲアウロンカラ登ッテ、一廻リシテ来ル<sup>54)</sup>。

杉野君来テ居タノデ、晩皆デ武野氏ノ処ニビールヲモッテ行ッテ飲ム。十一時前切上ゲテ帰リ、一時半頃迄、杉野君一人デ喋ッテ居ル。

(1)(2)、イヤカス△、エビルハ自然石ノ巨大ナモノガ二ツ並ンデ立ッテ居ルノdealガ、イヤカス△ノ方ハ、エビルノ倍程モアル。イヤカス△ハ、男石トセラレ、エビルハ女石ト云ハレル。ソシテ此ノ男女石ガ、「男」「女」ノハジメトセラレル。

(3)ハ、イヤカス△、エビルノ下ニ、是レモ自然石ガ平タク露出シテ居ルノダガ、此処デ此ノ男女石ニ捧ゲラレル踊ガ踊ラレタモノダソウデ、処々ニ径一尺余ノ穴ガウガタレテ、水ガ溜ッテ居ル。

(4)ハ、ギラ・カ△ラルドト呼バレルガ、伝説ハ判然シナイ。何デモギラ・カ△ラルドガ此ノ石ニナッテ、此処カラ天ニ登ッタト云ハレル。  
〔ママ〕



アイライノ頂上ニ近く、池ノ跡ト云ハレル処ガアルガ、頂上ニ近イ斜面ヲ利用シテ、平ラナ部カラ下ニオリヨウトスル処ニ堤ガ築イテアル。成ル程、是レハワザへ造ツタモノデ、水デモタタヘタモノデアロウ。

〔欄外に記す〕  
[a Keol 未]

アムツ<sup>△</sup>ウノ頂上モ浅ク広ク凹ンデ縁ガ高く、此処ニモ全ジヨウナ池ガアッタモノト思ハレル。十坪位ヒハアルダロウ。

ソレカラアイライカラオルサカ<sup>△</sup>ルツ<sup>△</sup>ーブニ至ル間、ドノアケツノ頂上ニモ土器ノ破片ガイクラデモアルノダ。コレハ何ウシテモ昔<sup>△</sup>日、此処ニ人が住ンダ事ガアル訳ダガ、何ウシテ斯ンナニモ不自由ナ処ニ、而モ氣ノキイタ樹木一本ナイ山頂ニスマナケレバナラナカッタカニ就イテハ、当然疑ナキモ得ナイ筈ダ。

コレニ就イテハ、地質学者等ノ説ヲ待タナケレバナラナイ事ダガ、

一、オルワンカ<sup>△</sup>ル程ノ大瀉ガ最近ニ沈ンデ居ル事実、

二、神話ノ中ニ□□□□神話ノ中デ此処等ノ人間ガペリリュートアンカ<sup>○</sup>ウルノ間ノ海ノ中カラ起ツタト云ハレル事、(現ニアル砂瀉ガ、アル時代ニ相当ニ大キナ瀉デアッタノデハアルマイカ。

三、全ジク神話ノ中デ、神様ノ時□代ニハ、現在ノウリマン、アカラップノ辺ハ海デアッタト云ハレル事、現ニアカラップハ海カラ釣り上ゲラレタト伝ヘラレテ居ル事、

等ニヨッテ、或ハシカク、遠カラザル時代ニ現在ノアケツ及全高ノ地ノミガ小<sup>△</sup>パラオヲ成シテ居タモノデハアルマイカトモ考ヘラレルノダ。

而シテオロカンノ破片ノ余リニ多イ事ハ、或ハ是等ノ木モ水モナイアケツニ雨水ヲ蓄ヘル必要カラ、斯カル鍋ノ如キ口広ノ器ヲ、バカイトシテ盛ニ使用シタモノデハアルマイカラ思ハセルモノデアル。

〔欄外に記す。横書き〕  
[ウバイ・ル・ウリマンノ裏カラ山越シニロイシガント云フ廢村ガアル、(現在、一軒家アリ) 昔ハ相当大キナモノデ、ロイシガン部落ノ中ノガロコ<sup>○</sup>ルト云フ処ノ者ガハジメテペリリョウニ行ツタト云フ、ペリリョウノガロコ<sup>○</sup>ルガ其処デアル (ウリマン、ルバク、エラガヤン伝)]

#### 四日

晴、夜雨。

朝、子供達、プロットコノペイパー・ナイフ。

午後、子供達、平彫続キ。

夕方、<sup>武</sup>□□竹野氏ノ処デビール、夕飯、後、野元氏ト三人、ボートニテカ<sup>△</sup>ビングルノ先ニ釣りニ行ク。ツレズ、帰りテ棧橋ニテ釣ル。二匹ツレタラ雨ニナツタノデ帰り、

竹野氏ノ処ニテサシミニテビール。

#### 五日

晴，夜雨アリ。

朝，子供達，続キ。

午後，子供達，平彫出来，灰落ニ移ルモノアリ。

晩，子供達が多勢来タノデ，デレボン，シュワール，シヅカト釣ニ行ク。

#### 六日

晴。夕方，驟雨，夜，雨烈シ。

朝，子供達，続キ。

午後，子供達，続キ。

#### 七日

晴。夜，雨。

朝，子供達，ア・バイ人形ニ移ルモノ三四。

午後，野元氏ノ処ニ行キ，ア・バイノ絵ヲウツス。

野元氏ノ処ニテ夕食，バス。

昼，トカイガコデツ<sup>55)</sup>ヲツレテクル。次ノ次ノ土曜日ニアコールニ行ク約束ヲスル。

#### 八日

曇，晴，夜雨。

朝，子供達，アバイ人形。

マスキューガトレタノデ，竹野氏，野元氏ト皆デ買ヒ，杉浦君ニ料ツテ貰フ。マスキューハ丁度七尺程モアッタノデ，五人ニ分ケテ大馬尻ニーパイツツ肉ガアッタ。

〔欄外に記す〕  
[Masekyū]

明日デ，ルバク連中三人ガ交代スルコトニナッタノデ，晩ニ三人ヲ呼ンダガ，アマザライツ<sup>〇</sup>ルダケシカ来ナイ。

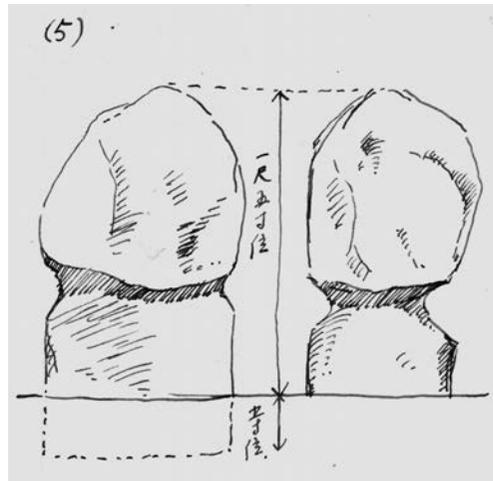
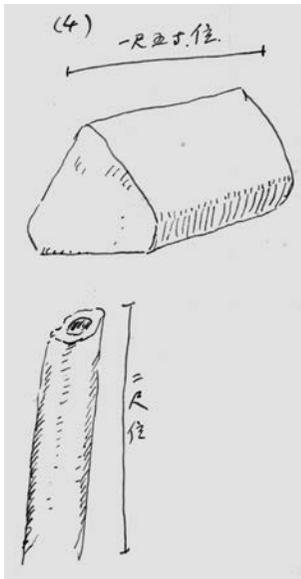
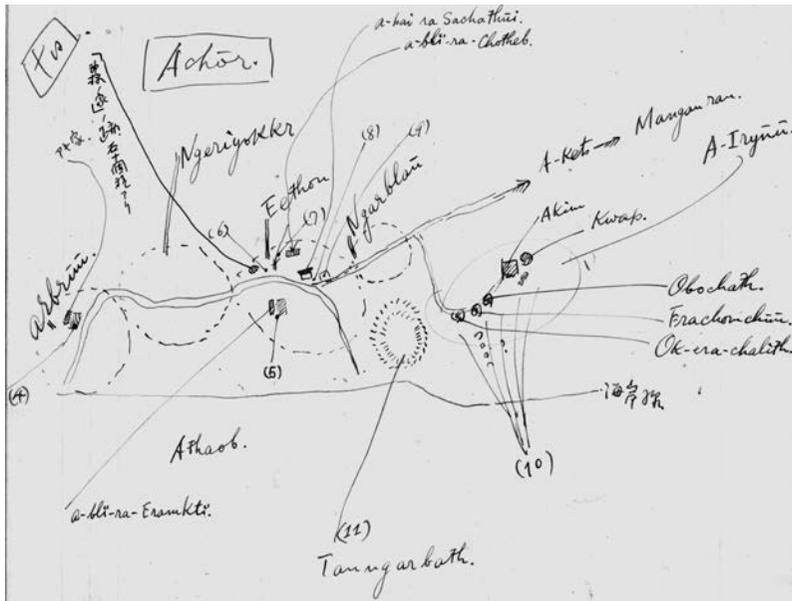
晩，野元氏ノ処デマスキューノスキ焼き会。大鷲君ガ出テ来タノデー緒ニ会食，ヨシテル，シヅカ，宿。

#### 九日

曇雨不定。

朝，子供達，続キ。





其ノ他。

一尺五寸位ノ不定形ナ石塊デアリ、(7)ハ小サイアシ<sup>△</sup>ンノ所ニアリ、周リヲカキ取ラレテ、カキ取ラレテ、長径八寸程ノ卵形ニナツテ居ル。(6)ハ Becheshi a bath (美シイ石)ト呼バレ、(7)ハ thbseh ト呼バレルガ、共ニオボカツ<sup>△</sup>神ガ生シダトセラレ、アウドウドノ元ト云ハレル。

兎モ角、非常ニ固イ石デ、カイバククルノ背デタイテ見ルト、金ノ方ガキヅニナルダケデ、石ノ方ハ傷モツカナイシ、ガラスニスツテ見ルト、ガラスニシッカリト筋ガツ

イテ了フ。ア・ウドウドノ赤イノ、黄ナノハ此ノ種ノ石ラシイ。現在、パラオ中ニ此ノ赤石ガ三個アルガ、其ノニツガコレラデ、今一ツハ、ペリリユーノカ<sup>(鏡力)</sup>ルヴロロコ (Ngardrorocho) ニアツテ、Rōroabañ ト呼バレル。ソレカラ全ジ様ナ確イ石デ、全ジク神石トサレルモノデ黄色ノモノガ、旧カ<sup>△</sup>スパンノア・イキシス (A-Ikisis) ト云フ処ノ、Orecheth 神祠跡ニアルソウデ、是レハ、ア・カスク (A-Chasch) ト呼バレル。

(8)ア・バイノカンドックルノ隅ニ二尺程ノ細キ石ニ人面アリ。

(9)ア・バイノ傍ノカンドックルノ中央ニ四角ノ石アリ。

Chinngar ra Erachomchū.

(10)ハ小サナ丘ニナツテ居ルガ、ア・イリユー (A-Iryū) ト呼バレ、此処ニ大キナ自然石ガ幾ツカアツテ、図ノ如ク一々ニ名称ガアル。

此処ガパラオノ始マリトサレル。ココニオボカス<sup>△</sup>神ガ居テ、石ヲ並ベテ、全パラオノ縮図ヲ作り、一々ノ石ヲ一々ノ処ニ置イテ土台トシ、後出、クワップ神ノ身ガ土トナツテ、全パラオヲ造ツタ事ニナツテ居ル。

(11)ハタンカ<sup>△</sup>ル・ハツ<sup>△</sup>ト呼バレル、コンモリ茂ツタ山デアアルガ、此処ニオクエラ・カリツ<sup>△</sup>ガ居タト云ハレル。

〔欄外に記す〕

[是等ハ、コーテ<sup>△</sup>ップノ伝承デアアル。コーテ<sup>△</sup>ップハ未ダ四十才ニナラナイ壮年デアアルガ、Eethon ノ七人ノルバクノ随一ノ家柄デ、コーテ<sup>△</sup>ップノ兄ノ父ハ-----]

婦リニ、アカラップノ向フノアウラン (Aūran) ト云ツタ廢村ニヨツテ見ル。今一軒家アリ、家ノ名ハケチ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>イ (Cheñhiñhai)、ルバクノ名ハアダルバイ (Adalbai)。

昔ハ此処モ相当ノ村ダツタモノデ、□ Arabesan ト呼バレルルバクノアバイモアツタ。村長家ハ Ōbak-arñn。ト云フモノダツタ。

アダラバイカラアキムノカイバックルヲニツ貰ツテクル。✓

十一日

晴、

朝、子供達、随意製作。

午後、子供達、アドコ板平彫。

夜、月ヨシ。

〔欄外に記す〕〔宗助〕  
[受信 菅原]

十二日

晴、夜、驟雨。

朝、子供達、続キ。

午後、子供達、続キ。

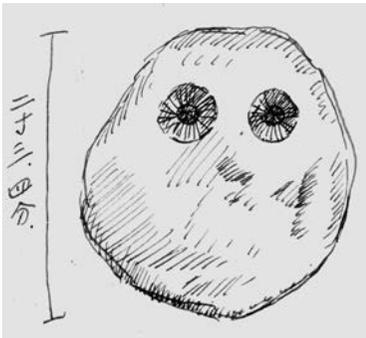
晩、竹野氏ノ処ニテ夕飯、風呂。

[欄外に記す]

[----- (コンナ変ナ云ヒ方ハパラオデハ珍ラシクナイ) 以前ニアイバヴール家等ニ神様ノ講釈ニ行ツタ事ナドモアツテ。現ニコーテ△ップハ、神様ノヤカマシイアコールニ於テモ、コロノ第一トサレテ居ルノデアル。

(話シガ少シマトマリ過ギテ居ルキラヒハアルガ、現在ニ於テハ止ムヲ得マイ。後出、神様ノ轉身変名ニツイテハ、多少附会ノ様ニモ思ハレルガ、兎モ角、現在神話ノ伝承者トシテハ一人者デアロウ)]

Kasūūch



是レハア・イムツ<sup>〇</sup>ールノ家デ見タノダガ、図ノ様ナ幾分平タイ普通ノ丸石ニツツノ穴ガウガタレテ居ル。穴ハ  形ノモノデアルガ、コンナモノガ何ノ為ニ作ラレタモノカハ、全ク解ラナイ。恐ラク是レハ未完成ノモノデ、是等ノ穴ハ結局貫通サレル筈ダツタモノダロウ。カスークダナドト云ハレルガ、此処パラオデハ、コンナグロテス<sup>ク</sup>ナモノヲヂキニカスークダ、ナドト云フノデ勿論、少シモ論拠ハナイ。(カスーク

ハ、内地ノゴロス<sup>ケ</sup>鳥デアル)、兎モ角此ノ石ハ最近、コーテ△ップノ新家ヲ造ルニ際シテ、崖ヲ三尺程切り下ゲタ時ニ地中、三尺程ノ処カラ出タノダソ<sup>ダ</sup>カラ、現在ノパラオ人ノモノカ何ウカサヘ疑ハレナケレバナラナイノダ。パラオナ<sup>ママ</sup>ンテ云フ処ガ、其ナニ古イ歴史ヲ持ツテ居ナイニシテモ、而シテ、涯縁デアルトハ云へ、三尺モノ地下カラ出ルノデハ、相当ノ年月ヲ経タモノト推測シテイダロウ。外ニコンナ考古学的ナ遺物ハ殆ド他ニ知ラナイノデ、何トモ比較ノ仕方モナイ。

(カスークハ此処デハ一説ニハ、カスークガ鳴イテ「夜」ガ明ケタト云ハレルモノデアル)。

[Obochañ, 石,]

●十月二十七日ノ処ニ書イタ<sup>石</sup>□オボカス<sup>△</sup>ト呼バレル石ハ、オボカス<sup>△</sup>(オボカス<sup>△</sup>ハパラオノ最初ノ唯一ノ女神デアル)ガ、七人ノルバクヲ定メテ、此ノ石ニナツテ身ヲカクシタモノダト云ハレルノデアル。

此ノ Ngeriyokkr ニ於ケル七人ノルバクト云フハ、

1 Chaidrchets-A-Imñhūr.

- 2 Chaidrchets-a-shirs.  
 3 “ -Orabrū.  
 4 “ -A-Idis.  
 5 “ -Erairap.  
 6 “ -Kekelei-Orabrū  
 7 “ -Erabsūng.

ダト云フガ、バラオニ於テハ、何ノ村モ七人ヲ以テルバクノ数トスルト云フ。Eeithon ニシテモ、Arbrūū ニシテモ、Urcunan ニシテモ、皆ソーダソーナガ、結局皆此ノオボカス<sup>△</sup>ガ其地々ニ現ハレテハ、定メテ行ツタモノダト云フ。(石ニナツテ身ヲ隠シテハ、又次ノ村ニ行ツタモノトサレル。勿論名前ハ、処ニヨツテ色々ニ変ヘタト云ハレルガ)。

神話ニツイテハ、今少シマトマツテカラト思ツテ居タガ、イツニナルカワカラナイノデ、□断片的ナ儘書イテ了フ事ニスル。

〔欄外に記す〕  
 [神話, Obochañh [15.52] [N1.1] ]

天地ノ始メ<sup>57)</sup> □ニ、オボカツ<sup>△</sup> (Obochañh) ト云フ女神ガアツタ。□オノヅカラナル神デアル。

オボカツ<sup>△</sup>カラ男神オクェラ・カリツ<sup>△</sup> (□□ Och-era Calith Chalith) ト、男神エラコムクー (Erachomchūū) ト、女神クワップ (Kwap) トガ生レル。

女神、オ□ボカツ<sup>△</sup>ハ、岩穴 (イイ) ヲ作り、火ヲ焚イテ海ヲ造リ、水ヲ作り、人ヲ造ツタ。

ソレカラ又、転身シテラ□ウミカイ (Latmichai) トナツテ、人及ビ総ベテノ生物ヲ造□□ツタ。

女神オボカツ<sup>△</sup>ハベリリユーノカ<sup>△</sup>リヤップ (Ngaliyap) ニ行ツテ、鳩ト鍋トヲ作ツタガ、漸次カヤンガルマデ行ツテ、最後ニコンレイニ帰り、カ<sup>△</sup>テ<sup>△</sup>ッヘ (Ngafheche) ニ於テ石ニナツタ。(現ニ石アリ)

オクェラ・カリス<sup>△</sup>ハア・イミリキノロイ□シブイル (Roisibūir) ニ行キ——其時ノ名ヲイヤカツ<sup>△</sup>ラケ<sup>○</sup>ル (Iyachañhranger) ト云フ——ブラキョスニテ日ト月トヲ作り、椰子ノ皮ニ火ヲツケテ投ゲタノデ、「夜」ガ明ケテ日月ガ始ツタ。現ニイミリキノ前ノ海中ニバテ<sup>△</sup>スマラ (Bathesmala) ト云フ石ニナツテ居ル。

〔欄外に記す〕  
 [オクェラ・カリツ<sup>△</sup>ハ村ヲ定メ、ルバクヲ定メ、戦争ヲ始メ、ア・バイト家トヲ造リ、□□カンドツクルヲ造リ、ソシテ舟トア・キムノカイバックルト、更ニ其他ノモノヲモ造ツタ。]

オクェラ・カリツ<sup>△</sup>ハ、兄弟ノエラコムクート共ニ「戦争」ヲ始メタ。パラオニ於ケル各処ノ戦ハ、此ノ兄弟ガ両方ニツイテ戦ハセタノdeal。一方ニオクェラ・カリス<sup>△</sup>ガツケバ、他方ニハエラコムクーガツイテ戦ッタノdeal。而シテハ、戦死シテハ石ニナリ、再ビ、三度、他処ニ行ッテハ、又戦争ヲ□サセ□□二度、三□度、戦□争シテハ石ニナッタ。

エラコムクーニ就イテハ、余リ話サレナイ。総ベテオクェラ・カリツ<sup>△</sup>ノ相手デアリ、<sup>レ</sup>アシスタント□dealバカリdeal。

オクェラ・カリツ<sup>△</sup>ハ、A-Ingeshir — 中罵ノアタオノ処 — ニモ石ガアリ、アコールノUrocholニモ石ガアリ、コンレイノMteocholocholニモ石ガアル。

クワップハ一切ノ地ノ神deal。

Irwōchor トナッテ現ハレ、アカ<sup>△</sup>ウルヨリ……… コンレイニ行ッテ石ニナル。

正シク云ヘバ、石ニ変ルノdeal。(Omüntla a bañh)。

「石ニナル」ハ mō bañh デ、コレダトパラオデハ寝ル事ヲ意味スルノdeal。✓

### 十三日

晴、夜驟雨。

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、バセ<sup>△</sup>レルトニテ、オレス・ラ・バビエル。

野元氏ノ処デバス。

〔欄外に記す〕

[発信 高松 菅原 金井 支庁長]

クワップハ、ア・イリユーカラアンカ<sup>△</sup>ウルニ行ッタガ、小サナ女ノ子ニナッテ行ッタノデ、ゴッウロコウ (Ngatttrochoū) ト云フ家ニ、子供□分ニナッテ養ハレタ。

ケレドモ暫クノ間ニ、女ノ子ハドン〜大キクナッテ、家ニサヘ入ル事が出来ナクナッテ外ニ出サレタガ、益々大キクナッテ天ニモ届クバカリニナッタ。

ゴッウロコウ 〔欄外に記す〕 [Ngatrokoū] ノ家ノモノハ愈々驚キ、化物ダト思ッテ其ノ脚ニ火ヲツケテ焼き殺シタ。□□□<sup>女子</sup>大女ハバツタリト仆レテ、オボカス<sup>△</sup>ガ並ベタ基石ノ上ニ被ヒカブサリ (前出、(10)ノ記参照)、土トナッテ全パラオノ罵ガ出来タノdeal。

各地ニ是等ノ基石ノ頭ハ出テ居ルガ、下ハドレ程大キク拵ガッテ居ルカワカラナイト云ハレル。

其ノ時、アンカ<sup>△</sup>ウルトベリリユー<sup>ト</sup>ハ一ツデアッタガ、クワップガ仆レル時ニ、足ヲ蹴ラレテニツニ分レタ□□□□□□ノdeal。

〔欄外に記す〕

[一九三〇. 二. 六. パラオ七神ノ終参照,]

コロール罵ハオクェラ・カリツ<sup>△</sup>ガ造ッタト云ハレル。而シテ土ヲ精撰シ精撰シテヨ



針ヲ取ラレテ了ツタ。

ソコデ帰ッテ来テ母ニ相談スルト、母ハ灰 (a-chap) トカラマルトヲ呉レテ、「是ヲ海ニ撒イテ自分デ入ッテ見ナサイ」ト教ヘテクレタ。

エラコムクーハ、母ニ云ハレタ通りニ灰トカラマルトヲ海ニ投ゲテ自分デ海ノ中ニ飛ビコムト、海中ニハーツノ村ガアッタ。ソシテ丁度ソコヘ二人ノ娘ガ水ヲクミニ来タ。

エラコムクーハ不思議ニ思ッテ、何ウスルノカト娘ニ聞イテ見タ。娘ノ話ハコウデア  
ル。

此ノ村ハスワス (Sūwas) ト云フ村ダガ、シ<sup>△</sup>ーリウクー (īhritchū) ト云フ婆サンガ喉ガ腫レテ困ッテ居ルノデ、ソレヲ直ス為ニ水ヲクミニ来タノダト云フ。ソコデ事ノ次第ヲ知ッテエラコムクーハ、直グニ此ノオ婆サンガ自分ノ月ノ針ヲ喉ニカケテ居ルノダト云フ事ガワカッタ。

デ魚供ニ abōch ダノ A-chūūthch ダノヲヤッテ喜バセタ。魚達ハ氣持ガヨクナッテ、皆デオドリ出シタ。婆サンハソレヲ見ルトオカシクテ吹き出シテ咲ツタガ、ソノ拍子ニ喉ノ釣針ガ飛ビ出タノデ、エラコムクーハ直グニソレヲ取り戻シテ帰ッテ来タ。

今度ハ又、アミーヤカノ焚イタノヲ針ニツケテ釣ヲ垂レタ処ガ、チ<sup>△</sup>ーリウクー婆サンハ、ソノアミーヤカノ焚イタノダケヲ取ッテ、針ヲ捨テタママ行ッテ了ツタ。処ガンノ針ガ道ノ石ニカカッタノデ、エラコムクーガ引上ゲルト、此ノスワスノ村ガカカッテ上ッテ来タノデア  
ル。——カカッテ来ルノヲ見ルト、村ノモノ達ハ皆デ此ノ罵<sup>ヲ取り</sup>□□□ヲ我先ニ取り合ッテ、了ヒ迄ヒキ上ゲナカッタノデ、今ノ様ニアカラップノ半分ハ傾イテ居ルノダト云ハレル。

婆サンノ居タ家ト云フノハ、テレケディップ (Terekedip) ト云フ名ノ家デア  
ル。其他ハア・イソ<sup>△</sup>ック (A-Ithokk), アラワカル (arawachal), テラカチ<sup>△</sup>ー (Terakāthi), ア・イブリユン (A-Ibriyūng), アレモクブーウ (Aremochbūūt) ノ数家デア  
ル。

〔欄外に記す〕  
[ドシヨケル。Doshokel]

コロールノ旧電信所ヲ中心トシタ所ニ昔、ドシヨケルト云フ村ガアッテ、アラバケツカラマダライ<sup>(帯)</sup>一体ヲ合ハセテ居タ、元ノ、コロールト云フハ今ノ湯本ノ所カラ旧尼寺ノ所迄デ、決シテ最近ノ様ナ勢力ガアッタノデハナカッタ。コロールハ何ウシテモ是レニ敵スル事ガ出来ナカッタ。

其処デガロンコル ガサクサオノ者ト提携シテ、ドシヨケルヲ挟ミウチニシタノデア  
ル。

ガロンコルノ大将ハオクエラ・カリツ<sup>△</sup>, ドシヨケルノローバックハエラコムクーデア  
ル。

ドシヨケルニハ二ツノ神石ガアッタガ、其ノ神様が揚言スルニハ、自分が居ル間ハ戦ニハ敗ケナイカラ、ヤル所マデヤレト云フノデア  
ル。エラコムクーハ是レヲ確信シテ、

何処迄モ降ヲ乞ハナカッタノデ、ドショケルハ一人残ラズ死ニ絶エ□テ了ッタノデアル。

而テドショケルガ全然亡ビタノデ、コロールカラ賞サレテガロンコル、ガサクサオノモノ等ガアラバケツニ入ッタノデアッタ。

ドショケルガ強大デアッタ事ハ事実ダロウガ、アラバケツニ岩山ノ連中ガ入ッタノハ、サシテ古イ事デハナイラシイカラ、此ノ話ハ少シク信ジ難イ。寧ロ、アイバヴルノ話ノアラカベサン討伐時代ト見ルベキガ穩当デアロウ。

(五月三日ノ記 参照)

●因ニ、エラコムクーハヤハリ石ニナッタノデ、前ノニツノ神石共、三固<sup>(脚)</sup>ノ石ガ現ニエラマランノ家ノウロガンノ中ニアルト云フ事デアル。↙

十四日

晴。

朝、子供達、続キ、

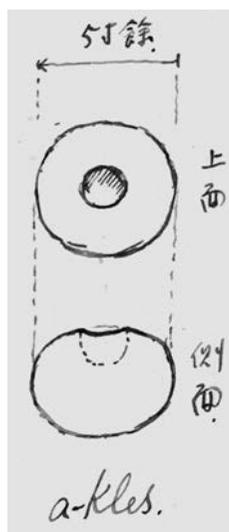
午後、アバイノ絵、一向ハカドラズ、

十五日

朝雨ガ降ッテ居タガヂキ止ミ、終日曇。

朝、子供達、続キ、

晩、アバイノ絵、



↘十日記、(7)ノ朱石ノ側ニアリ。

(6)ノ朱石ノ側ニハ、ベボロックノニツニ割レタノヤ、径八九寸程ノヤップノバラシガニツ三ツアル。

コテ△アップノ家ノ前ニ、神祠跡ガアッテ、大キナ石ガ十程モ残ッテ居ル。昔ヤップノモノガバラシヲ切り出シニキテ、婦リノ無事ヲ□<sup>祠</sup>祈ッテ之等ノ小サナバラシヲ、此ノ祠ニ捧ゲテ行ッタトノ由、朱石ハ始メア・イリユーニアッタノヲ此ノ祠ニ移シタガ、後一ツハンリール Ngril ニ、一ツハガツウメル a-Ngatmel ニ盗シテ行カレタノガ知レテ取り返シテ来タ由。

<sup>(脚外に記す)</sup>  
[赤石]

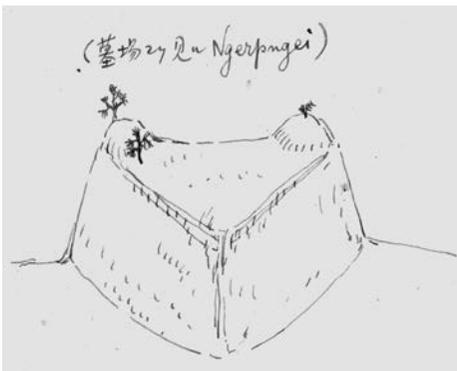
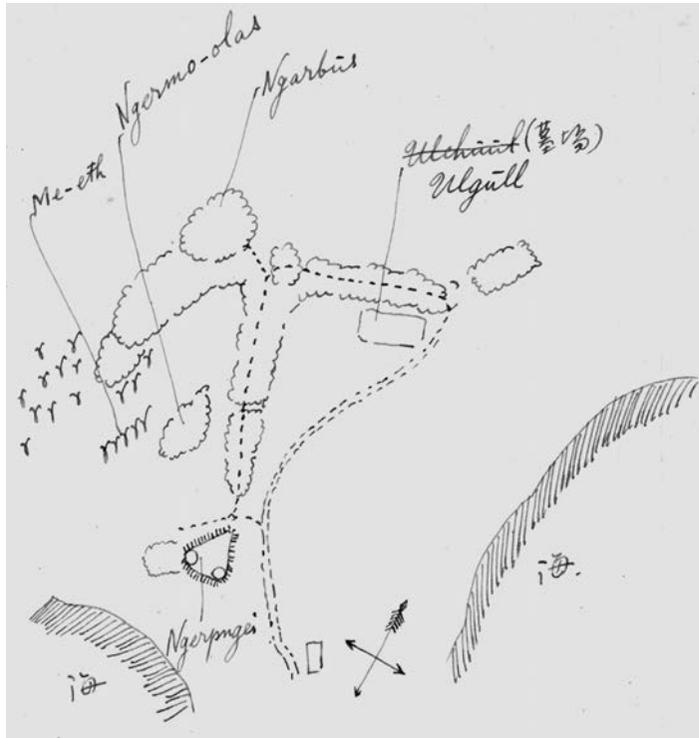
十六日

晴,

朝, 子供達, 十時半迄ヤッテ, カヴブソク△ルヲ切りニ行ク。

杉野君来。午後三時頃, 潮ノ来ルヲ待ッテ, 杉野君ノサンバンデカ△クラオニ行ク<sup>59)</sup>。

夕食迄ニ一寸間ガアッタノデ皆デ, ボウメルト, ア・イヤカル, セ△ンルンムルヲツレテ, 裏ノアケツニ行ッテミル。



(墓場ヨリ見ル Ngerpngei)

先ツ, ケ△ルプケ△イ<sup>60)</sup>ニ登ッタノダガ, 是レガ実ニ図ノ様ナ正三角ノ大土壇デ, 上ノ三角ノ一辺ハ八間ハアルダロウ, 三方ハ図ノ様ナ急傾斜デ, 三方ノ何処ニモ一ツトシテ登リ道ガナイ。高サハ三間ノ余モアロウ。是ガソモ何デアルカハ全ク解ラナイガ, 人工的ナモノデアル事ダケハ確カデアル。左手ノゴブノ辺ニハ, 土器ノ破辺ガ沢山アッタ。

杉野君ノ処ニ帰ツタラ雨。三人デ焼酎ヲノミ、夕飯。

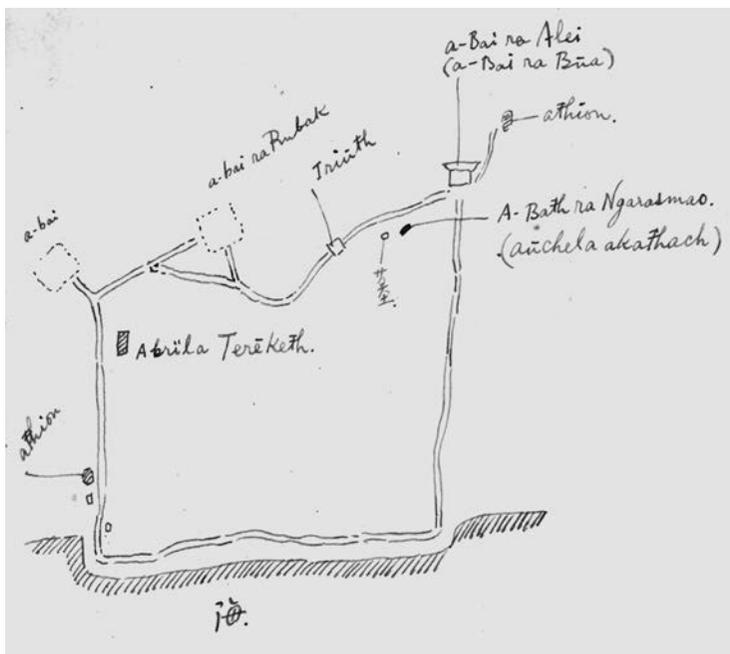
雨止ミ、十六夜ノ月、美シ。

十七日 日曜日

朝、驟雨。午後、曇、

五時頃ニハ起キテ、明ルクナルノヲ待ツテ居ル。七時頃、朝食。ヂキニ杉浦君ト二人  
デ出。海岸ノ方ヲ廻ッテ向側ノ村ニ出、村長ノ処ニ行キ、シバラク上リコンデ話ヲ聞キ、  
村長ニ案内シテ貰ッテ「石」ヲ見ニ行キ、アバイニ行ッテ話ヲ聞キ、昼前帰ル。昼食後、  
皆デ又ケ△ルプケ△イニ行キ、カ△ラカバツタンニ帰ル子供達ト一緒ニ陸道ヲ取ッテ帰ッ  
テクル。

カ△ラスマオノ石。昔カ△ラスマオニアウケラ・アカサ△ックト云フ、非常ニ金持ノル  
バクガ居タガ、カ△ラスマオノ者等ガ妬ンデ殺サウトシタノデ、此処ニ逃ゲテ来テ棲ッ  
タ。死ス時ニ此ノ石ニア・バツ△・ラ・カ△ラスマオト名ヅケ、若シモ病氣等デ困ルモノ  
ガアツタラ、此ノ上ニ供ヘ物ヲシテ、自分ノ墓ニ祈レト云ッタ……。墓ハ直グ傍ニア  
ル。



ルバクノア・バイノ跡ニ、次ノ様ナ石像ノ一群ガアル。

是等ニツイテハ、村長ガアバイ式ノ絵物語ヲ書イテ説明ヲツケテクレル筈ニナツテ居  
ルガ。

〔欄外に記す〕  
 [16, 114 済]

(1)ハ、一辺六尺モアル、ホボ正三角ノ平タイ石デ、(2)ハ図ノ様ニ尖ツタ、是レモ長サ五尺余ハアル。

是等ハカ<sup>△</sup>クラオノ先祖、アウケル・ケクラオ (aūk-el keklaō) ガヤツプカラアンカ<sup>△</sup>ウルヲ廻ッテ来タ時ノ、(1)ハセイロ、(2)ハマストデアッテ、パラオノ帆ノ初メデアル、ト云フ事ニナツテ居ルガ、後ニ記ス様ナ訳デ女陰石、男根石デハナイカト思ハレル。

(3)ハ長一尺五寸程ノモノダガ、オギワルカラ持ッテ来タト云ハレル。

(4)ハ二尺余モアリ、(5)ハ一尺程、(6)ハ幅一尺七、八寸ノモノデアルガ、共ニカ<sup>△</sup>ラカベッタンカラ持ッテ来タモノダト云ハレル。是等ニツイテノ物語ハ、後ニ細<sup>〔ママ〕</sup>シク説明シテ来ル筈ニナツテ居ル。

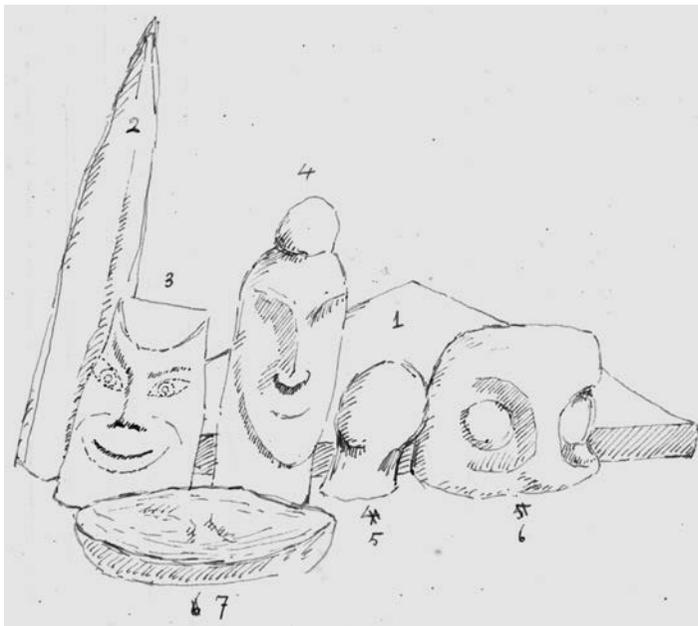
(7)ハ、長径一尺七、八寸程ノ石皿ノ様ナモノデ、厚サハ三寸程モアルガ、上面ハ極メテ浅ク皿形ニ凹ンデ居テ、水ガタマツテ居ル。 平白

.....

ケ<sup>△</sup>ルプケ<sup>△</sup>イニ就イテ村長ノ知ツテ居タ事ハ、

ケ<sup>△</sup>ルプケ<sup>△</sup>イハ、クロウ・ルバクノ持物デアッテ、<sup>ゲルプゲイ</sup>□□□□村長ガ極小サイ時迄アノ上ニ家ガアツタガ、是レハ云ハバ畑ノ家デ、本家ハ別ニ下ノ村ニアツタト云フ。

所ガ此ノカ<sup>△</sup>クラオニ於テハ、丁度コロールニ於ケルア・イバヴールノ様ニ、クロウ・ルバクガ神デアツタノデ、神ヘノ捧物トシテ供ヘラレルモノハ□□□一人ノクロウ・ルバクガ受ケル事ニナツテ居タト云フ。



或ハ斯ナ事カラ、ケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>フ<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>イ<sup>△</sup>ガ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ロウ・ル<sup>△</sup>バクニ直<sup>△</sup>属<sup>△</sup>シ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>アル<sup>△</sup>マイ<sup>△</sup>カ。  
 因<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ロウ・ル<sup>△</sup>バクノ名称<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>他<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>処<sup>△</sup>ト<sup>△</sup>異<sup>△</sup>リ、普通<sup>△</sup>称<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>テ、コ<sup>△</sup>ロ<sup>△</sup>ール<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>於<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>ア・  
 イ<sup>△</sup>バ<sup>△</sup>ヴ<sup>△</sup>ール、マ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>キ<sup>△</sup>ョ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>於<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>アル<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ライ、カ<sup>△</sup>ラ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>ヴ<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>於<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>ア・マ<sup>△</sup>ス<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>如<sup>△</sup>キ、個<sup>△</sup>  
 有<sup>△</sup>称<sup>△</sup>デ、次<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ロウ・□<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>バ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>タル<sup>△</sup>ベ<sup>△</sup>キ<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>ハ、アラ<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>バ<sup>△</sup>ル (arachabar) ト云<sup>△</sup>フ□<sup>△</sup>称<sup>△</sup>  
 号<sup>△</sup>ヲ<sup>△</sup>持<sup>△</sup>ツ。ル<sup>△</sup>バ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>家<sup>△</sup>柄<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>七<sup>△</sup>家<sup>△</sup>デ、ル<sup>△</sup>バ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>順<sup>△</sup>位<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>次<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>如<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>アル。

Kloūrūbak

1. (Terekeēth)
2. Adara bai.
3. Chaliṭhkīthon
4. A-Iraml
5. A-Schoil
6. A-Rūttocheral
7. A-Rūthūi

〔欄外に記す〕

[Kloū-Rūbak Arachabar [16, 121]]

ソレハソウトシテ、村長ハケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>フ<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>イ<sup>△</sup>ニハ□<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>ト<sup>△</sup>大<sup>△</sup>キ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>石<sup>△</sup>ガ<sup>△</sup>一<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ア<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ト<sup>△</sup>云<sup>△</sup>フ。

ソコデ私達ハ、村長ト別レテカラモ一度ケ<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>フ<sup>△</sup>ケ<sup>△</sup>イ<sup>△</sup>ニ行<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>アル<sup>△</sup>ガ、何<sup>△</sup>ウ<sup>△</sup>シ<sup>△</sup>テ<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>無<sup>△</sup>イ。村長ヲツレテ行<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>手<sup>△</sup>落<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>ア<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>ガ、何<sup>△</sup>処<sup>△</sup>ニ<sup>△</sup>ア<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>アル<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>サ<sup>△</sup>ヘ<sup>△</sup>ワ<sup>△</sup>カ<sup>△</sup>ラ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>イ。デ<sup>△</sup>多<sup>△</sup>少<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>考<sup>△</sup>ガ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>イ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>ナ<sup>△</sup>イ<sup>△</sup>ガ、全<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>不<sup>△</sup>知<sup>△</sup>ト<sup>△</sup>シ<sup>△</sup>テ<sup>△</sup>置<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ベ<sup>△</sup>キ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>ア<sup>△</sup>ロ<sup>△</sup>ウ。

只、此ノ三角ニ村長(酋長)家デ小屋ヲ立テタ如キハ最近ノ事デ、其レハ或ル信仰ガ衰ヘテ他ノ信仰ガ盛ニナツテカラノ事デ、始メハ此ノ三角台其物ガ神域デアツタカ、神体(形)デアツタモノデアロウ。

一、□三角ハバラオニ於テハ女陰デアル。旧ルバク アバイノ跡ニアル大三角石ヲ見テモ、此ノ三角ハ全種ノ意味ノモノデナケレバナラ□ナイ。

一、此ノ三角台ノ三方斜面ハ三間モアツテ、ソレガ殆ド四ツン這ヒニナラナケレバ昇レナイ様ナ急勾配デアル上ニ、一ツトシテ登リ道ガナイ。

一、上ニハ小サイ蝟ノ木ガ二本アルダケデ(一ツノ山形ニ椰子ノ芽生ガアルガ、之ハ最近セ<sup>△</sup>ン□<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>ム<sup>△</sup>ル<sup>△</sup>ガ<sup>△</sup>植<sup>△</sup>エ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>モ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>アル)、一面ノ草原デアアルガ、草ノ根ニ一面ニ青イ苔が生エテ居ル。是レハ恐ラク、以前ニハ草モナク綺麗ニ手入サレテ居タモノデハアルマイカ。

一、今一ツハカ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ラ<sup>△</sup>オ<sup>△</sup>ノ<sup>△</sup>祖<sup>△</sup>先<sup>△</sup>ト<sup>△</sup>云<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>レ<sup>△</sup>ル Aūch-el-Keklao<sup>er</sup>ノ<sup>△</sup>名<sup>△</sup>称<sup>△</sup>デ<sup>△</sup>アル。Aūchハ女陰デアル。(併シ、アウケル、ゲクラオハ男神デアリ、アウケル、ケベサタ<sup>△</sup>ル等ノ例モアルカラ、□他ノオケル………ト全ジク、オク<sup>○</sup>ール(本、元、始)ノ転トスル方ガ正シイ)

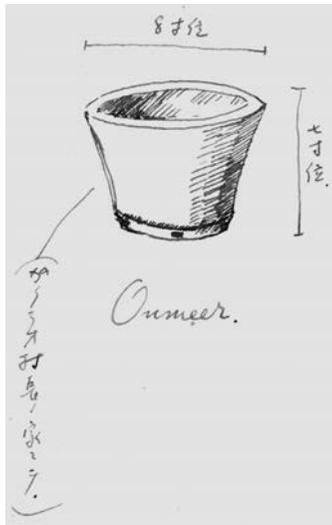
余り整然トシテ居ナイガ、追々コーテ<sup>△</sup>ップカラキイタ各村ノ□神名ヲ茲ニ□書イテ置ク。

- Chonlei — Erairwon.
- Ngabei — Eraiṭhmai.
- Manganrau — Orugīr
- A-Ibchr — Kwoodr.
- A-Ngerpao — Kwoodr.
- ✓ Achool — Erachomchūū.
- ✓ Ngabokd — Okw̄el ra rakk.
- ✓ A-Chalap — Okw̄el ra rakk.
- Garasmao — Sachalpūil. Sachalatpūyūch
- Uliman — ṭhaise□chel□□ ei
- Ngaklao — A□k-el Keklao.
- Baiṭherman — Erchochotian.
- ✓ Ongiwar — Ngīrngor.
- ✓ Malkeok — Oṭhamlei. ch Oṭhalmerech
- Ngarangasan — Oreerak. chiererach
- Ngasūūr — Eramaraṭhan.
- Ṭobak-ra Mchūū.
- Kaishial — Ern-Kaishial.
- Ulbosan — Ochel a chalīth
- Ngarametengl Mdehī Belaū
- Airai — Mīhekī Pelao.
- Ngaspan — “
- Ur-obr — Erai-rebūū. ?
- Ngakip — Okwera-Chalīth. ?
- A-Imirik — Ok-era-Chalīth. ?
- Kamiyangar — “
- Mṭhoron — Erabochai.
- Ngarcheei — Tūnggūrbai.
- Almonongūi — Ok-era rak.
- Ngasaksao — A choodr.
- Ngarielb — Mshim. mongashimm
- Choreol — Ok-era rak.

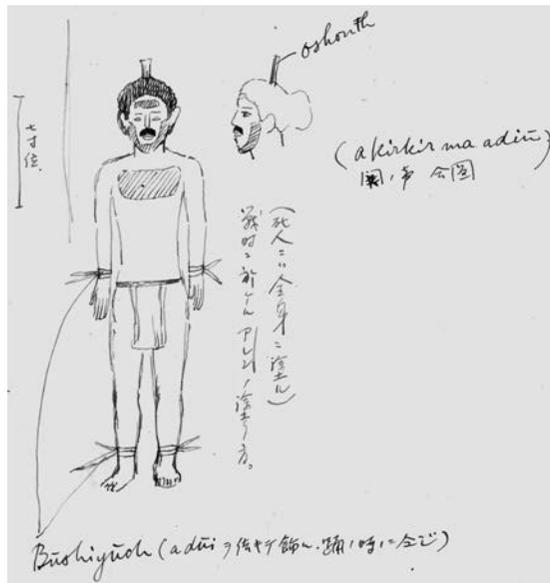
- Arabakets — Ok-era chalīth.
- Arboodr — Bhec Arboodr.
- Arabachetsao — Ok-era chalīth.
- Doshochel — Ok-era chalīth.
- Ngarakabesan — Ok-ara chalsāthar.
- Amiyons — Ok-era rak.
- Ngardroloch — Kwoodr.
- Ngashigas — Amañhar a Chalīth.
- Angaūr — Ngerai thomai.

ア・イバヴルノ六大神トシテ拳ゲタノハ、次ノ如クデアル

- Periliu — A-choodr.
- Airai — Mñheki-Pelao
- Ngaspan — “
- Alchorn — Eraidmai
- Ngarasmao — Sachalapūyūch
- Ngasūūr — Obak-a-ra-Mchūū.



アレンヲ溶ク器



戦時ニ於ケルアレンノ塗り方。(死人ニハ全身ニ塗ル)

(a kirkir ma adiu)

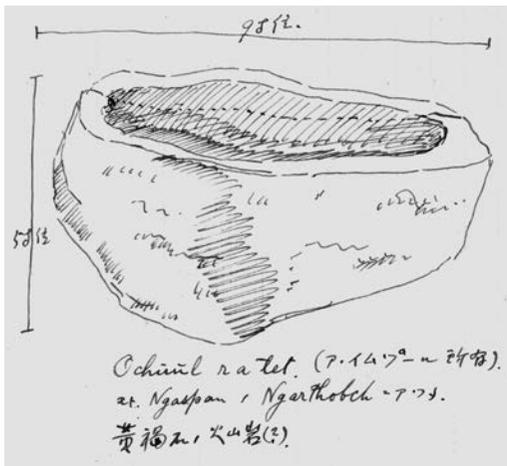
関ノ声 合図



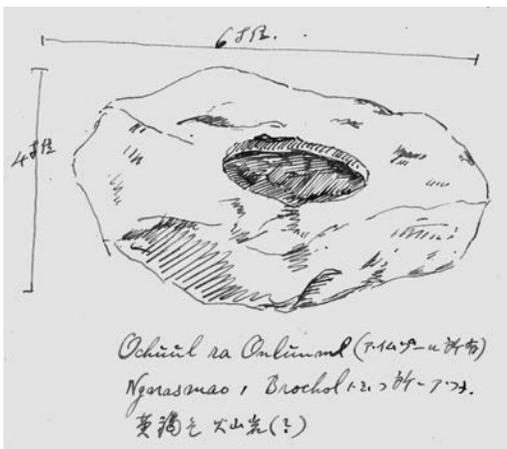


カ<sup>△</sup>ボクヴノアタオニ在リ。  
子胎ミノ身変リ石、

Bath r Omüttkei



Ochüül ra tet. (ア・イムツ<sup>△</sup>  
ール所有<sup>61</sup>), モト, Ngaspan ノ  
Ngarthobch ニアッタ, 黄褐色石ノ  
火山岩 (?) 62. A



Ochüül ra Onlünml (ア・イム  
ツ<sup>△</sup>ール所有)  
Ngarasmao ノ Brochol ト云フ  
所ニアッタ,  
黄褐色火山岩 (?)

二十五日

晴,

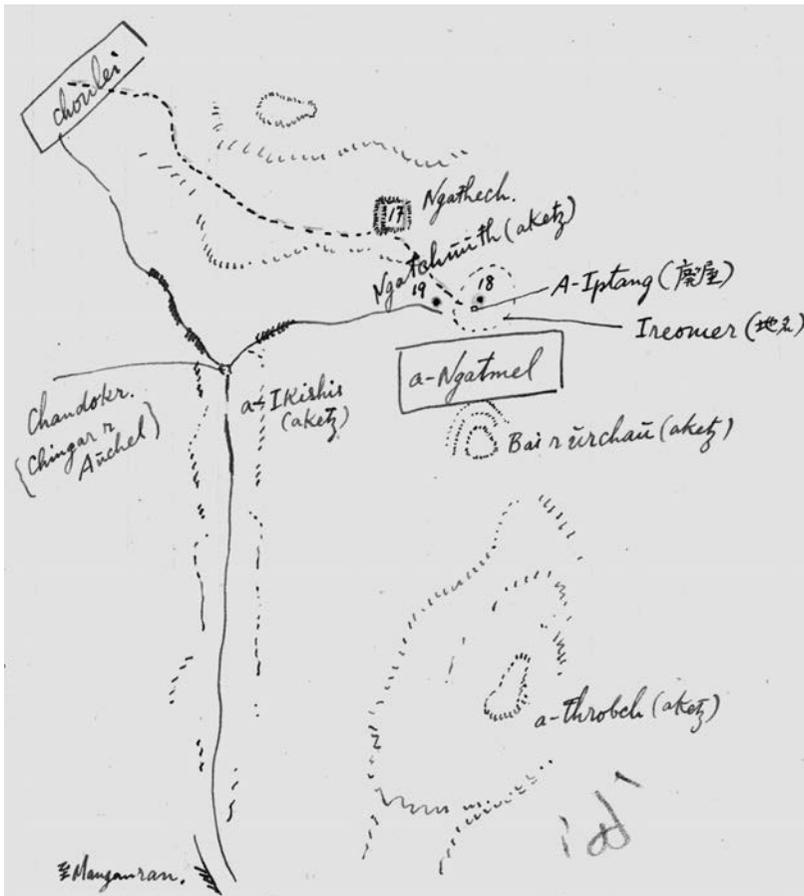
朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 続キ,

夜, カ<sup>△</sup>クラオノ村長ガ□頼ンデ置イタ紙ニ画ヲカイテ来タノデ, 説明ヲ聞ク。

↓

二十三日。四時半起床。五時ニハ一行出発, 六時過ぎコンレイニ着<sup>62)</sup>, ア・バイニテ朝食, 後一行ニ村中ノルバクヲ添ヘテ, 「石」巡礼, アバイニ帰り中食, 一時過ぎ,コンレイヲ出, カ<sup>△</sup>ウメルニ廻リ, アイキシスニ出, バツ<sup>△</sup>・ル・ウルカウ (Baṭh r ūrchāu) ニ行キ, 更ニカ<sup>△</sup>ベイニ廻リ, 夕方マ<sup>△</sup>カンランニ帰ッテ来ル。

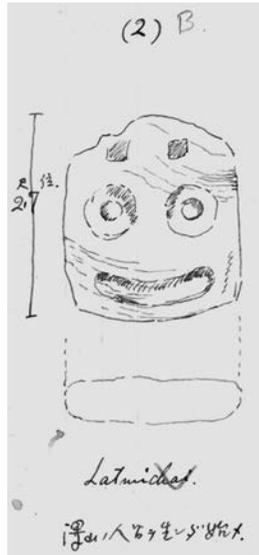




(2)B

Latmichai

沢山ノ人間ヲ生ンダ始メ

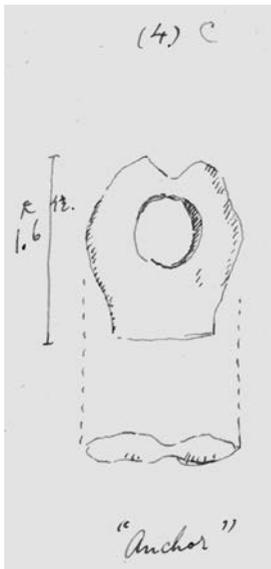


(3)ハバランノ様ナ自然石デアルガ、タマカイダト云ハレル。

自分ノ影ガ此ノ石ニサスト死スト信ゼラレ、朝ハ東側ヲ通ルモノナク、夕方ハ西側ヲ通ラナカッタ。

(4)C

“Anchor”

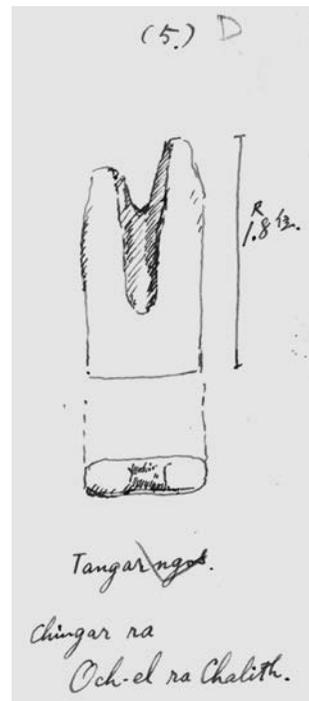


(5)D

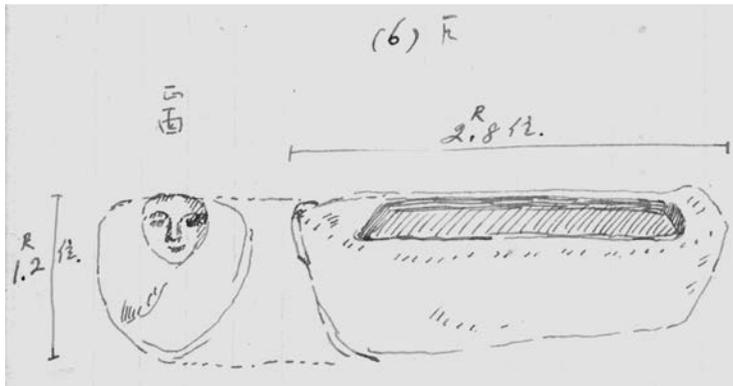
Tangarngos

Chingar ra

Och-el ra Chalith.



(6)E



milcholch 時代ニハ a-Yüngr ニアッタ,  
mlommesan 時代ニハカ<sup>△</sup>ラルドノ Ngarwao ニアッタ。  
後, 近時戦争ノ結果, 此処ニ持ッテ来タ,

a-Mlai ra Chalbūuehb.

abachal ト云フ金ガ全パラオニ七十個アル。

其ノ金ガ此ノ中ニ入ッテ居タト云ハレル。

(十二月四日, アプティラティノ話, 参照)

76,

(7)

a-Mark.

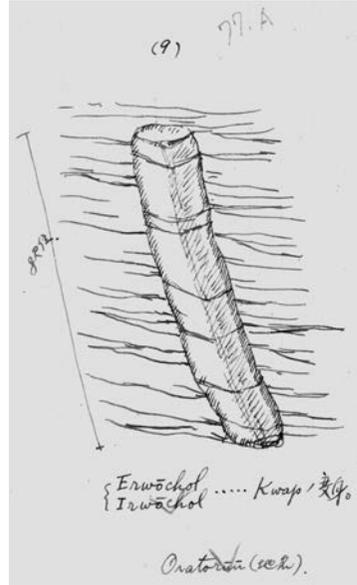


(8) 76, B



Bothongel ra Chosocholüib

(9) 77, A



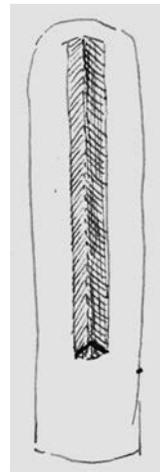
{ Erwöchol ..... kwap ノ変身。  
Irwöchol

Oratorüi (地名),

是レハ自然石デ、水成岩ノ中ニ図ノ様ニ挿マッタ石デアル。エルラーコルガ最後ニ、此処デ此ノ石ニナツテ天ニ昇ッタト云ハレル。昔ハ死人ヲバル (A-Bal) ニ包ンデ此ノ石ノ様ニシ、ロップデカラゲタモノデアル。此ノ石ハ其ノ□習俗ノ始メト云ハレル。ア・ユンク△ノ溪流ハ、エルラーコルガ作ッタト云ハレル。

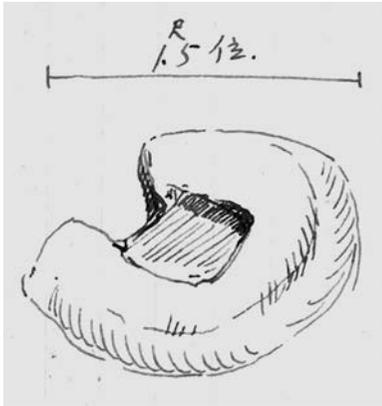
(10)ハ長二尺五寸位ヒノ径 $\square\square\square$ <sup>八</sup><sub>七</sub><sup>九</sup>七、八寸位ヒノ棒石ノ柱列デアル。全部デ二十本アッタト云ハレルガ、現在立ッテ居ルモノ及ビ明カニ立ッテ居タノガ倒レタト思ハレルモノガ、十六、□本デアル。列柱ノアル所ハ、一面ニカンドツクルノ様ナ敷石ガ施サレテ居ル。伝承ニヨレバ、クワップガ死ンダ時、クワップノ chobril ガ集ッテ馳走ヲシタ時ノクカウデアリ、Orangotokr ノ始メデアルト云ハレルガ、□是等ノ石ノ殆ト全部ニ、図ノ様ニ一筋縦ニ溝ガ入ッテ居ルノデ、石カラ石ヘ何カ棒ノ様ナモノガ渡サレテ居タモノダロウト思ハレルガ、一度倒レタモノヲ、無造作ニ立テ直シタリシタ為ダロウ。溝ノ向モ不定ダシ、石ノ位置モ乱レテ居ルラシク、原形ヲ想像スル事ガ困難デアル。此処ヲア・イトイト云フ。

[欄外に記す]  
[77・B 済]



(11)ハシーキヤント云ハレル所デ、イルラーコルノ家ノ跡ダト云ハレルガ、幾ツカ石ガアルダケデ、立派ナカンドックルニモナツテ居ラズ、別段ニ変ツタ事モナイ。

(12) 78, A



Oremael ダト云ハレル。

此ノ神ハアルモノグイカラ来タノデ、アボウクノ石ハ、今モアルモノグイニ在ルト云ハレルガ、明ラカニ、ア・バイル アカラップニニツモアル臍石ノカケタモノデアアル。

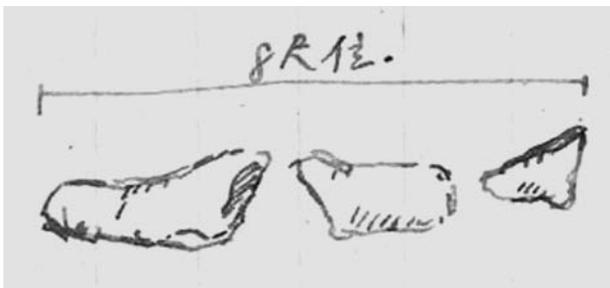
(12) 78B



Chochaero デアツテ、Bo ī honger r Och-el r a-Chalith デアアル。

78・C

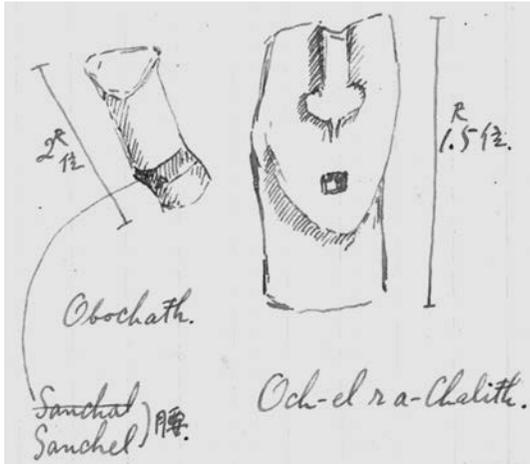
(13)



Masekyū デ、アミーヤカノ masekyū ノ分ケ方ノ始メダト云ハレル。

(14)ハ、ニツノ自然石デアルガ、立ッテ居ル方ガオボカス<sup>△</sup>デ、四角イ台形ノガ、イル  
ラーコルノ Ngark デアルト云ハレル。矢張り Chingar ノ一族デアル。

(15)



Obocath  
 Sanchal )  
 Sanchel ) 腰

Och-el r a-Chalith.

(16)家ノ前ノオドソングルニ石ガゴロへト一塊リニナッテ居ル。アルコイ (archoi)  
 ト云ハレル戦争神ガ、自殺シタ墓ダト云ハレル。

其ノ中ノーツ、三角ノ石ハ perinith — カヌーノアカカへ — ダト云ハレル。✓

二十六日

晴。

朝、子供達、続キ、

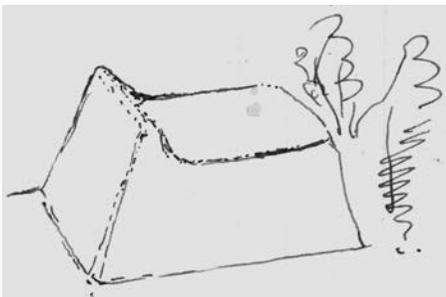
午後、子供達、ソ<sup>△</sup>ウルヲ切りニヤリ、二時過ギヨリ、思ヒ思ヒノモノヲ作ラス。

ア・マツ<sup>△</sup>夫婦来ル。晩、竹野氏来。

(欄外に記す)

[受信 金井氏, 発信 金井氏]

(17)



↓

コンレイカラカ<sup>△</sup>ウメルへ近道ヲヌケ  
 テ来ルト、カ<sup>△</sup>ウメルニ入ル処ニ、左手  
 ニカ<sup>△</sup>テ<sup>△</sup>ック (Ngathech) ト云フアケ  
ツガアルガ、其処ニ図ノ様ナ土台<sup>63)</sup> ガア  
 ル。

(18)

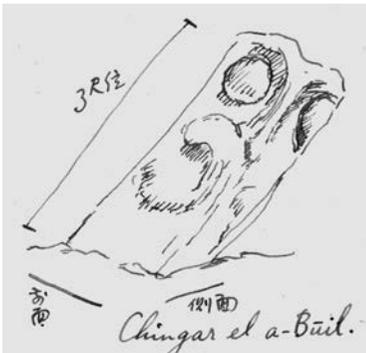


Aptang.

カ<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ッ<sup>△</sup>ヘ (Ngafthech) カラダラへト降りテ来ルト、旧カ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>メルニ入ルガ、此ノ辺ヲイレオメルト云フ。此処ニ只一軒、ア・イブタン (家名) ノ廢屋ガアルガ—私達ハ、此ノ廢屋ノ元ノ家人ニツレラレテ行ッタノダ—其ノスグ前ニ一問程ノ<sup>石</sup>□□□四角イ石ガ立ッテ居テ、其ノ下ノ処ハ塊石デトリマカレテ居ル。

此ノ石ハアブタン (ホース) タトモ云ヒ、Ekil (綱) タトモ云フ。天カラ此ノ寫 (カ<sup>△</sup>ウ<sup>△</sup>メル) ヲ下□ゲタガ、エキルハキレテ散ラバツタト云フ。現ニ此ノ附近ニ此ノ様ナ立石、倒レ石ガ幾ツカアルソウデアル。

(19) 80B



Chingas el a-Büil.

昔、バラオデハ、一年ヲ六月ニ分ケタ。此ノ石ハ其ノ月ノ元ダト云ハレル。是レニ就イテハ後ニコデツプカラ説明ガ来ル筈デアルガ、図ノ様ニ斜カラ見ル時ハ、明カニ例ノ大目玉ノ神像デアル。

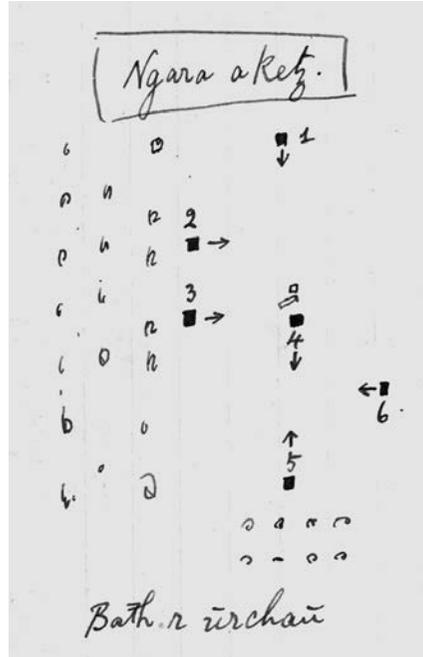
兎毛角、此ノイレオメルヤカ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ウ<sup>△</sup>ク<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ノ近所ニハ、カ<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ッ<sup>△</sup>ヘ<sup>〔未〕</sup>ノ様ナ特種ナ土壇ヤ、バイ・ル・ウルカウノ様ナ立派ナアケツガアル。此是ノ間ニハサマレテ、若シモエキルノ様ナ石ガ所々ニ立ッテ居タトスレバ、而テ此ノ様ナ神像ガアルトスレバ、此ノ辺ハバツ<sup>△</sup>・ル・ウルカウノ様ナ場所デハアルマイカ。モット細カクシラベタカッタガ、先ヲ急イダ為ニ出来ナカッタノハ残念デアル。



a- Ikishis 頂上ヨリ見タル Bai r ürchaü

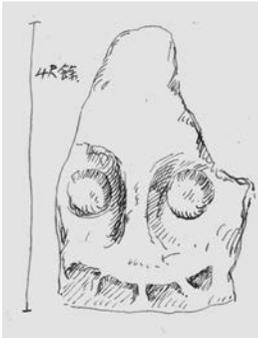
ア・イキシスノ頂上ニカンドツクルガア□□ッテ，中央ニキンガル石ガアルガ，コンレイノ方カラ昇ッテ，カンドツクルノ正面カラ此ノキンカ<sup>△</sup>ルニ向フト，真向フニ此ノバイ・ル・ウルカウガノゾマレルノデアル。是等モ互ノ間ニ，何カノ関係ガアルノデハナイカト思ハレル。

Ngara aKez.



Bath r ürchaü<sup>64)</sup>

(1)



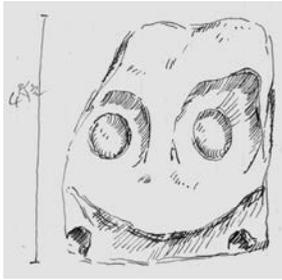
(2)



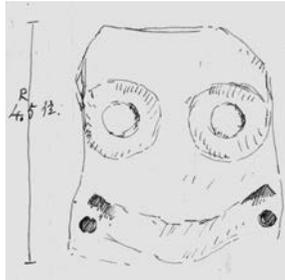
(3)



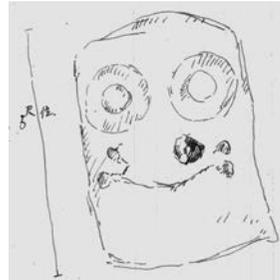
(4)



(5)

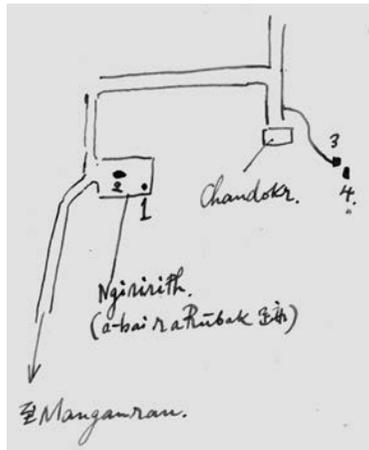


(6)

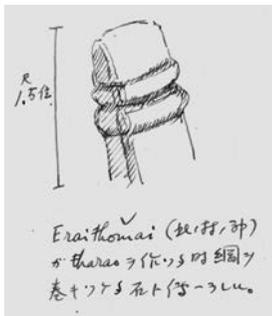


因ニ、バツ<sup>△</sup>・ル・ウルカウノ下ノ元村ヲキ<sup>△</sup>スウス (Ngisūūs) ト云ツタ。ソノ下ノ  
アタオヲメレケイ (Merekei.) ト云ツタ。

Ngabei

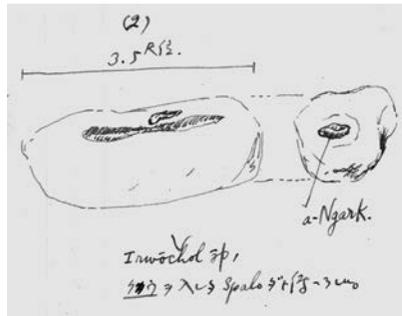


(1)



Erai thomai (此ノ村ノ神) ガ tharao ヲ  
 作ツタ時、綱ヲ卷キツケタ石ト伝ヘラレル。

(2) 67. A

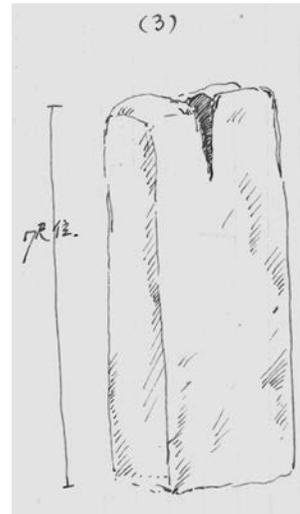


Irwochol 神ノクカウヲ入レタ spalo  
 ダト伝ヘラレル。

## (3) 67. B

此処ノ神□ノ告ゲガアツタ為ニ昔、村中ノモノ  
ガ行ッテバツ△・ル・ウルカウカラ持ッテ来タモ  
ノデアル。

墓ガ三ツアルガ、其ノ一ツガ此ノ村ノ村長家  
(Ethamai)ノ祖先ノ墓ダト云ハレル。

(4) <sup>[欄外ニ記す]</sup> [エラ イヅマイ 濟]

此ノ近クニ小サナ石ノオンルンムルガアルガ<sup>65)</sup>、其レハエライソ△マイ神ガ足デ踏  
ンテ作ッタモノト伝ヘラレル。

或ルー人ノ婆サンガ水ガ飲ミタイト思ッタガ、エライソ△マイガドノ水入ノ水モアケ  
テシマッテ、少シモナイノデ困ッタ。ガ、此ノ石ノ水入ニ水ガアツタノデ、飲マウトシ  
テ見ルト、孑子 (Bibūichūngoyom) ガワイテ居タ。ケレドモ仕方ガナイノデ、其ノ水  
ヲ飲ンダラ胎ンデ男ノ子ヲ産ンダ。

婆サンハ早く這フ様ニナレバイイガト云ッタ。スルト翌日ニハ這フ様ニナッタ。

婆サンハ又、早く歩ク様ニナレバイイガト云ッタ。スルト、其ノ翌日カラ歩ク様ニナ  
ッタ、

子供ハソウシテ丈夫ニ、ドンドン大キクナッタ。大キクナッテ毎日海ニ行ッ□□テハ  
沢山魚ヲ取ッテ来タガ、a-chai ダケヲ食ベテ、他ノモノハ皆人ニヤッテシマッタ。ソレ  
デ、他ノモノハア・カイガ取レルト必ず持ッテ来テクレタ。

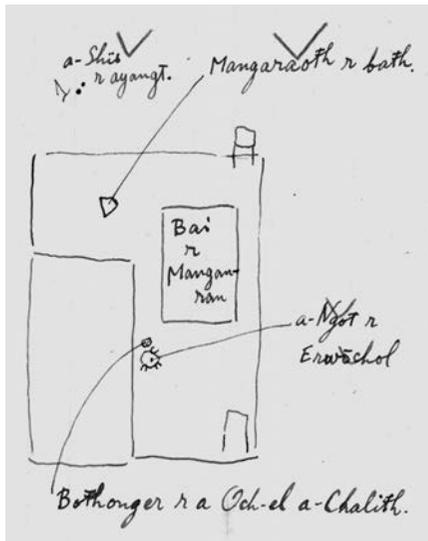
此ノ人ガエサ〇マイ家ノ祖先トナッタノデアル。ソレデ此ノ村ノ者達ハ、ア・カイガ  
取レルトエサ〇マイ家ニモッテ来ル様ニナッタ。

此ノ人ハ非常ニエライ人ダッタノデ、人間デハアツタガ、死ンデカラ神様ノ列ニ入  
ッタ。此ノ人ハ非常ニ髯ノ長イ人デアッタト伝ヘラレル。

## 二十四日

○マカ△ラオツ△・ル・バツ△<sup>66)</sup> 此ノ石ハ始メキ△スースニアツタ。

昔々キ△スースノモノ等ハ Ngarchāyam (カ△ルケヤム) ノモノ等ヲ欺イテ、村中ノ男



達ヲ漁ニ誘ヒ出シ、男達ノ留守ノ間ニカ  
 △ルケヤムニ乗り込ンデ、家々ノ屋根ヲ  
 全部ハギ、乱暴ヲ働イテ帰ッテ来タ。カ  
 △ルケヤムノモノ等ガ何モ知ラナイデ帰  
 ッテ来ルト、村ハ見ル影モナク荒ラサレ  
 テ居タ。カ△ルケヤムノモノ等ハ非常ニ  
 憤ッタガ、当時ハギスースノ勢ガ盛デ、  
 オイソレト手出シラスル事ハ出来ナカッ  
 タ。ソコデゲユングル (Ngeyünger) ノ  
 □□酋長リメルク (Rimelch) ノ処ニ行  
 ッテ助ヲ求メタ。リメルクハ村ノモノト  
 相談シタガ、勢トシテハ、勝身ガナカッ  
 タ。

ソコデリメルクハ、黙ッテペリリユー  
 ニ魚取りノ大網ヲ作ッテ貰フ様ニタノンデヤリ、自分ハキ△スースニ乗り込ンデ、キ△ス  
 ースノ女ヲメトッテ住ミ、或時、カ△イスブルブル (Ngaisbülbül) ノア・バイニ、ム  
 コ△ルヲ沢山ニ集メ、村中ノ青年ヲ誘ッテ踊ヲ踊ラセタ。皆ガ寝タ時ニ、ア・バイノ一  
 方ニ用意シテ置イタ網ヲ張ッテ、他ノ一方カラア・バイニ火ヲカケタ。皆ハ憫テテ他ノ  
 口カラ飛び出シタガ、網ニ引ツカカッテシドロニ乱レタ。カネテ示シ合ハセテアツタケ  
 △ユンク△ルノモノ達ハ、皆々ブロットコ (Brottoch) ヲ振り上げて、□逃ゲテ来ルモ  
 ノヲ片ツパシカラナグリ殺シタ。而テ生キ残ッタモノ等ヲアイライニ移リスマセタ。  
 (アイライノ者達ハモトキ△スースノ者デアル)。

〔欄外に記す〕  
 [濟 (右)]

此ノ時、マカ△ンラオツ△ル・バツ△ハケ△ユンク△ルニ取ッテ行カレタノデアッタ□。  
 其後アイライノ者等ハ、此ノ石ヲ取返ス為ニ大挙シテケ△ユンク△ルニ攻メ来ッタ事再度  
 ニ及ンダガ、勢ハ伯仲シテ勝敗ハ決シナカッタ。デスウ云フ事ガ、イツマデモ続イテハ  
 オ互ニヨクナイト云フノデ、マカ△ンランノ酋長ガ話シ合ッテ、此ノマカ△ンラオツ△  
 ル・バツ△ヲ現在ノ所ニモッテ来テサメタモノデアル。

マカ△ンラオツ△ル・バツ△ハ三尺□程ノ稍三角形ヲナシタ平タイ石デ、カ△クラオノ  
 旧ルバクノア・バイ跡ニアル大石ヤ、ア・バイ・ル・アカラップニアル三角石ト□全ジ  
 ク、女陰石デアララシイ。✓

二十七日

晴、夕方ヨリ雨。

朝、子供達、続キ

午後、子供達、鑿ヲ貸シ与ヘテ自由製作。

↘

此ノ石ノ西ノ方ニ、カンドツクルヲ少シ離レタ所ニ、シースガ二本程アル。此ノシースニ就テノ話<sup>67)</sup>デアル。

此ノシースノアル辺ニ、昔ア・イメイ (A-Imei) ト云フ家ガアツテ、アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイ (Aiharar-a-inroi ト云フ娘ガアツタ。

〔欄外に記す〕

[Dālūttocho]

カ<sup>△</sup>ラルドノカ<sup>△</sup>ツトコロン (Ngattocholon) ニツ<sup>△</sup>ルツトコ (thrūttocho. — 雷ノ意) ト云フ男ガアツタガ、アルコロンニ来テ此ノアサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイヲ嫁ニシテ、此ノ嫁ト、今ノエヨールマン (Eyōlman) ノア・バイノ下ニ棲ンデ居タ。

ツ<sup>△</sup>ルツトコハ村ノ踊ガアツテモ、自分ノ嫁ヲ決シテ踊ニ出サナクッタノデ、村ノ者達ハ面白ク思ハナイデ、アザラル・ア・インロイヲ取り上ゲテ、ツ<sup>△</sup>ルツトコヲカ<sup>△</sup>ラルドニ帰シテ了ツタ。ツ<sup>△</sup>ルツトコハカ<sup>△</sup>ラルドニ帰ッテハ来タガ、ツマラナクテ考ヘコンデバカリ居タ。

スルトアレウガ来テ — Areū ハ神人デアツタ — □ツ<sup>△</sup>ロットコニ其ノ訳ヲ尋ネタノデ、ツ<sup>△</sup>ロットコハ事ノ次第ヲ話シテ、嫁ガイナクナッタノデツマラ□ナイノダト答ヘタ。

アレウガ云フニハ「ソレハ可<sup>愛</sup>□哀サウダ、ソナニ嫁サンガ恋シイナラ、トツテ来テヤロウ」ト云ツテ、裏ノアケツカラ手ヲノバシテアサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイヲ取ツテクレタ。其ノ上、コンナ事が皆ニ知レタラ又、何かトウルサイダロウカラト云ツテ、二人ヲ天ニ昇ラセタ。二人ノボソ<sup>△</sup>□□ケ<sup>△</sup>ルハ現ニカ<sup>△</sup>ツトコロノ□家ノ傍ニツツノ石トナツテ居ル。

二人ハ天ニ昇ツテ、オクエラ・カリツ<sup>△</sup>ノ所デ何一ツ不自由ナク暮シタ。所ガソコニハーツノア・キムガアツテ、一度モ蓋ヲトラレタ事ガナクッタ。オクエラ・カリツ<sup>△</sup>トツ<sup>△</sup>ロットコノ二人ハ、イツモアサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイニ、此ノ蓋ヲ決シテ取ツテハナラナイト云ヒキカセタ。

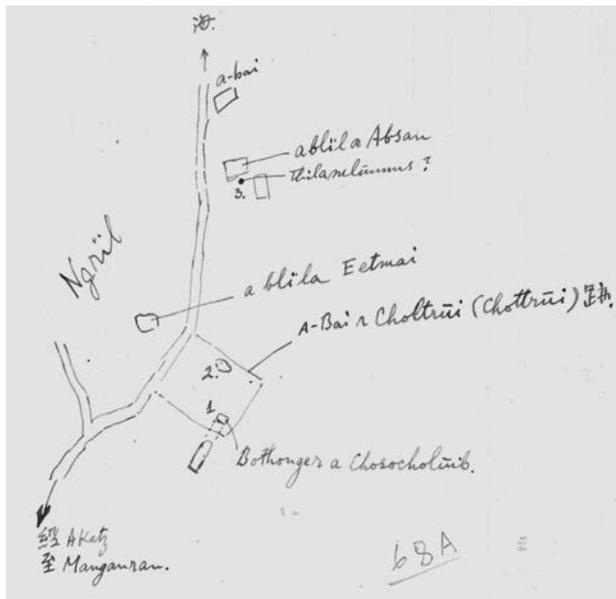
所ガ、アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイハ、トメラレルト蓋ヲ取ツテ中ヲ見タクテ仕方がナクッタ。デ、トウ〜二人ノ留守ノ時ニ、ア・キムノ蓋ヲトツテ見タ。スルトソノア・キムノ中ニ、自分ノ元居タ村ノ有様が有リノ儘ニ有リアリトウツツテ居タノデ、アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイハ如何ニモ懐シクテ、帰り度イ気デーバイニナツタ。

二人ガ帰ッテ来ルト、アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイハ只泣イテ居タノデ、二人ハ氣ガツイテ、ア・キムノ蓋ヲ取ツタノダロウト尋ネタ。アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイハ蓋ヲ取ツテ見タ由、蓋ヲルト故郷ノ有様が手ニトル様ニ見エタ由、自分ガ再ビ行ク事が出来ナ

イノヲ悲ンデ、嘆イテ居タ由ヲ答ヘタ。

二人ハソレヲ聞クト、可哀サウニ思ッテ、ソソナニ帰リ□タイナラバ婦シテヤルカラト云ッテ、網ヲ降シテ元ノ村ニ返シテクレタ。其ノ時ニ、天カラノ土産トシテシースノ木ヲ持タセテクレタ。此ノシースハ其レ故ニ a shīs r ayangt ト呼□バレル。

此ノシースカラ少シ離レタ所ニ、アサ<sup>△</sup>ラル・ア・インロイガ天カラ降りタ重ミデ、地ガ凹ンタ跡ト云フノガアル。因ニシースハ元パラオニナカッタモノデ、今何処ニデモアルシースハ、此処カラ分ケ植エラレタノダト云フ。



(1)ハ五尺余モアル立石<sup>68</sup> □デ、コソコレイブノ石ダト云ハレルガ、雨ガ降ッテ困ッタリ、又□□ハ雨ガ降ッテハ困ル様ナ場合ニハ、(2)ノ石ニ供ヘ物ヲシテ、此ノ石ニ祈ルト□□□□□□、雨ガ降ラナイト信ゼラレル。

私達が行ッタ時ニハ、此ノ石ノ上ニ蝟ノ実ガ二ツバカリ乗セテアッタ。

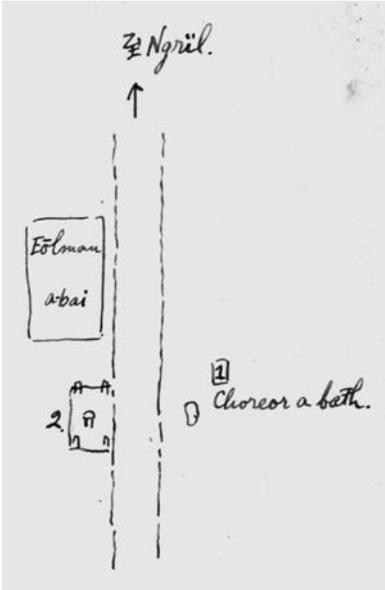
又、田圃ナドニ蟲ガツイタ時ハ此ノ石ニ祈リ、娘達ガコソコレイブノ名ヲ称ヘナ□ガラ哇ヲマハルト、蟲ガ居ナクナルト信ゼラレル。

(3)ハアブサン家ノオドソングルノ隅ニアル三尺バカリノ棒石デアルガ、是レモアブサン一家ノ神デ、私達が行ッタ時ニハアヤンムヤ□□シダノ様ナ草ノ□葉ガ一タバノセテアッタ。✓

二十八日

雨が降り続イテ居タガ、昼前ニハ止ム。

朝、子供達、続キ、午後迄残ラセテ着色。



[68, B]

↓

1. コロールトマカ△ンラントハ昔一ツデアッタ。

コロールハ四囲ニ敵ヲヒカヘテ非常ニ困ッタノデ、マカ△ンランニカヲツケテクレトタノンダ。1ノ処ニハ、モトブソスト呼バレル神石ガアッタノヲ、其ノ時大□□□□□  
〔欄外に記す〕  
 [オルオツトル]ヲ作ツテコロールニ運ビ、ロバサカノ家ノ傍ニ置イテ来タ。ソノ□石カハリノ石トシテ、此ノ現在ノ石ヲモツテ来テ置イタノデ、コレヲコレオル・バツ△ト呼ブノデアル。

2. 2ハカンドックルデアル。昔カ△spanトマカ△ンラントハ親類デアッタ。デ此ノ道ヲ作ル時、カ△spanノ者達ガ来テ石ヲ敷イタガ、〔記〕紀念ニ此ノカンドックルヲ作ツテ残シテ行ッタ。其故ニ、其後カ△spanノ者ガ此処ニ来タ時ハ、黙ツテ此ノカンドックルニ座ツテ居レバ、此処ノモノハカ△spanノ者デアル事ヲ知り、此ノアバイニ食料ヲ運ンデモテナス習ニナッタ。

因ニカ△クラオモ亦マカ△ンランノ親類デアッタノデ、此ノ道ノ現在ノアプウルラカン—元ハモツ短カカッタ—ノ処ヲツギタシタノハ、カ△クラオノ者等デアル。

〔欄外に記す〕

[Kaūshad er belūū]

二十九日

晴、

朝、子供達、続キ、午後、着色。

三十日

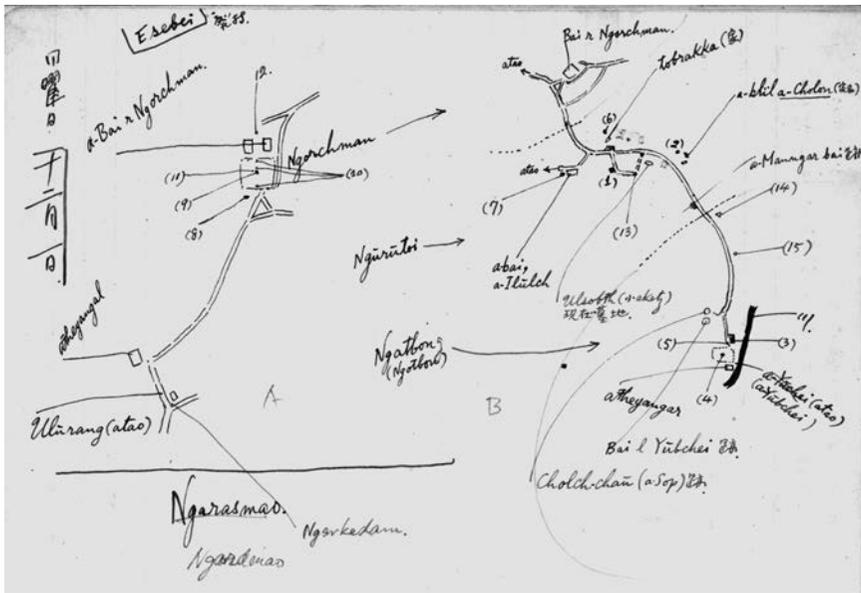
晴、

朝、子供達、続キ、

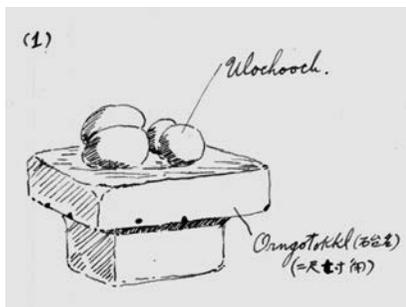
午後、トカイトアマツ<sup>〇</sup>ノ処ニ行ク。コテ<sup>△</sup>ツッ達来テ居ル。二時半頃、カ<sup>△</sup>ボクヴノ  
 アタオヨリ舟ヲ二隻出シ、一行カ<sup>△</sup>ラスマオニ四時半着<sup>(69)</sup>、アマツ<sup>△</sup>トコテ<sup>△</sup>ツットトカ  
 イトアコールノソルダオト、ソレニ杉浦君ト自分トデアル。アバイニ宿ル。

十二月

一日 日曜日



(1) A



〔欄外に記す〕  
 [(十二月四日, メレツキノ話参照)]

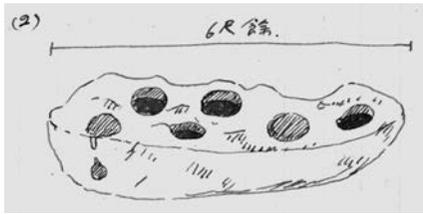
昔々ハ Almonongui ノ近クノ Ulwan ト  
 云フ村ニアッタノヲ Ngarbadol-tbarakk ト  
 云フ Rübak ガ、此処ニモツテ来タト云ハ  
 レル。

Och-el a chalith ガ作ツタト伝ヘラレル。  
 上部ノ下縁ニ幾ツカ小サナ穴ガウガタレ  
 テ居ルガ、是レハ元、Bsachal ト云フ貝ヲ  
 吊シテ飾リトシタト云フ。

昔ハ金持ガ此ノ上ニ金ヲ並ベテ金ノ多少  
 フ量ツタト云フガ、是ハ名ノ如ク神ヘノ供物ヲ乗セタ三宝ノ様ナモノデアロウ。

此ノ傍ニ足跡ダト云フ石ガアルガ、例ノ如ク水カ何かデ洗ハレテ浪形ノツイタ自然石  
 デアル。

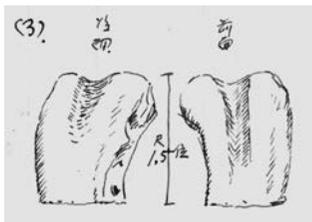
(2) B



昔オルワンカ△ルガ沈ンダノハ、  
Ngaraldchūs ト云フ村ニソソナ靈異ナカラ  
モッタモノガアッテ、カヤンカ△ルニ渡ッ  
テ術ヲ以テオルワンカ△ルヲ崩シタノダト  
云フ。

此ノ石ハ此ノ家ノ先祖ガオルワンカ△ル  
カラ渡ッテ来ル時ニ乗ッテ来タカヌーダト伝ヘラレ、<sup>此ノ</sup>□□カ△ラスマオデハ此ノ a-Chalon  
ト云フ家ガ一軒、オルワンカ△ルカラ来タト云フ事ニナッテ居ルガ、コロソハ司祭トカ  
神官トカ云フ意ダカラ、此ノ家ガ古クカラ神ト關係ヲ持ツ家デアル事ハワカル。矢張り  
所々ニアル神ニ捧ゲル水入デアロウ。ニツノ穴ハ底ガスケテ居ルガ、四ツニハ水ガ溜ッ  
テ居ル、深サハ一尺二、三寸モアル。

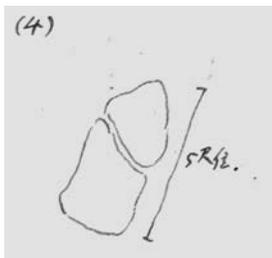
(3) C



Bothonger a Sacharatpūyrtch. 後出巫家四家ヲ作  
リ、神ヲ定メテ mttilai ニ行キ、Esebei ノ村ヲ天カラ  
降ロシタト伝ヘル。

Sacharatpūyūch ハ Almonomgūi ノ a-Rois カラ来  
タト云ハレル。(七人ノルバクノ坐デアッタト云ハレル  
chandokl ニ在リ)

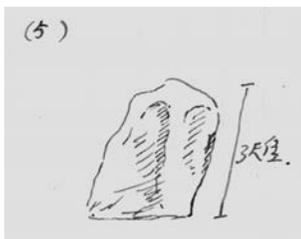
(4) D



平石デ上面カラ見ルト、図ノ様デアル。アテ°ヤンカ△ル  
側ノ広イカンドツクルノ中央ニ在リ。

Obochañh ノ bothonger ダト云ハレル。

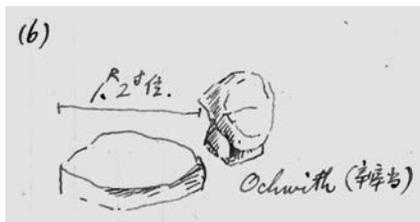
(5) E



七人ノルバクノ Chandokl ノ一隅ナリ、

Meangal bañh. Meangal bañh ハ、「若イモノ乗ルベ  
カラズ」トノ意ノ石デアル。

(6) A

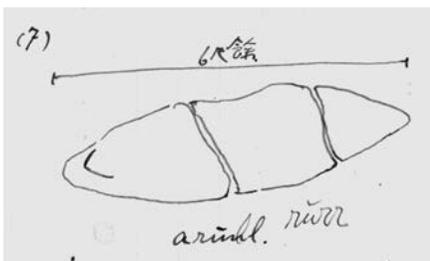


Cholong

Chthūng a lūbāth.

Chthūngハ善イ人ノ意デアル。<sup>〔欄外記す〕</sup> [?] Och-el a cheliīh ガ作ツタモノデ、悪イ人が居タ時ハ、此ノ石ヲ見テ直セト云フ教ヘノ石ダトサレル。<sup>〔欄外記す〕</sup> デ此ノ Tobrakka [Tūbūrakk] ノ家ノ人ハ、代々善イ人が居ルト云フ事ダ。

(7) B 25



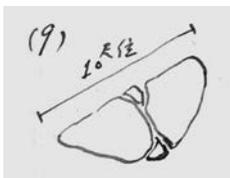
Obochaṯh 神ガ此ノ arūnl ニナツテコンレイノ A-yūngl ニ行き、a-Itoi カラ後出クカウノ石ヲ持ツテ来タ、其ノ arūnl ノ石デアルト伝ヘル。モト Bai l tbon ニアツタノヲ此処ニモツテ来タ由、

(8)

長六尺位、二尺幅位ノ角石デアアルガ、是レハ悪神ノモトデ a-blaōth (ブラオツ<sup>△</sup>ハ□腐デアアル) ト呼バレル。

昔、此処一□帯ハ人ガ入ル事が出来ナイト伝ヘラレテ居タノデアアルガ、最近地ナラシラスルノ<sup>〔掘〕</sup>デ堀ツタラ、此ノ石ガ出タノデアアル。(前記ハ□命名、縁起共<sup>○</sup>コテ<sup>○</sup>ッ<sup>○</sup>カラ出タモノデアアルカラ、全然古イ伝承デハナイ。)

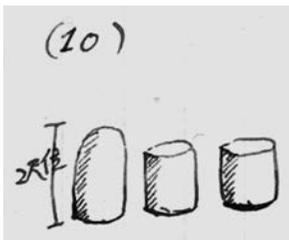
(9) 25C 濟



図ノ様ナ大キナ平石デ、Terthao ihwai ト呼バレル、神ト神ニナツタ人ダケガ此ノ上ニ昇ル事が出来ル。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
[Ngalchobai]

(10) 25, D



Baṯh l kūkāū

(11) [N<sup>2</sup>. 35 37]

長二尺余ノ凸凹ノ自然石デアルガ、Sacharatpüyüch ノ Chingar ダト云ハレル。昔大キナ風ヲ上ゲテ神ニ供ヘタモノデアル。風ハ蝟ノ木ノ葉デ編ンダモノデ、余程大キナモノダツタラシイ。此ノ風 (a-chadam) ノ上リ方ニヨツテ、後、出□家ノ巫達ガ神意ヲ告ゲタノデアル。

田圃ノ蟲除ケ等ニモ大風ガ上ゲラレタソウデアル。

(12)

二尺五寸位ノ自然石デアルガ、Ebūkl ト呼バレ、昔ハ他村カラ来タモノニ此ノ石ノ名ヲ問フテ知ラナケレバ殺シタト云フ。合言葉ノ様ナ石デアル。↙

二日

晴、夜雨。

朝、子供達、十時半迄普通ニヤリ、其レヨリカヴブソク△ルヲ取りニユク。

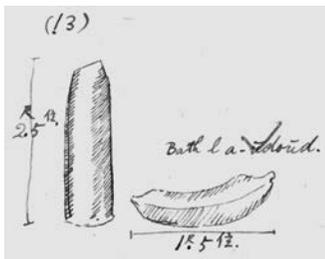
午後、子供達、着色。

(欄外に記す)  
[受信 久願 上原寿造 金井 平寫雄市郎、

発信 金井]

↙

(13) 25, E



Bath l Kūkū

Bath l Kūkū ハ昔此処ノ女ガ a-Itoi ニ手伝ヒニ行ツタノデ、一ツ貫ツテ来タト伝ヘ、今モ此ノ村ノ女ノカンドベケルノモノニナツテ居ル。

ケレドモ、此ノ円イ柱石ニハ、a-Itoi ノ様ナ縦ニ通ツタ溝ガナイカラ、此ノ云ヘ伝ヘハ間違ッテ居ルカモ知レナイ。

(14)

現在ハ藪ニナツテ居ルガ、元、此処ニハ Sop ガアツタト云フ。神ハ Sachalatpüyüch ト、其ノ子ノ Chañhirabūb トデアル、  
a-Chailon (地名?)

(15)

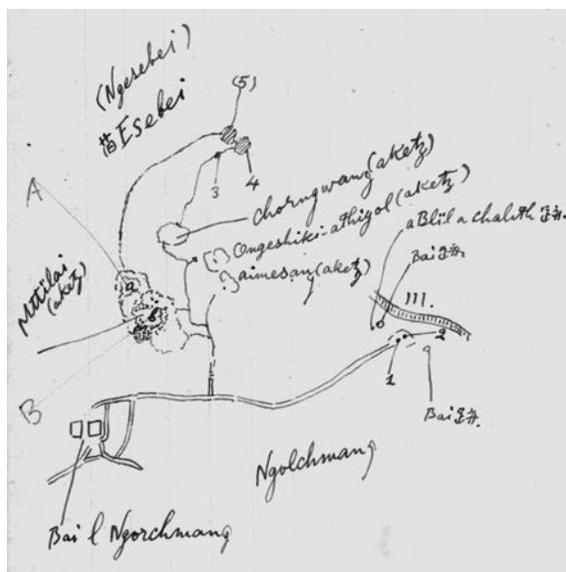
Mtmetam 家. Sachalatpüyüch ノ四ツノ巫ノ家ノ一ツデアル。



Ngatbon ト Ngürüton トノ境ノ辺ヲ, Brochol ト呼バレルガ, 是ニツイテ小サナ話ガアル。

昔々神ガアツテ鳩ニナツテ, アンカ<sup>△</sup>ウルカラバリリユーニ移リ, 後此ノ地ニ来テ Ulüürikk<sup>l</sup> ト云フ家ニ来テ, 鳩ニナツタリ女ニナツタリシテ..... 女ニナツテ田圃ヲ作ツタ— Brochol ハ鳩ノ意デアル。

Ulüürikk<sup>l</sup> ハコテ<sup>△</sup>アップノ旧ノ家名デ, ゴテ<sup>△</sup>アップノ祖先ハ, 此ノ家カラ別レテア<sup>△</sup>コールニ行ツタモノデ, ア<sup>△</sup>コールノ村ハ, 此ノ Brochol ノ別レデアル。

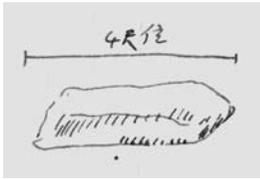


- (1) イレンケ<sup>△</sup>ルヲ乗セタ台石,
- (2) 一段高イ□小サナカンドックル, 七人ノルバクノ座,
- (3)



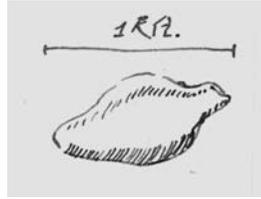
Sacharatpüyüch ガ, Ngesebei ノ寫ヲ下ス時ノ aptang (杵) タト云ハレル。

(4) A



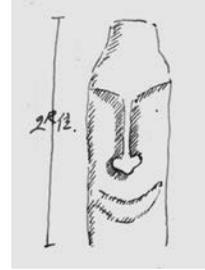
Sacharatpūyūch ノ男根  
ダト云ハレル。

B



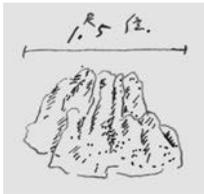
Atbūs ノ石  
dūbūsūch

C



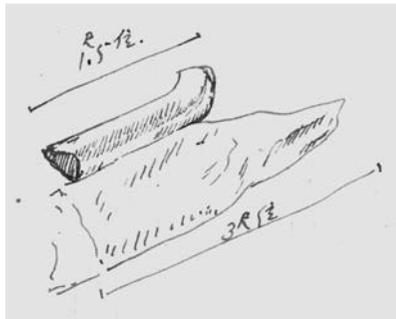
Mlechell  
是レハ Omchell (オ産)  
ニ就イテノ石ダト云ハル。

D



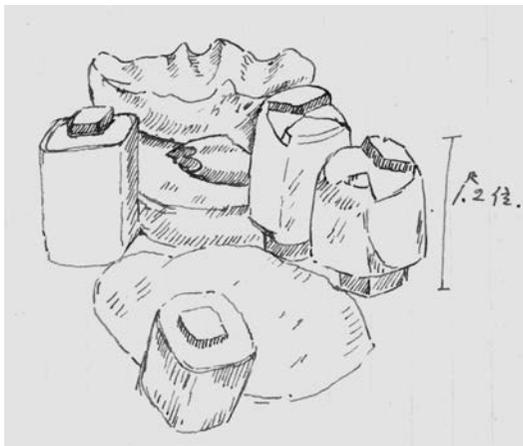
子袋石

E



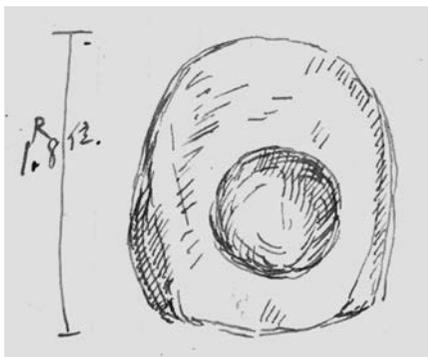
Bsoyoch ノ始メノ石

(5)



Ulongang ナリト云フ  
中央小サナ石ハ Bebrok ノカケ  
タモノ, 四ツノ角石ハ Bai l  
Ngalwao 等ニアル Krikkl ノ種類  
ノモノデアル, 一番奥ノハ  
Sachalatpūyūch ガ寫ヲツリ下ゲ  
タ時, Ekil ヲ卷キツケタ石ダト云。

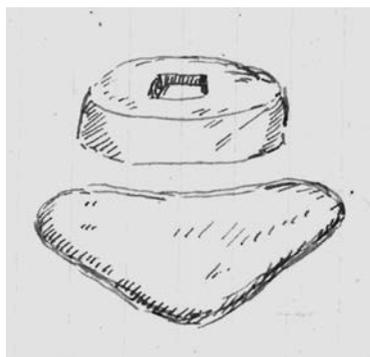
27 A



a- shirs.

a- shirs ハ Erachomchūū ノ Bothongel デアル。

B



Aūch

此ノ Aūch ハ, Obochaṭh ガ置イテ行ツタト云フ。向フ側ノハ此ノ女陰ニ捧ゲル水入デアルガ, Bai l a chalap 等ニアル臍石デアル事ハ明カデアル。

(4)及ビ(5)ハ, 隣り合ハセタ, ニツノ chandokkl デアルガ, 総ジテ Ngalṭhao ト呼バレル。

ソレカラ神々ノ Bothongel ニ就イテハ一般ニハ, Erachomchūū ハ a-shirs Ochel a chalīth ガ a-būil Obochaṭh ガ a-meshitek. ソシテ Kwap ハ chūūtm ト云フ事ニナツテ居ル。

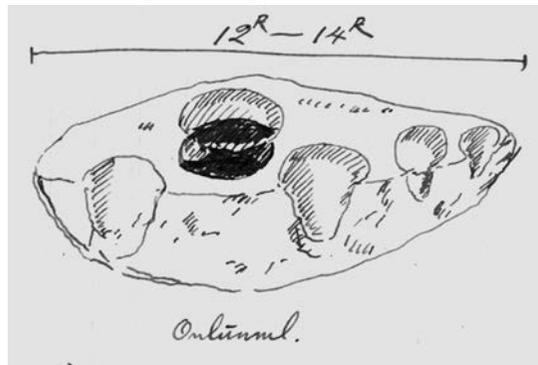
▲ Mttīlai ノアケツハ, 昔カラ神ノ御座所トシテ誰一人行クモノガナカッタト云フ処デアル。夜中ニ此ノ akeḡ デ atbūs ガブーブー鳴ルノデ戦争デモ始マツタカト思ツテ出テ見ルト, 何モナカッタト云フ。現在, 私等ノ一行ヲ案内シタカ<sup>△</sup>ラスマオノ二人ノルバクハ, 自分達ガ若イ時迄ソウダツタト云ツテ居ル。

兎モ角, 此ノ akeḡ ハ, 図ノ様ニ裏カラ登ルト二段ニナツタ土壇デ, 上ノ壇ハ立派デ幾分先ノ方ガ細ツタ梯形ヲナシテ居ルガ, カ<sup>△</sup>クラオノケ<sup>△</sup>ルプケ<sup>△</sup>イト全ジ様ニ昇リ道ガナクテ, 非常ニ急勾配ヲナシテ居ル。(a)ノ部デ梯形ハ海ニ向ツテ居ル。(b)ノ部ハ, ソレカラ又一壇高クナツテ居ルガ, Roisan ノ様ナ所デ, 昔カラ人が入ツタ事ガナイダケニ樹木葛<sup>〔蔓外に記す〕</sup>草ガ茂ツテ容易ニ入レナイガ, 全ジ様ニ是レハ山ノ手ノ<sup>向</sup>方ニ幾段カニナツテ居ル。一番高イ処ニ, 小サクテ樹木ガヒドク茂ツテ居テ登レナイガ, 其ノスグ下ハカナリ大キナ平ラデ, 大キナ自然石ガ五六個カタマツテ居リ, (巨石ハ七八尺モアル) 其

他所々ニ三・四尺程ノ岩石ガアル。Chandokkl [heldukl] <sup>(欄外に記す)</sup> タト云ハレルガ、人工的ナモノデハナイ。此处ニ三処並ブ様ニ縦三尺位、横一尺位、少シ地ガ盛り上ッテ、小石ガ図ノ様ニオカレテ居ルノデ、ウチニツヲ掘ッテ見タガ、オロカンノカケラガ二三十出タダケデ何モナカッタ。掘ッテ見ルト、一尺五寸位ノ処マデハ一度掘ッタ事ガアル様ニ、木ノ根等ハハッテ居ルガ、土ガ柔ラクテ楽ニホレル。其レカラ先ハグット土ガカタクナッテ居ル。オロカンノカケラハ厚手ヤ薄手ヤ、二三十モ出タガ、縁ノ所ノカケラガーツモナイ所ヲ見ルト、瓶ヲ埋メタモノトハ思ハレナイ、出テクル状態ニシテモ全クバラバラデアル。何ノ事カ更ニ解ラナイ。

此ノ chomdokkl ニ出ル前ニ少シ下ニ、Ongayottl (Ekil ヲ卷イタモノ) ノ石ト云ハレルノガアル、□四尺程モアル自然石デハアルガ、下ニ鼎ノ足ノ様ニ石ガカッテアル処ヲ見ルト、ワザワザ置イタモノデアル。

山ノ手ノ方ニ下リテ来テ、樹木ガタエテ akeg̃ ニ出ヨウトスル処ニ、図ノ様ナ大キナ水入石ガアル。akeg̃ ニナッテカラモ段々ニナッテ居ルガ、此ノ辺ガ昔ノ村跡ダト云ハレル。↙



三日

昨夜カラノ雨、降り続ケ、終日暗イ陰気ナ日。

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、色ツケ、

↙ 済



村ノ者達ハ幾度ヤリナホシテモ取レナイノデ、村ニ帰ッテ Aüch-el a Ngeklao ノ処ニ行ッテ相談シタ。スルトアウケラケ<sup>△</sup>クラオガ教ヘテ□云フニハ

「暗イウチニ二人ノ者ハ岩影ニカクレテ待ッテ居ルガイイ、ソシテ他ノモノハイツモノ様ニ昼間網ヲハッタラ、キット取ル事が出来ルダロウ」

デ、村ノモノ達ハ云ハレタ通りニ二人ノモノヲ岩影<sup>〔陰〕</sup>ニヒソマセテ、昼ニナッテ皆デ網ヲハッタ。

アロウハイツモノ通り□□<sup>洗ヲ</sup>身ヲ洗ッテ岩ノ上ニ立ッテ居ルト、皆ノ者が網ヲハリダシタ。アロウハ何モ知ラナイカライツモノ様ニ得意デ嘲ツタ

Allo, mochosochocho allongek!

岩影ニカクレテ居タ二人ハ□<sup>〔陰〕</sup>是レヲ見テ跳リ出テアロウヲツカマヘテ村ニ帰ツタ。ソシテ□□□□□□□□<sup>此</sup>アウケルケ<sup>△</sup>ルラオノ所ニツレテ行ツタ。アロウハ大変ニ美シカッタノデ、アウケラケ<sup>△</sup>クラオハアロウヲ自分ノ妻ニシタ。ヤガテアロウハ一人ノ子供ヲ生ンダ。

或日アロウガ田圃ニ行ツタ留守、赤ン坊ヲ寝カセテ置クト、一匹ノ鼠ガ其ノ囲リヲ飛ンダリ跳ネタリシテ赤ン坊ヲア□ヤシタ。赤ン坊ハ其レヲ見テニコへシテ居タ。アウケラカリツ<sup>△</sup>〔ゲクラオ〕ガ来テ見ルト此ノ有様□デ、鼠ガ□飛ビハネテ居ルノデ、棒デ其ノ鼠ヲ叩キ□殺シテ了ツタ。

田圃ニ行ッテ居タアロウハ、突然指ノ先ニ血ガ染ンダノデ、何か変ツタ事が起ツタ事ヲ知ッテ急イデ帰ッテ来テ見ルト、母鼠ガ殺サレテ居ルノデ、大変ニ怒ッテ、Amthüü-Ucheli 神ノ処ニ行ッテ話ヲシテ復讐ヲ願ツタ。

ソコデアムツ<sup>△</sup>ウケルハバラオ中ノ鼠ヲ集メテ、アウケルケ<sup>△</sup>クラオヲ攻メサセタ。鼠ノ頭ノ Miyom ノ無数ノ鼠軍ヲ作ッテコンレイカラ出発シテ、カ<sup>△</sup>クラオニオシヨセ、アウケルケ<sup>△</sup>クラオノ家ノ椰子網ヲ全部カミキリ、椰子ノ実ヲ喰ヒ落シ、田圃ノ芋ヲ喰ヒ尽シ…… アラ□ユルモノヲ喰ヒコワシテシマッタノデ、アウケルケ<sup>△</sup>クラオモ如何トモ仕方ガナカッタ。

〔Chonlei ノ先ニツツ罵ガアルガ、先ノ方ノガ Kulkul デ、手前ノ方ノガ Ngöklao デアツタ。鼠ニ亡ボサレテ残党ガ、今ノ Ngeklao ニ行ツタノダト云フ。今ノ Ngeklao ノ本村ハ、a-Irachal、今村ノアル処ハ A-lei ト云フ村ダッタト云フ。〕

鼠軍ハ□□<sup>凱 戦</sup>凱旋シ、椰子殻ノ片側ヲ舟ニシテ——三ツノ穴ノ一ツニ尾ヲ入レ、壘丸デ他ノ二ツノ穴ヲフサイデ、尾ヲ動かシテ椰子殻ノ舟ヲ漕イダト云フ——海ヲ渡ツタガ、イミリーキノ先ニ来ルト、嵐ガ起ッテ沢山ノ鼠ガ其処デ死ンダ。今、イミリーキノ先ニ、Ngalttaka apeyab、ト云フ toakal ガアルガ、其処ガソレデアルト云フ。

〔ビッタール 伝承〕

斯克テ、ガクラオ<sup>〔ママ〕</sup>ノ者ハ、ガラクラオヲステテ、現在ノガクラオニ入ツタ。

〔欄外に記す〕  
〔マカ<sup>△</sup>ンクイトトコト<sup>△</sup>ンク<sup>△</sup>ルノ話, ○ [17,162]〕

アコールノ Aūtaol ト云フ処ニ, Era-ochelakiñhl, ðera-ochelakiñhl ト云フ夫婦ガアツタガ, 夫婦ノ間ニ, 男ト女ノ□双児ガアツタ。男ヲ Kiūkei ト云ヒ, 女ヲ Kiūliūl ト云ツタ。

此ノ夫婦ノモノハ, Mangauchūi, tochtongl ト云フニツノ石ヲ信仰シタ為ニ, アコールノモノニ殺サレテシマツタ。デ, 子供達ハ Aūran (Chaūran) ニ逃ゲテ来テ, Aūchñh ト云フ家ニ頼ツタ。二人ハ夜舟ヲ出シテ, アルモノグイノ Ngeshisech ニ行キ——ケ<sup>△</sup>シセックニハ天迄トドク檣樹ガアツタノデアル。デキウケイハ, 此ノアボウクヲ登ッテ天ニ行キ, Ochela Ayangñh 神ノ所ニ行ッテ話シヨシタ。スルト神様ハ Krithm Brottoch ト a-chashkücl (蝶貝) トヲクレタ。

デ二人ハ又, アウランニ帰ッテアウクツ<sup>△</sup>ノ家ニ居タガ, 此ノ蝶貝ガ評判ニナッテ, アコールノ者が次カラ次ヘト見ニ来タ。キウリウルガ家ノ中デ蝶貝ヲキラへサセルト, 見ニ来タモノハ不思議ソウナ顔シテ見トレテ居タ。キウケイハ, 先ノ顔ノツイタプロットコデナグリ殺シタ。斯ウシテ, スッカリ復讐シテニツノ石ヲアウランニモツテ来テマツツタ。

〔ビッタール 伝承〕

〔欄外に記す〕  
〔カ<sup>△</sup>ルスンノルバクノ伝説〕

昔, カ<sup>△</sup>ラスマオニ Karakar ト云フ女ガアツタガ, 海ニ行ッたらタマカイニ呑マレテ了ツタ。カラカルハ出度イト思ッテ, キコイデタマカイノ腹ノ中ヲカキムシッタノデ, タマカイハ□苦シンデ泳ギマワッテカ<sup>△</sup>ラカベッタンノ海ニ来タ。

ソレヲ村ノ Almesachaū ト云フ男ガ見ツケテ捕ヘ, 切ラウトスルト, 中カラ声ガシテ, 私ガ居ルカラウマク切ッテクレト云フ。ビックリシテ, ソット断チ割ッテ見ルト中カラ女ガ出タガ, 髪ノ毛ナドハヌケテ了ッテ居タ。

女ハアルメサカウノ子供分ニナッテ居タガ, ケ<sup>△</sup>サンノ Achwon ト云フモノト夫婦ニナツタ。而シテ cholwal ト云フ男ノ子ヲ産ンダ。

男ノ子ハヤガテアイライノカ<sup>△</sup>ルスンニ行ッテ Ngalsūn ノルバクノ Aūchelsūn ノ所ニ行ツタ。アウケルスンガ子供ニ薪ヲ取ッテ来イト云フト, 子供ハカマドニイ曲ツタホヲトッテ来タ。アボウクヤア・カブイヲ取ッテ来ル様ニ云フト, チヤントアウケルスンノモノヲ間違ヘズニ取ッテ来タ。カラカラハアウケルスントハ兄妹ダツタノデ, コルワルハ母カラ, アウケルスンノ家ノオキテヤ様子ヲスッカリ聞イテ来テ居タノデアル。

デ, アウケルスンハ是レハ自分ノ子デアルト悟ッテ, 死ヌ時ニ家ノ下ノ石ノ下ニ金ガ埋メテアル事ヲ教ヘテ死ンダ。

カ<sup>△</sup>ルスンデハ水葬ノ風習ガアツタ。デ, アカヤブヲ出シテ死体ヲ海ニ沈メニ行ツタガ, 誰ガ沈メテモ浮キ上ッテ来テ, 何ウシテモ Oūsachal 神ガ受ケトッテクレナカッタ。

デ、終ヒニコルワルガ埋ルト、オウサカルガ取メテクレテ再ビ浮キ上ラナカッタ。

帰ッテ来ルト村ノ者達ハコルワルガ葬ッタト聞イテ、不満ニ思ッテ Trūtoa (蛸ノ葉デ編ンダ足敷) ヲ取ッテシマッタ。

コルワルハ困ッテ居ルト、神様が其処ニ新ラシイウルタオヲ敷イテクレタノデ、コルワルハ□舟カラ上ッタ。又村ノモノガウルタオヲ取ッテシマッタ。スルト、又神様が別ノウルタオヲ敷イテクレタ。コルワルハ斯ウシテ一歩一歩村ニ入ッタ。

村ノ者達ハ次ノルバクヲ定メル為ニ、Aptang ノ Krithm ニ向ッテ誰ガアウケルスンデセウカト尋ネタガ、誰ガ尋ネテモク<sup>△</sup>リツ<sup>△</sup>ムハ答ヘナカッタ。トウ〜終ヒニコルワルガ行ッテ全ジ様ニ尋ネルト、石ガハッキリトソウデアルト答ヘタ。村ノモノハ、今ハコルワルヲ立テテアウケルスン<sup>△</sup>ルバクニシタ—。

〔欄外に記す〕  
[[N2, 52]

[N1, 93 参照]]

[ビッタール伝承]

〔欄外に記す〕 リ  
[済<sup>△</sup>メ□レックノ話]

オキ<sup>△</sup>ワルノ Ngaraos ト云フ岩山<sup>71)</sup> ニ、A-ngais ト云フルバクガ居タ。ア・カ<sup>△</sup>イスニハ a-Karakang, Erachal ト云フ二人ノ息子がアッタガ、或時村ノモノガ漁ニ出ルノデ、此ノ親子三人モ一隻ノカヌーニ乗ッテ出カケタ。外海ニ鯨ヤ大物ヲ取りニ出タノデアッタガ、他ノ舟ノモノハ、盛ニ取ルノニ、此ノ親子ノ乗ッタ舟ハ一ツモ取ル事が出来ナカッタ。

デ、帰ッテカラア・カ<sup>△</sup>イスハ Ngmlēū ヲ作ッタガ、立木ノ裏ヲハネテ根ノツイタ儘作ッテ置イタ。処ガ神ガ来テ引ッ張ッタガ、ドウシテモ取レナイ……。

其後又、リーフ外ニ漁ニ出タガ、三人ノ舟ハ一ツモ魚ガ取レナイバカリカ、アキラメテ帰ラウトスルト、セ<sup>△</sup>イロモオリナイシ、舟ヲ廻サウトシテモ何ウシテモ動カナイ……。Merekk ガツカマヘテ居ルカラ。

デ、アカ<sup>△</sup>イスハメレッキニ頼ンダ、—ク<sup>△</sup>ムレウヲ切ッテ上ゲルカラ舟ガ岡ニ帰レル様ニ、ソレカラ魚ガ皆ノ様ニ取レル様ニ—

スルトメレッキガ返事ヲシテ、舟ハ岡ノ方ニ動き出シタ。途中迄来ルト大キナ Ottaol ガ流レテ来ル。見ルト其ノオタオルニ鯨ガ沢山ツイテ居ル。デ、三人ハドン〜鯨ヲ取ッテカヌーニパイニナッタガ、鯨ハマダ〜沢山居ルノデ、アカ<sup>△</sup>イスハ二人ノ子供ニカヌーヲ持タセテ帰シ、自分ハ一人其ノ大キナ流木ニ乗りウツッテ、翌日迎ヘニ来ル様ニ云ッテヤッタ。

夜ニナルト、メレッキガ天カラ降りテ来テ、鯨ヲ取ッテハ食ベタ…… 朝ニナッテカヌーガ迎ヘニ来タノデ、又鯨ヲ沢山トッテ帰ッタ。帰ッテ来ルアカ<sup>△</sup>イスハ砂ノ上ニメレッキノ姿ヲ画イテミタ。スルト、天カラメレッキガ見テ怒ッテ云ッタ。

「俺ノ姿ヲ砂ノ上ニ画イテハイカン」

アカ<sup>△</sup>イスハ平気デ画イテ居ルト、メレッキガ漸々近クヘ降りテ来タ。

デ、アカ<sup>△</sup>イスハメレッキニ云ツタ。

「降りテ来タノナラ、一緒ニワシノウチニ行カウデハナイカ」

而シテメレッキヲ一緒ニツレテ帰ッテ来タ。家ニ来ルトメレッキハ、其処ニ寝テ居タ子供ヲ食ハウトシタノデ、アカ<sup>△</sup>イスハ Chochosm (椰子ノ葉ノ茎) ヲ火ヲ□クベテ、ソレヲメレッキノ尻ニツキツケタ。

メレッキハビックリシテ家ノ切妻ノ三角ノ所カラ飛び出シテ、天ニ逃ゲ帰ッテシマッタ。

ソレカラハ、再ビメレッキガ来ナイ様ニト云フノデ、家ノ切妻ノ処ニメレッキノ像ヲガンバラセル事ニシタ。二人ノ子供ハ切妻ニメレッキノ像ヲ作ル事ヲオボエテ、パラオ中ヲ廻ッテア・バイヲ作り、村ノルバクカラ沢山ノ金ヲ貰ッテ、終ヒニアルモノク<sup>△</sup>イノ Ulwan ニ行ツタ。而シテ□□□□□□□□□□ Orngotokkl ニ金ヲナラベタガ、オルゴトックルニパイニナツタ。— 昔ハ金ノ多イモノガルバクニナル事ニナッテ居タノデ、村ノモ□□ノハ、ア・カラカンヲ立テテルバクトシタ。アカラカンノルバクノ称号ハ、Eraimosachalfhiū ト云ツタ。

(ビッタール伝承)

〔欄外に記す〕

〔此ノオルゴトックルハ現ニガラスマオニアルモノデア。 (十二月一日ノ記参照)〕

〔欄外に記す〕

〔済 [16, 19参照] アプティラティーノ話。 (十一月二十三日, a-Mlai ra Chalbūuchi 参照)〕

コンレイニ Irachoūloū ト云フ男ガアツタ<sup>72)</sup>。或日 Ilaot ヲトリニ行キ、椰子ノ木ニ登ッテ田圃〔Ngarkei (ト云フ田ダツタト云)〕ノ方ヲ見テ居ルト、蝶ノ形ヲシタ Kiki (女陰) ガタ<sup>レ</sup>ロ芋ヲ根カラスイテ居タ。デ、イラコウロウハ降りテ来テ、ソレヲ手ヅカミニシテ竹ノツボニ入レテ、ルバクノ Tochochoūcho ニヤツタ。

トココウコハ沢山ノ馳走ヲ拵ヘテ村ノ女達ヲ集メ、ソシテ竹ノツボカラ Kiki ヲ出シテオモテニ投ゲタ。スルト、トココウコノ姉ノ Ebiltochochoūcho ノ体ニキーキーガ入ッテシマッタ。ソコデ、トココウコハ姉ヲカヌーニノセテ遠クノ海ニ棄テテ来タ。

女ハカヌーニ乗ッテ漂ッテ居ルト、Aptiratī ト云フ Mangarengel (シマ蛇) ガ出テ来テ、何シニ来タノカト尋ネタ。女ハ恐ロシイノデ、オ前ノ所ニ来タノダト答ヘタ。スルト蛇ハ、輪ニナッテ女ヲ頭ノ上ニノセテオルワンカ<sup>△</sup>ルニ行ツタ。

其後女ハ金ノ沢山入ツタ石ノカヌー (現ニコンレイノバイ・ル・バイセ<sup>○</sup>ルベイノ傍ニアル) ヲモッテコンレイニ帰り、トココウコノ処ニ行ッテ、

「此ノ金ハ置イテ行キマス。ケレドモ妾ハ亭主ガアリマスカラ」ト云ッテ行方シレズ行ッテシマッタ。

女ハ其時、云ヒ足シテ行ッタ。  
 「物ヲ落ス音ヲサセテハイケマセン、ソウスルトオ金ガ散ッテ終ヒマスカラ……」  
 処ガトココウコノ子供ガ薪ヲ頭ノ上ニ乗セテ来テ、オモテテ投ゲタ。  
 スルト金ガナクナッテ石ノカヌーハカ<sup>△</sup>ボクドノアタオニ来タ。而シテアプティラテ  
 イト云フ石ガ、ア・マツ<sup>△</sup>ノ家ノ前ニ出来□、ア・マツ<sup>△</sup>ノ家ニハ沢山ノ金ガ入ッタト云  
 フ。

(ビッタール伝承)

〔欄外に記す〕  
 [Kaptūi ニトンダノガ alhūptūi ト云フ金ニナッタ,]

### 五日

晴,

朝, 子供達, 続キ, 午後迄ヤリ色ツケ。

〔欄外に記す〕  
 [発信 金井新吉, 上原寿造, 青田幸吾, 荒居徳亮, 秋庭義次, 柴山梅子, 柴山昌生,  
 江波知彰, 桑田貞一郎, エットロン, アヨブク, 本田譲二, 土方久俊, 本田伊萬子]

受信 エットロン, アヨブク,]

### 六日

晴, 昼前, 驟雨。

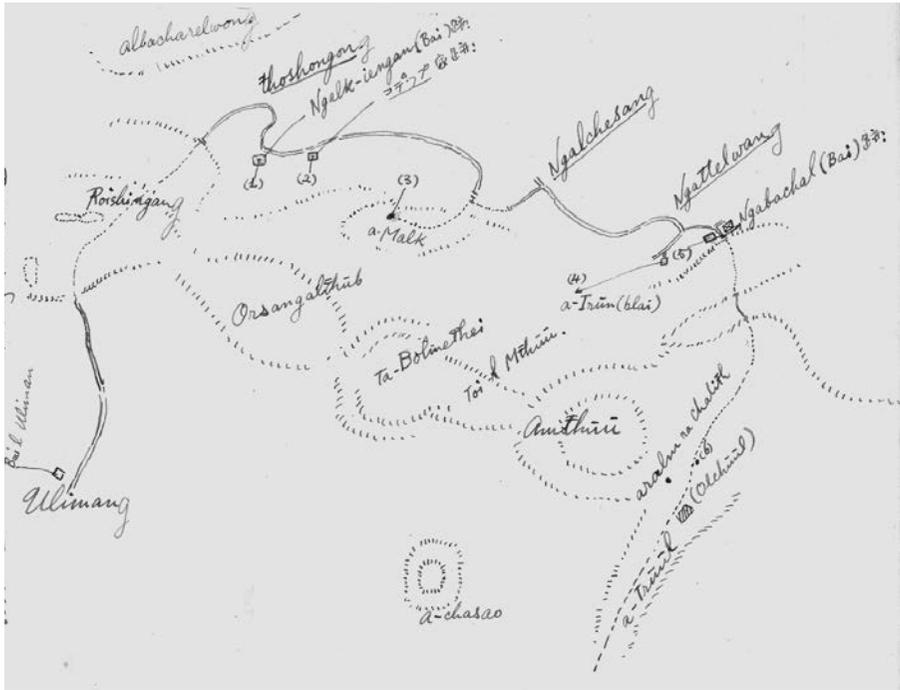
朝, 子供達, 続キ, 午後迄続キ,

野元氏来,

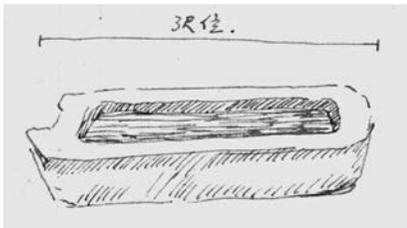
### 七日

晴, 午後, 驟雨烈シ。

朝, 子供達, 続キ, 夜, 杉野君来リ, 酒ヲ飲ム。



(1)



Ibadūil ノ祖ガオルワンカ<sup>△</sup>ルカラ乗ッテ  
来タカヌー<sup>73)</sup> ダト伝ヘル。

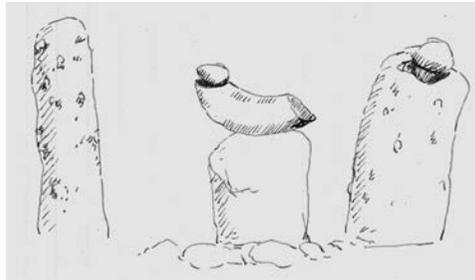
Bath l a-Buil.

自然石デアルガ, Ochūū l a Buil ダト  
云ハレル。

(2)

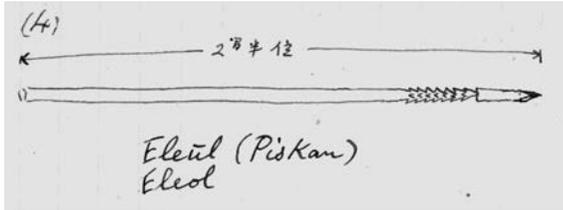
自然石, Olngotkl ダト云フ。

(3)



a-malk.

(4)



Eleül (Piskan)

Eleol

アルポーヴルニアット云フ  
(スペイン人がモッテ行ッた)。  
Bcheo-arbodl ノ Piskan ト云  
フノモ、此ノ種ノモノデアッ  
タロウト思ハレル。

内地ノ銅鐸ト全ジク、全然  
实用ニハナラナイモノダカラ、  
信仰的ノモノデアアルニチガヒ

ナイ。(九月六日ノ記参照) 39頁

(5)

四角柱石 一個, □□□

自然石立石 一個,

Arūnl ノ石 (片ワレ)

Orūottel a Bāth.

Olehotel el

(6) Arūnl ノ石 (片ワレ)

八日 日曜日

晴, 昼頃通り雨, 夕方一シキリ驟雨。

今日ハアカラップカラカ<sup>△</sup>ボクドノ方, 近クヲ廻ル。朝カラアカラップニマハリ, ア  
ルダンノ処ニ行ク。ビッタール来テ居ル。アカラップノ話シ。アバイノ話シ。一行, カ<sup>△</sup>  
ボクドニ行ク。アマザラカリツ<sup>△</sup>ノ家ニ行キ少シ話。アバイニ行キ, カ<sup>○</sup>ルコソ<sup>△</sup>ック家  
デオコラオルガアッタノデ行ッテ, カイモンクロック寄附シテシコタマ御馳走ヲ食ベテ  
クル。帰ルト野元サンガ来ル。夜ニナッテ竹野サンカラ使ヒ, 杉野サンガ居ルカラ来ナ  
サイト, 行ク, 酒, 野元サンモ来ル。

〔欄外に記す〕  
[発信 中澤佑 本多正震 金井新吉 土方愛子]

ēwith Rūbak la chalap.

1. a-Rois

Erarois.

(3) クレーマー

2. Ngalwao

Esebei l aibthahang

(1)

|               |                   |      |     |
|---------------|-------------------|------|-----|
| 3. Ittiril    | Althar a Ittiril  | アルゴン | (2) |
| 4. a-Bai      | Althar a Bang     |      | (4) |
| 5. Chūthūn    | Esebei l chūthūng |      | (5) |
| 6. Ngolchwith | a-Mlob            |      | (6) |
| 7. Ngolmsngan | Chodaol           |      | (8) |
| ⋮             | ⋮                 |      |     |
| ⋮             | ⋮                 |      |     |
| 家名            | 称号                |      |     |

[17, 39]

〔欄外に記す〕  
 [●アカラップノ水 [17. 42]]

昔、ア・カラップニハ水ガナクテ困ツタ。

昔、イミリーキノ□□□□ Ngsan ア・イムル (a-Iml) ノ女ガ、ア・カラップノ<sup>ガリ</sup>□□<sup>ニル</sup>□□アンリール (Ng<sup>a</sup>□rīl) ノア・バイニモコ<sup>ル</sup>ニナツテ来テ居テ、ア・バン (a-Ban) ノ家ニ娘分ニナツテ居タガ、ア・カラップニハ水ガナクッタノデ、バンノ家ノモノハマ<sup>ル</sup>ルキヨクノ Ngaldochol — [Ngardok] マデ水ヲクミニ行ツタ。デ水ハ非常ニ大切ナモノデアッタガ、或時此ノ娘ガ今ノアチ<sup>△</sup>ヨンノ処ニ水ガアルノヲミツケテカラ、遠ク<sup>〔後〕</sup>迄吸ミニ行ク必要ガナクナツタ。

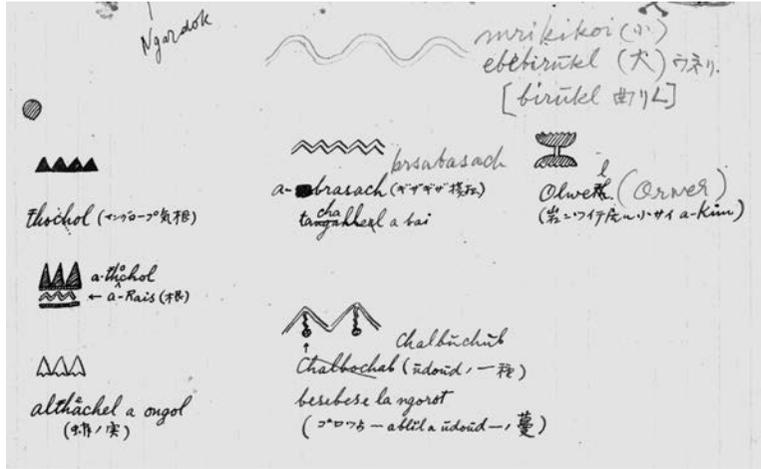
デ昔ハ此ノ縁デ、アノアチ<sup>△</sup>ヨンノ樋ヲカケルノハ、イミリーキノ者ガ来テヤツタモノデアアル。スルトバンノ家デハ其ノ礼ニ金ヲヤリ、アチ<sup>△</sup>ヨンノ水ハバン家デ支配シタモノデ、バンノ家カラ村ノモノニ分ケテヤツタモノデアアル。(アルタ<sup>△</sup>ン伝)

〔欄外に記す〕  
 [●ウドウドノ起リ [Nl. 70-74 参照] 済]

Adokkl ト云フ魚ト Tamachai トハ夫婦デアツタ。其間ニ生レタノガ thererok デアル。

Ngardochol ノ子供ガ漁ニ出テ、鳶ト間違ヘテ Adokkl ノ尾ニカヌーヲ結ビツケタ。スルト adokkl ガ泳ギ出シテ、今度ハ Ngorot ト云フ鳶ニツイタ。Ngorot ガ何処ニアツタカハ解ラナイガ、a-blil a ūdoūd デアルト云フ説明ダツタ。Ngorot ノ石ガ大変綺麗ダツタノデ、拾ッテカヌーニ入レテ帰ツタガ、帰ッテ見ルトソレガ ūdoūd デアツタト云フ。  
 . . . . .

Ngorot カラハ Būnngaū ト呼バレル赤イ金が出タ。Ngalwaungal カラハ Brak ト呼バレル黄色イ金が出タ。Ngeraōth デ作ラレタノガ a-mriu<sup>〔欄外に記す〕</sup>th [mriu<sup>〔欄外に記す〕</sup>rial ?] ト呼バレル模様入ノ金ダト云ハレル。ソレカラギヤマン<sup>〔カカ〕</sup>式ノ Chonlonmelbūsoch ト云フ金ハ Ulwan デ作ラレ、mangatoroch ト呼バレル似セ金ハ Ngūlsal デ造ラレタト云ハレル。  
 (ビッタール伝)



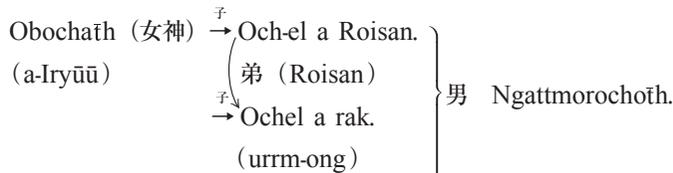
thelsmiyaka<sup>74)</sup> = 是レハ四方カラ三角ニ囲マレテ居ル。三角ハ風ニ対シ浪ニ対シテ最モ強イ形デアアル。デ、ア・バイガ嵐対ニ耐ヘル様ニトノ祈願カラツケラレタ護符的ナ模様デアアル。昔ハ突堤ヲ作ルニモ先ヲ菱形ニシタ。図ノ様ニシタノデアアルガ、此ノ築キ方ヲ thelsmiyaka aprüül a-chaihs ト呼ンダ。



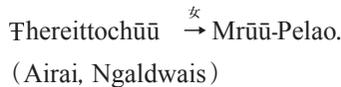
突堤プラン

[欄外に記す]  
[●十一月十三日記, 寫釣り伝説ノ系図調。]

男系



女系



Thëreittchūū ハ海カラ Sūwas ニ来テ居タノデア  
ル、  
Mrūū-Pelao ハ陸カラ Kīkī ra Ngalwao ニ来テ居タノデア  
ル。  
孫ノ Ngattmorochoth ガ祖母ノ村ヲ釣ルノデア  
ル、  
Och-el a Roisan ノ弟ノ Ochela Rak ガ Urrm-ong デ Mnengeshi ヲカントクスルノ  
デア  
ル。

●  
大昔ハア・カラップガ<sup>75)</sup> ガラルドノ中心デアッタ。今ア・バイノアル辺ヲ  
Ngolchaothing ト呼バレ、アヂョンノ向フノ方ヲ Ngeli ト呼バレテ、此ノニツガアカラ  
ップヲナシテ居タ。而テ第一ノルバク Erarois ハマルキヨク方面ヲ治メ、第二ノルバク  
Esebei l aibthan ハアルコロン<sup>始</sup>方面ヲ□治メ、第三ノルバク Althar a Itiril ガ、当ノ  
ア・カラップヲ□<sup>始</sup>治メテ居タト云ハレル。

此ノ大ア・カラップニ村ノ者同志ノ<sup>76)</sup> 喧嘩ガアッタガ、夜ニナルト所々ニ血ガアッタ  
ガ、昼ニナルト跡方モナカッタ。段々調べテミルト、□□ Irbūū ト云フ所ニ女竹ガ沢山  
アッテ (今モアルガ)、其ノ下ニカクレテ居タ事ガワカッタ。ソレデ皆ノ者ヲ女竹ニノセ  
テ海ニ流シタガ、其ノ中一組ノモノハ、アルコロンノマガンランニ着キ、一組ノモノハ  
ウリマンニ着キ、他ノ一組ノモノハ Ongiwal ノ Nganlao ニ着イタ。而シテ今ノ村ヲ始  
メタト云ハレル。

因ニガラルドト云フ名モ、ア・カラップノ Ngarald Bañh ト呼バレル石<sup>77)</sup> ノ名カラ起  
ッタモノデ、今モ Ban 家ノオドソク<sup>△</sup>ルニ此ノ Ngarald Bañh ガアル。一尺余ニ八・  
九寸位ヒノ小サナ自然石デア  
ルガ、年寄り達ハ其レガ Ngarald Bañh デアル事ヲ今モ知  
ッテ居ルノデア  
ル。✓

九日

雨、

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、続キ、

十日

晴

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、続キ、半数木ヲ切りニ行カシム。

カ<sup>△</sup>ボクド

Ēwith Rūbak.

|                    |                  |                          |      |
|--------------------|------------------|--------------------------|------|
| 1. A-maḥ           | } 称号             | Tūblai                   | } 家名 |
| Kerai              |                  |                          |      |
| 2. Amaḥal a-chaliḥ |                  | Ngalchoḥok Ngarakadok    |      |
| 3. Arbokor Kesādol |                  | Ngalches aḥal            |      |
| 4. — Tūkūr         |                  | Ngelugī                  |      |
| 5. Arbokora Idūn   |                  | a-Iḥūn                   |      |
| 6. Adara bai       |                  | a-Yachatī Ieketi Arakatl |      |
| 7. Karailmiū       | Ngalmiyū Ngirmiō |                          |      |
| f                  |                  |                          |      |

(17, 98 ヲ見ヨ)

十一日

晴,

朝, 子供達, 続キ, 十一時止メ, カンドベケルノ手伝ヒ。

午後, 子供達, 続キ, 三時ニ止メ, アバイノ掃除。

夕方, 野元氏来, 一緒ニウナギ釣りニ行ク。一尾ツレル。

〔欄外に記す〕

[発信 金井新吉, 皿井立三郎, 田辺保男, 島村米子, 東郷吉太郎, 金子九平次]

十二日

晴,

朝, 子供達ヲオク塗り

夕方, カラーデル, オルゲンレルトテニス, 円盤投げ, キャッチボール

野元氏ノ処ニテバス。

夜, アバイノ絵色ツケ。

十三日

晴, 驟雨。

朝, 子供達, 普通。

午後, 昼寝。アバイノ絵, 夕方, 野元氏来。

十四日

晴，夕方，驟雨。

朝，子供達，続キ，

午後，畠山君ト榎木林ニ行キ，<sup>(子)</sup>帰り野元氏ノ処ヘヨル，竹野氏モ来ラレ，一緒ニ暇取り，ウナギ釣。夜，カラデル。□オルゲンレルトウナギ釣り，一匹。

〔3 頁白紙〕

✓何カー句位ヒト云ハレテ思出ス俳句カナ

○傘サシテ小便ニ出シ闇夜カナ

〔1 頁白紙〕

..... 故ニトーテム所属ノ人々ハ，其ノトーテムヲ殺害セズトイフ宗教的ナ義務及ビ其ノ肉ヲ喰ヘ事（其他トーテムガ提供スル如何ナル□<sup>享</sup>亭用ヲモ）ヲ差控ヘルト云フ神聖ナ義務ヲ負ウテ居リ，苟モ此ノ義務ヲ犯ス時ハ，人為ヲ待タズシテ刑罰ガ加ヘラレル。..... 屢々饗宴ガ催サレ，其ノ饗宴ニ於テトーテム所属ノ人々ハ儀式的ナ舞踏ニ依ッテ所属ノトーテムノ所作ヤ其ノ特性ヲ表現シ，若クハ模倣スル（トーテミとタブー）（フロイド）